

平成 28 年度 町政懇談会  
「町政全般」について  
質疑応答集

平成 28 年 10 月

与謝野町

平成28年度 町政懇談会質問・回答のまとめ

No	担当課	分類1	質問区分	質問等の内容	回答の内容		
1	社会教育課	50	三河内	6/21	会場	<p>ちりめん産業の衰退により、三河内祭りの屋台(曳山4基、太鼓台12基、芸屋台4基、大織、神楽)の修理代(補助金を利用しているはあるもの数百万円単位)の工面に苦慮している。まつりの存続に関わる数回、早番の祭中止も考えなければならない状況である。文化庁等とも連携し、補助策を考えていただきたい。</p>	<p>与謝野町が文化庁移転に反対との報道に困惑しています。賛成です。京都府・公益財団法人の2種類の補助金のうち、有利な方を利用します。今のところそのくらいです。他は個別に対応。「幕」に係る補助等の調査していきます。</p>
2	企画財政課	50	三河内	6/21	会場	<p>アベリツスイスとの数十年に亘る人的交流について。単なる交流か。産業交流できているのか。</p>	<p>高校生の交流には長い歴史があります。大学との連携協定により大学生の交流を開始し、産学連携的な事を模索しています。協定期間中に何かしらの成果をあげたいと考えています。</p>
3	福祉課	10	三河内	6/21	会場	<p>(国、府、町の追悼式に永らく参加し、戦友として追悼に励んできたが、昨年度の戦没者追悼式、戦後70年、町政10周年の記念事業との位置づけで、立派な祭典となった。児童の参加嬉しかった。)遺族会も三代目くらいが目立つようになり、10年ごとの特別弔慰金の請求権等もわかりにくくなってきた。該当者には全て受け取ってほしい。</p>	<p>追悼式については、70年の節目として今までと違った追悼式を！と加悦小学校児童の歌の披露、遺族献花に参加いただきました。ただし、本年度も同様のことは難しく、(児童参加のため小学校が休みの)土曜日開催を考えています。弔慰金については、順調に申請いただいています。平成30年までの申請で平成28年度分からの5年分を受け取ることができるため、今後も広報を行います。</p>
4	総務課	60	三河内	6/21	会場	<p>選挙で18歳、19歳が新たに投票権を得ることとなるが、当町では、どのくらいの人数か。広報、行事は。18歳になったら選挙に関心を持ってもらうための行事を計画されてはどうか。</p>	<p>参議院議員選挙の公示が明日に迫り、明後日から期日前投票が始まります。当町の新たに18・19歳となる人はざっと500人あり、その方々を含め約19,000人が有権者数です。加悦谷高校において実際に投票行動を体験する模擬投票を行って啓発していますが、家族から投票を勧めていただくのが最も効果的と考えています。</p>
5	企画財政課	60	三河内	6/21	会場	<p>教育委員会等で町独自の祭事に関する補助金創設の余地があるのか。今年度、町のまちづくり人づくり補助金(特にコミュニティ備品整備事業)の補助金限度額が30万円となり弱っている。</p>	<p>【A1】のとおりです。ご意見としてお伺いします。平成29年度以降で改善していきたいと思いますが、限られた予算内での執行となります。</p>
6	防災安全課	30	三河内	6/21	会場	<p>今年度の防災訓練は7月。区役員等が4月に変わったところで、周知徹底の時間も引継ぎの時間も無い。危機感の醸造にもつながらないのではないか。ずっと地震でやってきて昨年度から水害、土砂災害に変わり、区民は混乱されている。訓練方法についても組長がチェックシートを提出、区で集計して終わりでは効果が期待できないのでは。</p>	<p>今年度は7月、昨年度は10月に実施します。一昨年度までは地震、昨年度は風水害でした。日程については区長へのアンケートにより、行事等も考慮し決定しました。時間がないことは承知していますが、各区长「できる」とのことでした。今回も風水害の想定で行いましたが、「隣組の防災会議」を一番の目的としています。地味な訓練ですが、ご理解をいただきたいと思います。来年度以降は原発事故想定訓練も考えていかなければならないと考えています。</p>
7	農林課	20	三河内	6/21	会場	<p>有害鳥獣防護柵に係る補助金の人権費について。三河内区は全て無償でお世話になっており、補助金で人件費を賄うことに困惑。(お金をもらったらやらない。と仰る。)仮に人件費を計算したら、27~28人、5~6回、時間給1,000円で、40万円程度になる。(今後も人件費を請求するつもりはなく、ボランティアでないと続かないと考えている。)</p>	<p>今年度創設した防獣フェンス維持管理補助金は、必ずしも人件費に充てなければならないものではありません。地域・管理者の主体的な判断で有効に活用していただきますようお願いいたします。事業について説明が必要な場合は、農林課職員から説明をさせていただきます。</p>
8	総務課	60	三河内	6/21	会場	<p>町長の選挙演説について。(給料半額、ボーナスなし、退職金返還)</p>	<p>今後の町財政を考えたとき、事業費等削減をせざるを得ない場合、まずは自身の身を切る覚悟で、と申し上げました。公共料金の見直し、上下水道料の値上げを町長の判断で町民のみならずにお願ひさせていただくタイミングで、自身の給料の削減も提案していきます。ただし、退職金の返納については、寄付行為にあたり公職選挙法に抵触することがわかったため慎重に調査します。</p>
9	福祉課	10	三河内	6/21	会場	<p>介護福祉士資格取得の奨学金貸付制度について。社会福祉法人の貸付は禁止とのこと。</p>	<p>介護の質の向上のため、介護福祉士の有資格者を増やすことは重要な課題であり、補助制度については準備中です。実務者研修受講料 14~15万円に係る支援は検討中です。受験費用については、現時点で町の補助等の検討はありません。今後の検討課題です。法人貸付については調査中です。府へも照会しましたが未だ回答できる状態ではありません。ちなみに、舞鶴の専門学校との謝郡からの生徒は0人です。近隣市には奨学金貸付制度があり(卒業後奨学金をうけた市で働く場合は返還免除も)、当町も検討していきます。</p>
10	学校教育課	50	岩屋	6/22	会場	<p>町づくりは基本的には人づくりだと思っています。今の子どもたちは夢を持っているようではないか？子どもたちが夢をもつために、今の教育現場での活動を教えて欲しい。</p>	<p>子どもが夢を持つためには、「知・徳・体」バランスよく育ち、かつ人とコミュニケーションをとることが必須だと考えます。そのためには、学校・家庭・社会教育が連携していくことが大事で、五感を通して感じる様々な体験も必要になります。小学校では体験的な活動を行い、中学校では、いわゆる進路指導の一環として町内の各事業所における職業体験学習をしています。家庭においても、大人が展望を持てるような話をしてほしいと思います。子どもたちには広い意味での学力を身につけ、世界でも活躍する人材になってほしいと思います。</p>
11	学校教育課	50	岩屋	6/22	会場	<p>子どもたちが夢を抱くにも人との出会いという意味でも読書が必要だと思う。歴史を知るために、偉人伝を含む読書が必要だと考える。現場では、どのような指導をしているか？</p>	<p>学校には司書教諭が在籍しており、現場では朝読書を励行しています。学校外でも、町の図書館が中心になって読み聞かせ等を行っています。偉人伝は良いと思うので、今後現場にも広げたいと思います。</p>
12	総務課	60	岩屋	6/22	会場	<p>選挙開票作業の仕組み、投票用紙の保管形態および期間を知りたい。また選挙終了後に不明確な部分や異議があった場合、票を再確認するのか？</p>	<p>選挙の開票は、野田川わーくばるにて、開票・判定・点検係に分かれて行います。計数機と自動読み取り機を使用し仕分けをし、点検係が目見て点検すると言う点で、機械と人間でできるだけ早く結果を公表することに努めます。保管方法は、選挙終了後に開票所で封印して鍵のかかる場所で保管します。期間は法的に定められていませんが、慣例的におよそ参議院選挙は終了後6年間、衆議院選挙は4年間保存します。14日以内に異議申し立てができることとなっています。開票確認については、立会人及び選挙管理委員で確認しています。</p>
13	商工観光課	20	岩屋	6/22	会場	<p>阿蘇ベイエリアに関するサイトがあるが、予算と管理体制を教えてください。また、今後阿蘇ベイエリアに予算を費やすか否か、町に再考してほしい。町内の方が言う意見ではなく、町外の方の意見にそっているのでは？</p>	<p>サイトについては、与謝野ブランド戦略やYOSANO WEAVER「織りなす人」のことだと思われる。前者はwebサイト制作費のみで50万円、管理は商工観光課が行っています。織りなす人については、委託業者へ依頼し撮影と編集、Webサイトへの更新を行っており、金額については300万円ほど掛かっていますが、地域資源や人の価値を高める映像プロモーション事業を展開してきたものです。一方、阿蘇ベイエリアの取り組みについては、岩滝地域にある岩滝母と子どものセンターの改修について、総務省からの10分の10の補助金を活用し、進めることとしています。今後は、民間主導で事業展開を行っていただき、同時に人材育成も行っていきたいと考えています。町民や与謝野町を想う地域外の方が集まり、阿蘇ベイエリア内においてワークショップを開催。提案や意見交換などを重ねた結果、阿蘇ベイエリアマスタープランが策定された。また、橋立中学校に訪問した際に中学生に話を聞いたが、阿蘇海の活用や実際に海で遊びたいなどの意見を伺った。昨年一年かけて、マスタープランを作成したが、これらが、外部の人のものだけにしないようにしたい。町は伴走支援する体制であり、最小予算で最大効果を目指しています。</p>
14	学校教育課	50	岩屋	6/22	会場	<p>市場小学校へ登校する道の一部が狭いので、整備して欲しい。市場小学校内の設備も古い。また、岩屋小学校の外周の樹が大きいので、改修や伐採が必要だ。把握しているのは町だから、このようなことは早め早めに町民に対して、町から言ってほしい。</p>	<p>平成23年度に計画した「学校等の適正規模、適正配置基本方針」について、子ども子育て会議で諮問に答申いただく中で、答申内容をふまえ、方針について教育委員会が審議し改訂版をつくることで協議を終了しました。教育委員会としては見直しの協議を終え、町長に提出し検討に入っています。現在のところでは平成34年度に旧町ごとに一斉再編を予定していますが、子ども子育て会議の中では再編可能な地域から始めていくという意見もいただき、会議から時間も経ち、実際の児童数も大幅に変化していることを踏まえながら審議をしています。審議結果、改訂版は町のホームページで公開しています。平成34年一斉再編ではなく再編可能な地域からすすめていくことで具体的には加悦地域から実施していきます。野田川地域については、野田川地域の子ども数の減少数は鈍化しているなかで、旧町ごとに一つの小学校に再編する、既存校舎を活用するという基本方針は変えていませんので平成34年度に市場小学校への再編は無理、平成40年度も再編は厳しいですが、現時点での判断は難しいため、数年後に再考するとしてまとめています。また、岩屋小学校の市場小学校への再編についてはいろいろな面でも協力いただき、感謝しております。市場小学校の校舎の老朽化についても考えていかなければなりません。学校だけでなく町全体の公共建物の整理、マネジメントが必要です。岩屋小学校外周の雑木は状況を見て検討します。</p>
15	農林課	20	岩屋	6/22	会場	<p>ホップ栽培は、事業化できるか？</p>	<p>水田農業が中心の本町にとって、米価の下落やお米の消費量の減少など厳しい状況の中、水田農業を維持発展させるためには、中山間地における水稲に換わる新規作物の導入が求められており、その一つとして「ホップ」に着目しました。事業として成り立つか否かを3年間の試験栽培により判断することとしています。</p>
16	農林課	20	岩屋	6/22	会場	<p>栽培体験を行うのであれば、町の支持なしで個人での事業化は難しいのでは？ また、与謝野町はホップの栽培に関しては「南限」だと思われるが、南限や北限といった地域はリスクが高い。挑戦するのは良いと思うが、個人的な趣味を町として行うのは問題が大きいという点は指摘したい。町民は補助金について何も知らない。補助金について知っているものがたまたま取り組め、お金が回ってくるというのでは不公平なので、町は補助制度を提案していただきたいと情報伝えて欲しい。</p>	<p>ホップにつきましては、与謝野町農業再生協議会「与謝野町産地経営構造改革方針」における推進作物として位置付けられています。また、ホップ試験栽培の委託先農業者の選定につきましては、町の認定農業者で組織しております担い手認定農業者会議および与謝野町農業再生協議会連絡会等において議論し選定いたしました。なお、試験結果により生産拡大を図る際には、生産者を広く募っていく方針ですのでご理解をお願いいたします。</p>
17	建設課	40	幾地	6/24	会場	<p>昨年お願いしたが、葺が山のように生えていて、刈ってくれる人もあるがしてくれないところもある。孫六橋を通る人がなんでこだけ(整備が)できないかと言われる。教育や豆っ子の話を毎年聞くが、それよりも大事な事もあるのではないか、もう少し把握してほしい。今日は町長に見てもらうために写真を持って来たので見て考えてもらいたい。海老川と孫六橋の看板も撤去してほしい。田植えをしている人の姿を見ていると、田植機で通るのにポールにあたるので、降りてポールをとって通り立て直していく。そんな状況を見ていると悲しくなる。誰でもいいが、町内全体を年に1回でも2回でもいいから見て回ってほしい。また、下流には石が崩れているところもあり、大雨になるとまたガタガタとなる。地盤が弱いと言われていたり、綿密に見てほしい。</p>	<p>今、京都府で府民公募型の事業があり、住民誰でも提案ができますが、より採択されやすくしてもらおうと、区長さん名義で提案してもらうのがよいかと思われます。今年度分は5/31で締切が終わったので、また来年その事業に提案していただきたいところです。孫六橋は橋自体が古いので今は町の管理になっていて4輪車は通行止めとなっていますが、近くに作業小屋があるので、軽トラが通れる幅になっています。</p>

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
18	建設課	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	幾地	6/22	会場	(孫六橋は)散歩道になっているから言っているのであって、自分は家の周りを囲って外が見えないようにしている。汚くて食事も喉を通らない、そのくらの気持ちになっている。府(土木事務所)にも来てもらったが何もならなかった、あきらめた。何もわかっていない。 (幾地区長)・・・本当に解決は難しい事なので、今後も、区・町・府とよく相談し、一歩でも前に進めるように努力していこう。苦勞もよく知っているし、今後は皆で一体となり知恵を出し合って努力していきたいと思うので、町の方もよろしく願いたい。	孫六橋については、岩屋川改修に合わせて架け替えをするように進めてきましたが、調査したら軟弱な地盤だった為、近隣の家屋に被害が出る可能性や、隣接する住民の反対もあり、架け替えができないだろうという状況です。今後もし工事再開の希望があれば、付近の住民が合意形勢をしてもらい、府へ要望していきたいと思います。
19	建設課	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	幾地	6/24	会場	今も話のあった、区民公募で区を通して町にも要望書を出しているが、なかなか返事が無い。岩屋川の処分場前、杭打ちはしてるようだが、1～2年の間に考えるとの返事だった。あのあたりは塀が飛ぶので工事方法を考えんなどの事だったが、その後何も音沙汰なしで、どうなっているのか。	府の公募事業については、平成26年に採択された分、平成27年に採択された分についても未着手のところが、町内でも69件程かかっていない場所があります。府の都合はわかりませんが、処分場の前は実施するという回答はありますが、時期が未定です。ただ回答がある以上は責任を持ってしてくれると思うので、もうしばらくお待ちいただきたいと思います。
20	建設課	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	幾地	6/24	会場	いつまでも待って災害が起きたらどうするんだという事になるので、何度でも要望してもらって災害が起こるまでお願いしたい。	土木事務所には伝えます。
21	住民環境課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	幾地	6/24	会場	処分場の周りの草刈りなど、手入れはしてくれているが、周辺の川や田畑、山に鳥などが食べかすをくわえて田畑などに落とすのでたまには見回してほしい。	去年、周りの山に入った際、ナイロンのゴミなどが思ったよりたくさん落ちていたので、管理をしている者に気を付けるようこの春に依頼しましたが、もう少し入念にしたいと思います。
22	住民環境課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	幾地	6/24	会場	搬入されたらされた、早急に埋め立てるような方法を考えてほしい。	なるべく覆土するように心がけていますが、以前は足りなかったかもしれません。また直接ご相談させていただきます。
23	総務課	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	幾地	6/24	会場	空き家について、幾地区内で危険なところが6～7か所、その内3か所を撤去して喜んでいる。危険な空き家があり、頻りに事故の起きる場所である。四辻岩屋線と野田川大宮線の交差点にある空き家。4月から岩屋の子も通学路となっていたまわりとなるところにあり、風が吹けばゴミが飛んでくるという危険な状態にある。ここは、土地を買収して交差点改修した方が早く解決するのではないかと思う。何回も提案しているが、金額も多額ではないと思うが他の事業をトータルでも至急にやるべき事業で、町長の政治生命をかけるくらいの値打ちがある。25年度も区の要望であげているが、いかがなものかという回答しかもらっていない。小中学生が通るので万が一のことがあってはならないので、早急に検討していただきたい。	交差点改修の件、確認はさせていただきますが、なかなか町の単独ではできません。やるとしたら今の予定している事業を先送りしてでもやるかどうかという事になりますし、所有者の事もあるので、一朝一夕にはいかないかもしれませんが、議論していかなければいけないと思います。
24	住民環境課	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	幾地	6/24	会場	最近、町政を見ていて感じる事があるが、この前の椿サミットは全然全町の盛り上がりなかった。タイトルになった俳句は幾地の作品だが、幾地ではサミットの「サ」の字も出てこない。どうしてこんなに盛り上がり方がへたなんだろうと思う。ゴミの減量化も全然盛り上がりがない。区長会で4月の実績が出ていたが効果があがっていない。町長が自らリーダーシップをとって減量化を進めるべきで、そうする事で町の一体化につながると思う。10周年の記念事業もその場所だけになってしまうと思う。性根を入れて、特にゴミの減量化は目標を達成する為やるべきだと思っているのでお願いしたい。	ゴミの減量化の現状は、可燃ゴミで、4月は横ばいで、5月は10%減量できましたが、目標が40%なので喜んではいられません。区長会にも、職員が向ういて話をするとありますが区からは要請がありません。婦人会の方に施設見学も合わせて行かせてもらっていますし、雑紙(ずつみ)の出し方も週に何回か問い合わせもありますので、徐々に浸透していると思いますが、全体的にはまだ浸透していません。出来る事からやっていきたいと思っているので、KYTの放送も計画しているところです。10%減という事で効果が出ているのでがんばりたいと思っています。
25	防災安全課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	幾地	6/24	会場	区の消火栓の事が、同じ消火栓で40年程経過して、バルブも50年以上経っているものもある。区でも消火栓訓練をしたが、2人で持たなければいけないの圧がかかる。そういった消火栓を使って初期消火をしなければならぬ。要望をすれば町は対応してくれるが、もう少し計画的に更新してくれないとあまりにも古すぎて、一般の方が初期消火するのに危険な状態である。開けられない、閉められないという栓が増えてきているので変えて欲しい。それから、格納庫とかホースの補充がもらえない。極力軒下の傷みにくい所に設置しているが、ある程度余裕をもって確保してもらいたい。	消火栓の老朽化は幾地区に限らずどこも進んでいます。最近も開けても完全に閉まらない所もあるので、今後改修は必要ですが、消防費の中で消化施設の整備や消防団の備品なども計画的にやっていたらいいかなという事もあり、予算も厳しい中、やりましようとは言えないのが現実で、防災安全課の方で優先順位をつけて計画を立てられるようにできたらよいと考えています。
26	商工観光課	20	伝統を活かし 未来にチャレ ンジするまち づくり	幾地	6/24	会場	(資料9ページ)織物振興対策事業の中の生産基盤支援事業について、当初予算1億で、活用されている織物業者もあり、商工会から来年もやると聞いている。織物関係は非常に困窮している。町でも予算をつけてほしい。5/31に府は締め切りがあったが、府と町で1/3ずつの助成で個人負担1/3という事だが、どれくらいの助成金が府からおりてくるのかが知りたい。	織機やジャガード等の大きな機械の導入を支援する補助制度で、昨年度から府と足並み揃えて行っている。織物業界からの強い要望、また、町長の考えにより、今年度も継続している。織物業界からの強い要望、また、町長の考えにより、今年度も継続している。平成27年度は、町内で50件弱の実績があり、平成28年度については、府は既に募集を終了したところで細かい数字は持ち合わせていないが、府・町は昨年度を超える件数という予想が情報としてある。町としては7月1日から募集を始め、京丹後市と情報共有して足並み揃えて公募しています。町も財政の許す限りという事もあり、今後平成29年度の展開について京丹後市と協議を重ねながら同じ歩調でやっていきたい。予算の兼ね合いが危惧されているが、これから事務を進めていくが平成27年度の実績を出された事業者へは、町が1件1件順番にアンケート調査に回ることを考えている。
27	商工観光課	20	伝統を活かし 未来にチャレ ンジするまち づくり	幾地	6/24	会場	昨年度の実績は、補正を組んで2000万と聞いている。当初予算は1000万だ。ぜひとも増額し、来年度も継続してほしい。	大雑把に言うと、決算では2200万という事で9月議会で報告する予定だが、平成28年度の当初予算は1000万にしています。予算としては足りないが、京丹後市も同額の予算なので、これからどのようにやっていくかを今やりとりしているところです。
28	建設課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	四辻	6/27	会場	四辻公民館下の水路について、増水した時に危険だし、途中から暗渠になっているため子供が落ちたりしたら助けられない。3月に小学校からも特別要望が出ており、対応するという回答をもらっているが、それから音沙汰がない。町としてどうお考えか。	水路改修については、各区からたくさん要望をいただいているが、なかなかすべてに対応できないのが現状です。建設課では浸水対策を重点的に行っており、その観点からこのような質問をいただいているのだと思います。地区要望は平成28年度で440件、事業費に直したら10億円が必要です。そのうち、平成28年度で事業を行っているのは、1億円です。10パーセントほどしかできていません。緊急要望を出していただいていると聞いていますが、事業が要望に追いついていないのが現状です。町も上がってきたところから改修していきたいですが、なかなかそこまで実態をつかみきれないので、四辻区の中で優先順位を決めていただくのも一つの手法です。今の実態がそういうことでもう少し待っていただきたいと思っています。
29	建設課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	四辻	6/27	会場	現場を見られましたか。小学生が足を滑らせて水路に落ちた場合、暗渠になっているのでなかなか助けられない非常に危険な箇所。別に、水路を暗渠にしてほしい等、大工事してほしいと言っているわけではない。水路に落ちないための防護柵を設置する等、できる対策を検討いただきたいと思います。	3、4年前に一定直させていたが、流末がまだ直っていないと思っています。防護柵等できる対策を検討します。
30	商工観光課	20	伝統を活かし 未来にチャレ ンジするまち づくり	四辻	6/27	会場	与謝野ブランド戦略事業でシルクプロジェクト事業というのを掲げており、養蚕・桑栽培事業を計画されているようだが、その事業で、どのくらいのちりめんをつくろうと計画されているのか。	ちりめんはどれくらいの量つくりと計画しているのかという質問についてですが、まずこの事業は源流を強化していく動きからやってくることにしました。当初は、養蚕から糸にすることを考えていましたが、現在においては横において考えることとしていきます。というのは昭和50年代には1,000万反であった年間生産量が現在では40万反を切っている状態になっていますが、現在の生産量のちりめんをつくるためには京都府の面積程の桑が必要になります。そこで、もちろん糸にすることは念頭に置いていますが、一旦それは置いておいて、食品分野、医療分野に可能性を持っていきたいところです。それを7月に商工会と一緒にできるプロジェクトチームで仮説を立てて研究機関を巻き込みながらチャレンジしていきたいと考えています。例として、さなぎについては、高たんぱくなため、食品分野に可能性があります。
31	商工観光課	20	伝統を活かし 未来にチャレ ンジするまち づくり	四辻	6/27	会場	(住民)今の説明を聞いていると組織関係とかシルク養蚕を何も知らない人がなんかやってみようというその程度のものではないか。今言われたようなことは他の地方で以前からおこなわれている。養蚕が衰退した理由は、人件費が高額であるということが大きな原因。また、以前から加賀で一部あったくらいで京都府ではほとんどとされていないものを、今からするといいっても、成功する可能性は低い。京都府の中でも100%京都府ブランドをつくると言って作られている方もおられるが、それが白地で100万円、かたや中国産の安価な生糸を使って作ると1万円と、価格を比較すると格段に高い。そんなもの買う人はなかなかいない。そんな事業に予算をかけるのは無駄。もう少し考えて事業をしていただきたい。	価格については、町が考えている価格とは差異がある。価格帯については、多層的な展開が考えられる。基本的な知識は押さえたうえで、行政側だけの知見ではなく、商工会や丹工、その他の研究機関の協力をいただきながら慎重に進めていきたいと思っています。また、意見があったらいただきたい。
32	住民環境課	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	四辻	6/27	会場	昨年、ゴミの説明会に参加して、その際に一般ゴミの中で紙が一番多いということで、うちの家庭、事業所でも紙のゴミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせたところ、減るところももしかしたら増えているかもしれないということを知っている。ごみの説明会では、4割ゴミを減らしたらゴミ袋の値上げはなくてよいと聞いており、4割はかなり難しい問題と一般的には思われるが、町の職員は可能だということを知った。ところが、今問い合わせたら減るところが増えているという回答であった。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。また、一般家庭の意識を高めるために、ゴミの有料化をすることによって家庭の歳出がどの程度増えるのかデータがもうできているので広報してほしい。	平成28年度4月のゴミと平成26年度4月のごみの量を比較したところ、減っていないということで、広報でも公表しました。平成28年5月については、同様に平成26年5月と比較したところ、一過性のものかもしれませんが、1割減でした。どちらにしても目標は達成できていません。4割減は高い目標ではありますが、宮津の清掃工場過去20年間の可燃ゴミについてどんなものが多いのか調べたデータがあり、それによると紙類が5割あると聞いています。その中には、新聞紙やチラシやリサイクルされるべきものも含まれています。その5割のうち8割を減らせば全体のゴミ量の4割は達成できるので不可能ではないと考えています。広報については、今年の3月にパンフレットを作って活用いただけるようにしています。それと同時に各区長に、隣組単位でゴミの減量化について話し合っていた場を設けていただきたいこと、また必要に応じて職員も派遣すると声掛けさせていただいていますが、ご返事をいただいております。有線テレビや広報もフルに活用して減量化を達成していきたいと考えています。

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
33	社会教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	四辻	6/27	会場	この4月から岩屋小学校の児童が市場小学校に編入してきており、小学校は児童、先生共に頑張ってもらっておりスムーズに統合できたのではないかと考えている。しかし、青少年育成会等学校と直結した団体があり、市場と岩屋にそれぞれ育成会が存在し、それぞれ行事を行っている。例えば、育成会の行うキャンプについて市場は市場、岩屋は岩屋で行うことになっていたが、同じ学校に通う児童であるにもかかわらず、別々で行うというおかしな構図であり、その中で校長やPTA会長にご尽力いただいて、何とか一緒にキャンプを行うことができた。しかし、区長さんをはじめたくさんの方のご尽力があって実現したことであり、今後、行事を行っていくうえで、うまくまとまっていけるか心配に感じている。そこで、青少年育成会の会長である町長、また担当課長がこういった状況について同程度情報をお持ちで、どのように考えておられるかお聞きしたい。青少年育成会は町の傘下だが、その後のケアがちょっと足りないように感じる。その件に関して、町長から子供のためという声をお聴きしているし、子どもは地域の宝なので大事に育ててやらないといけないと思っている。そこで、町長が主導で動いていただけたらうまいことあると思う。その件に関してどう思われるか質問します。	育成会については、地域それぞれの活動について町から指示はしていません。地域の自主性によって行ってもらっています。育成会の統合についても、保護者及び育成会の方で一番良い方法を模索されるのが大切だと思います。模索の中で、町が手伝いできることはさせていただきたいと思っています。過去の話ですが、山田地域も、上山田区と下山田区と2地区で、行事の差があるという問題がありました。財政や役員の問題等あり、統合するのに4年間くらいはかかりましたが、山田ということによって一本にまとめ上げられました。どれだけ応援できるかはわかりませんが、皆さんの活動について応援していきたいと考えています。育成会の活動については送っていただく便りをもとに市場育成会の活動について知らせていただいています。育成会の全体的な会長ではありませんが、なかなか手紙等では育成会の活動を把握できていません。先日育成会の総会を行いました、もっと念密にお話をさせていただける時間が必要なのではないかというように感じています。会長職としての責任を果たしていきたいと思いい、その手法については、教育委員会や育成会と相談していきたいと考えています。市場と岩屋の育成会の統合については、それぞれ思いに寄り添った形でより良い体勢になるように私たちも協力させていただきたいと思いいますので、今後も育成会の活発な活動をお願いしたいと思っています。
34	社会教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	四辻	6/27	会場	体協についても、小学校統合に関して育成会と同様の状態になっている。体協としては、区民運動会について、協議の中で、区民運動会はそれぞれの区で行い、子どもたちはそれぞれの区の運動会に参加することとなった。また、雨の時の段取りまで決めている。その中で、5、6年生の鼓笛隊はどちらの運動会でも観せてやりたいということで5、6年生は岩屋小と市場小間を移動する。移動手段については、町のバス3台をお借りすることになっている。2月の終わりに、町のバスが古くて壊れそうと聞いている。もし、壊れた場合でも町の方で代替措置をお願いしたい。	ご指摘の通りにバスは古くて具合が悪いですが、お約束していることについては、直前に故障したとしても町の方で移動手段は確保するのでご安心いただきたいと思います。
35	総務課	40	快適でやさらしい生活環境づくり	四辻	6/27	会場	空き家の件で、580件ほど空き家があると聞いて、うち1件幾地区の空き家は半分以上倒壊している。いつ壊れてもおかしくない。地震が多く起きている近頃、地域の人が空き家の前を通るのは非常に危険。把握はされているか。また、町の方でなんとかできないのか。	空き家の関係については廃屋化したような空き家については総務課、活用可能な空き家については企画財政課が担当しています。幾地区内の発言いただいた内容に合致する空き家については2箇所思い浮かびますが、両方把握しています。昨年空き家の特別措置法ができ、町が代執行で空き家を取り壊せるようになりました。しかし、それを受けて町がどのように仕組みづくりをしていくかというところが未整備です。したがって、法律が通っても、町がすぐに大執行できるわけではありません。町が今できることは区と相談して、管理をしていくしかないと思っています。抜本的な解決にはなっていませんが、所有者の了解の下で、空き家の管理を町と地域とでさせていただいているのが現状です。
36	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	四辻	6/27	会場	合併後10年経過、この4月に岩屋小学校がやっと統合したが、合併したら遅くとも、5、6年で学校の統廃合は当然進めていくものかと思っていたが、統廃合については、メリットがないとお考えなのか。	平成23年9月に、学校等の適正規模適正配置に関する基本方針というものを教育委員会でもまとめて町長に提出しました。旧町ごとに1つの小学校に再編するというもので、岩滝は岩滝小学校、野田川は市場小学校、加悦は加悦小学校というように既存の校舎を使って統廃合を進めるというものでした。それから数年がたつて、基本方針についても子ども子育て会議に諮問して答申を受けて、諮問内容は平成34年度に一律に統合するというものですが、子ども子育て会議からはできることから統廃合を行うべきという答申を受けました。また、基本方針を示した平成23年度から期間がたつていの中で、児童生徒数の変化等を踏まえて、基本方針の見直しを行いました。今年の1月ごろから協議を行い、この4月に基本方針を作成し5月に町長に提出しました。内容について、加悦地域は平成34年度より早く統合できます。ただ、野田川地域については子どもの減り方が鈍化しているため市場小学校への統合は困難であるということになっています。よって野田川地域については、数年後にもう一度検討することとしてまとめさせていただいております。市場小学校については平成34年度にはちょうど建築後50年の期間がたつということでも耐用年数を迎えるということもあり、建て増しをするのか新しいものを建てるのかということも念頭に置いてもう少し期間がたつた後で検討することとしています。これは教育委員会の判断で、町全体で公共施設マネジメントに取り掛かっている中で、そのことも踏まえて町としては検討していきたいと考えています。
37	企画財政課	60	協働を進めるまちづくり	四辻	6/27	会場	庁舎問題について、分庁舎方式について、合併後10年がたつても、野田川北庁舎を残して3つの分庁舎で運営をされている。何年前かに、検討委員会が設けられ、その結論として、総合庁舎として加悦庁舎が望ましいという結論が出たと聞いている。また、その時に与謝野町の中心は野田川なので野田川地域に新庁舎を建てるべきという意見も出たように聞いている。いまだにどっちを向いているのかははっきりしない。今の体制のままではいけるつもりかをお聴きしたい。	庁舎問題、また先ほど質問を受けた教育施設について、小学校や、保育園、幼稚園の統廃合は早急に行っていくべきと考えています。この施設の統廃合については、さまざまな関係性を考えながら行っていかなくてはならないので、慎重に進めていきたいと考えています。庁舎統廃合については、現用の施設が老朽化によって使用できなくなったタイミングで、皆さんがアクセスしやすい新たな場所に、その時代に合った庁舎を建設していくべきであると考えています。そうしたことを実現していくためには、長期的な目線に立った取り組みをしていかなくてはなりません。そうしたことから、庁舎を建設するための基金を積み立てていこうという取り組みを行っています。これは長期的なビジョンではありますが、長期的な時点に至るまでに様々なことを行っていかなくてはならず、現在展開をまとめていくべく議論をしていこうとしています。今、お答えできるのは、現時点での取り組みと議論の状況だと思っています。今後においても町政に対して注目いただき、ご意見を頂戴したいと思っています。
38	企画財政課	60	協働を進めるまちづくり	上山田	6/28	会場	まず、資料の17ページの平成28年度町債残高、147億。このグラフでは非常に右肩上がりに急速に27年度からなっているが、これについて将来像はどうなっていくのか。大丈夫なのか不具合はないのか。行政側としてはどんな考えを持っておられるのか。	資料の17ページの平成28年度町債現在高が147億になっているということですが、この金額は冒頭に町長からの説明にありましたとおり、町の借金については、建設工事のみに発行することが出来ることになっていて、今年度につきましては、これまでの加悦中学校の建設事業と道路等の建設事業そして今年度からは岩滝の「かえり幼稚園」の建設をするために今年度は大きな右肩上がりとなっています。その関係でやむを得ない、どうしても必要な工事については実施をしていきますが、このまま右肩上がりではいけないため、今後は町債の発行を抑えていく、すなわち普通建設事業と言っているんですけども、工事の方の建設費を抑えていくということで、借金をせずに済ませたいということが一点ございます。又、与謝野町につきましては、歳入の方なんですけれども普通交付税が約50億、プラス特別交付税で5億いただいていますので、55億、国の方から交付税をいただいています。それに資料16ページの方には町税の総額ということで約18億弱ほどいただいています。その他、国や府からの補助金、使用料も含めまして町の予算組みをしていっています。今後の見通しとしては、地方交付税を合併特例ということで3町分のお金をいただいているんですけども、それが1町分のお金になると、それが28年度から5年間続きますので、見直しは大変厳しいと思っています。それにつきまして、町財政が苦しくなることを見越して、町では行財政の改革に取り組んでいるところです。具体的には、3町が合併しましたので、公共施設も同じような施設が3町分ありますので、その施設について、今後どのように統廃合していくのかということも含めまして考えていきたいと思っています。いずれにしても、ご指摘のとおり借金の方が伸びていっていますので、まずは借金をしない予算を今後、見通していくということで考えています。ただ、今年度、来年度とゴミ処理場の事業費がありますので、今年度と変わらぬくらい伸びる要素はあるんですけども、抑えていきたいと考えています。
39	企画財政課	60	協働を進めるまちづくり	上山田	6/28	会場	公共施設の統廃合を考えておられるということですが、統廃合される段階において、例えば旧野田川庁舎などは多分取り壊されるのでしょうか、当然ながらそれに対する諸費用はかかってくる訳です。小学校の場合、旧校舎とある訳ですが、それらについて、どのような処置をされるのか併せてお聞きしたいと思います。	現在、町で持っている公共施設すべてを洗い出し、その施設をどのように統廃合していくかという取組を行政改革推進委員会でご議論いただいております。まずはじめに与謝野町の公共施設が今後、全国的にどのくらいの規模であれば、与謝野町の規模でたら公共施設がどのくらいだろうという試算を行い、それに向けて公共施設がどのくらいの面積とか経費がどのくらいかかっているかということでも大枠の削減目標を作成しているところです。その大枠の削減目標を立てて今後、個々の公共施設をどのように削減していくのか、又は有効活用に別の使い方をしていくか、そういうところを考えていこうということで28年度中に全体の大枠の削減目標を基本計画として作り、それに合わせて、引き続き実施計画を立てていこうということで、現在それについて行政改革推進委員会の方でご議論いただいておりますので、今「こうやります。」というところまではお答えはできませんが、そういうような形で取り組んでいこうということです。
40	企画財政課	60	協働を進めるまちづくり	上山田	6/28	会場	先程、町長の方から大分、町内における空き家が増えていって、580戸ですか。数年前には400戸であったと聞いています。独居世帯が非常に多くなっています。これは間違いなく空き家になる予備軍でございまして。そうした中で空き家対策として防災防犯として、当然のことながらその地は機業地でその工場自体がもうかなりの数が空き家になっているわけです。これについての町の対策なりビジョンですか。そうしたものがあればお聞かせ願いたい。	空き家につきましては、各区分におおむね585戸ほど空き家がありました。今後は独居の家が増えていくと想定はしていますが、空き家を空き家にしていくという取組が必ずしも必要かとは思っていません。まずは、空き家になっているところに、よそから移住してきてもらえるような取組をやりたいということ、28年度から与謝野町で初めて移住、定住の予算を取りまして取り組んでいるところです。ひとつは与謝野町の移住相談窓口ということで、地域おこし協力隊の方の力を借りて専門やというところで今、取り組んでいます。地域おこし協力隊の中から選任は出来ていますが、その方を中心に取り組んでいきたいと思っています。もうひとつは「与謝野むすび人」という人を選任し、与謝野町内におられる衣・食・住に関わる人達に都会の方から移住して来られた時の相談相手になっていただいて、仕事の面でもありまして、子育ての面でもありまして、こちらにいられたら、この隣組はこういう制度がありますよとか、そういった相談のついでにいただけるような取組をしていこうと思っています。もう一点は与謝野の短期滞在型というプログラムをつくり、「与謝野町はこんなところですよ。」という紹介を都会の方から一時的に短期的に住んでもらうような取組を空き家を使ってやっていきたいと思っています。そのプログラムというのは、農業関係とか職関係とか、そういうようなところで与謝野町内におられる事業所の方と一緒に取り組んで、連携しながらやっていこうと思っています。もう一点は移住相談後の拠点施設ということで都会の方から来ていただけるような窓口となる拠点施設をどこかの空き家のいい所を使い、そこを中心に地域おこし協力隊に協力していただきやしていきたいと将来的なイメージを持っています。それから京都府の方で4月から移住促進特別区域という補助金が出ているようなメニューが出ています。それを活用しながらやっていきたいと思っています。昨年調査し、空き家が585戸あったということで、その内の約7割が修理した住居のような活用可能な空き家なんですけど、約10%は数字にして61戸なんですけれども、そこはすでに廃屋化しています。また住居でない状態の空き家で、これらは大きな課題となっていて、毎日のようにご相談を受けています。これにつきましては、昨年法律が改正されて「空き家特別措置法」といって、最終的にどうにもならない時は町が代理執行できるという整理が出来たんですけど、どちらにしても費用がかかることなので、町がそれを受けて、条例化して、組織づくりをして、仕組みを作って最終的に町がお金をかけて処置することも可能ですが、これは経費の使い道として踏み込んだ議論にならなくて、法律は出来ましたが、そうした組織づくりには至っていません。このことにつきましては、地域の皆さんとご相談をさせていただきまして進めていきたいと思っています。

No	担当課	分類1	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
41	与謝野町	60 協働で進めるまちづくり	上山田	6/28 会場	上山田区も非常に高齢化しております。昨年は一人も子供が産まれました。区としては、誕生されましたら一万円のお祝いを持っていくんですが、昨年は支出がゼロでした。そして高齢化に拍車がかかるということで、今、空き家対策とかそれも大事なんですが、子供がいつか都会に出たら戻ってこないと思えます。それは仕事が無いからで、祭で若い子に出会いましたら、「祭はええなあ。それで帰ってきたんだ」とそれで「帰ってきたらどうだ」と言うのと「帰って来たけど仕事が無いで帰れへんわな」と。そのような話がたくさんありまして、都会の方から移住してこられても仕事がないと生活出来ない訳で、もし来られたとしてもリタイアをして悠々自適に暮らす人はあるのかもしれませんが、若い世代、若い夫婦が与謝野町に住んで子供を産んでやっていくということはあるのだろうか。どの地域もそういう施策を考えられてやっておられる中で、この人口減少は、町長が先頭に立って新しい産業とか考えておられるんですけども、今からがんばったとしても20年はあるということ、本当に長いスパンで考えていかないと色々難しいことが起こるのだから。そういった中で岡山の方で場所を忘れましたが、ものすごく格安の賃貸住宅をやった結構人口が増えた。そういう施策をやって、よその市町から「与謝野町はええ」と例えは極端にいうたら水道料金はタダというように「与謝野町はええなあ」と「京丹後市に住んどのよりよっぽどええ」というような、チマチマしたという語弊がありますが、どの市町も施策をやっている中で言うたら「取り合い」で終わる。この丹後の少ない人口の中で取り合いをせんなんということ、よっぽど魅力があるメリットがあることをやっていかんと、このままジリ貧になっていかなかんと。毎年300人ほど減っているという話も聞いていますし、本当に先がどうなるのかと危惧しています。色々申しましたけど、頑張ってやってほしいと思っています。	与謝野町に限らず全国各地の地方においては人材不足が進行していると思います。そうした中で定住施策をやっていくことの難しさがあると思っています。その中で第一のハードルとなるのが地域における仕事がないということ。与謝野町で育った子供達が成人を社会人になって与謝野町に帰って来ようということになっても就職をする先がないということがまず第一のハードルかと思っています。そうした状況は長らくそうだったんだけれども、この地域におけるハローワークの試算によりますと有効求人倍率も若干の上昇傾向にあるということがございます。そうした中で私達としても、この与謝野町において様々な分野において仕事を増やすことが出来るようにということで、例えば企業誘致であったり、既存の誘致企業が拡大をすることのお手伝いをやっていきたいと考えているところでございます。そうした少しずつの積み上げをしていくことによって、この地域でも仕事があり、結婚、出産、子育てが出来るとことを多くの方々に伝えていきたいと考えているところでございます。そして最近の移住の事例として三河内地区で日本人とインド人女性のカップルが移住してきたという事例がございます。このカップルについては双方地域内で仕事をされています。こうした先進的な前例がこの地域でもいくつかありますので、そうした人達との意見交換をしていくことによって、地域でも移住が可能、定住が可能であるということをお知らせしていくことが出来ればと考えています。そして空き家の問題についても、現在、国土交通省におきましてもこの日本国内において820万戸のたぐさんの空き家があるということが報告されています。そうした空き家を活用していくことが国策としても必要なのではないかと、空き家を公営住宅化するという方針も出されつつあるということもございます。こうした国や都道府県の動向を見ながら空き家を活用していくことにより、より豊かな、より快適な住空間を提供するということを考えていければと思っています。そして最後に水道料金の無料化ですとか保育料の無料化といった大胆な取組をしていくことによって、町の良さ、魅力をアピールする手法がよいのではないかとご提案がございました。私としてもそういったことは性格上大好きなんですけれども、やることとやれないことがありまして、出来るならば、そういった以外の様々なお知恵をいただきたいと思っています。
42	与謝野町	90 その他	上山田	6/28 会場	こだわることではないですが、水道料金を無料化というのは言い過ぎかもしれませんが、それくらいのことをせんと他町に負けるで。財源についてはこの施策をやると決めたら、他が滞ってもそれをやる。まあ夢みたいな話をしているんですけども、とにかく魅力ある与謝野町をつくらなければならないという願いです。	
43	与謝野町	90 その他	上山田	6/28 会場	5年前にこちらに帰ってきたんですが、町長は与謝野町の色は何色だと思いますか。与謝野町に色なんてありますか。俺は色が見えないんです。若い者が帰ってこないと本当は仕事が無いから帰ってこないんです。それより若い子が何をしたいのか。与謝野町でこういうことをしたいという子を連れてきたらいいんじゃないですか。仕事を一つ一つ帰ってこいと言ったって一度出たら帰ってきません。……(その後、雑音多く聞き取り困難)	全国各地で移住、定住の取組が進められています。そういった中で一番前は企業誘致や仕事を作るということに重点がおかれてきました。そして、それをすることによって定住促進を進めていくのが一定の流れでした。ただ、今は「まず仕事」というのは「この地域に住みたいんだ。」ということをはっきりとさせた中で自分たちが何が出来るかと考えるという傾向が強くなっていると聞いています。おそらくおっしゃった内容としてはこの地域にまず住むということが大切であって、その後で自分たちは何が出来るだろうと生活の糧を見つけていくということだと思います。私の方でも参考にさせていただきたいと思っています。また宿題としてこの町の色が何色かということについても考えていきたいと思っています。
44	学校教育課	50 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	上山田	6/28 会場	今、若い人達の件もあると思うんですが、私、加悦谷高校のOBでありまして、同窓会等関係があるんですが、過日、毎日新聞にありました高校の件ですが、9月には方針は決まるということで、私は知りませんが、高校は府ですので、町はそんなに関係がないというか。力がないというか。そのように聞かせていただきまして、加悦谷高校の人口も減ってくるということで、マイナス思考です。プラス思考で、キャンパス制度も大学のキャンパスを調べるようです。距離も宮津と加悦谷高校はあるようです。とりあえず、9月には決定するということをおっしゃって、昔から「誤報の毎日、捏造の朝日」といって、実際、本当の情報なのか。私も営業で回っていても中学校とか小学校高学年の父兄から制度が出来たら電車代とかどうなるんだとか聞かれるんですけども、私もわかりませんし、実際どれが最新の情報なのか町からも出ておりません。とにかく最新の情報を町民の皆さんに知ってもらおう。それを教えていただきたい。町政懇談会で聞きますといっていますし、お客さんにも返事をしなければならぬので、ひとつ教えてください。	加悦谷高校の関係のことをお答えしたいと思っています。この間、京都府教育委員会とも幾度となく議論を重ねてきた経過があります。本年に入りまして、この与謝野町を含む丹後地域における府立高等学校のあり方をどうしたらよいかを議論していきたくての打診がありました。その背景につきましては、この京都府下において、特に中丹、丹後地域において少子化が進んでいます。その中におきまして、この地域における府立高校のあり方というのはどうなんだということを考えたいということでした。その議論の中で加悦谷高等学校についてもどうしていくべきなのか相談いただいたということ。私たちとしては、この与謝野町の唯一の府立高校であり、また町内における最高教育機関としての加悦谷高校は非常に重要な存在であると考えておりました。ぜひ本校としての継続をお願いしたいということでありました。ぜひ21世紀型の教育のあり方を同時に模索していただきたいということを教育委員会に対し要望を申し上げておきます。そうした私どもの要望と、そして町の中で有志のみなさんが強く加悦谷高校の存続を思われていたということをおそらく考慮していただきまして現在に至っているということでございます。先般、報道などでありましたように、今後この宮津、与謝野地域におきまして、宮津高等学校と加悦谷高等学校を統合した形で新たな高校を造っていきたくてという方針でございました。それは加悦谷高校、宮津高校双方が本校であるという位置付けの提案でございました。私たちとしてこの提案を現在のところ受けさせていただいたという状況でありまして、これから具体的な条件といいますが、状況についての提案があると考えているところでありまして、京都府教育委員会としての思いも聞かせていただきながら、引き続き議論を進めていきたいと考えているところでございます。いずれにしても、私たちとしては加悦谷高校は非常に重要な教育機関であり、この教育機関が存続していく、持続的に発展していくということがひいては地域の活性化に繋がっていくと考えていますので、引き続き住民のみなさんと一体となって議論していきたくて考えているところ。この議論の母体といたしましては私も町長事務局、教育委員会事務局をはじめ町内をひっぱり出す団体、例えば商工会であったり、区長連絡協議会であったり各学校のPTAなどにも入っていただきまして、私どもとして検討団体をもって。今後それらの検討団体の場を通じまして、総意として加悦谷高校がどうあるべきなのか。魅力的な学校になるために私たちとして何か出来るのかということを考えていきたいと思っています。もともと京都府教育委員会が先程から話題になっていますように、生徒数が年々減少していく中で高等学校の質を落とさないためにどうすべきかを検討してまいりました。京都府の府立高等学校の適正規模は学年8クラスです。8クラスということは1学級40人ですので、1学年で300名ちょっとです。それが3学年になりますと1000人近くになります。これが大体、高等学校の質を落とさない人数となっています。私たち小中学校の教員配置があるように、高校においても定員を基準に教員配置がなされていると理解しています。
45				会場		
46	建設課	40 快適でやさらぎのある生活環境づくり	上山田	6/28 会場	それともう一点、京都に電車で行って、8時40分の電車で帰ると、野田川駅に着くと10時50分なんです。それでタクシーのある時や無い時もある。夜、野田川駅から自転車道を歩いて山田まで帰るんですが、江陽中学校の下までは自転車道に電気が点いているんですけども、10時、11時になると電気が一斉に消えてしまいます。駅から歩いて帰りますとゴダいの辺りでだいたい11時になります。そうしますと真暗でゴダいの明かりと懐中電灯を点けて帰るんです。江陽中学校の下まで街灯が点いていると助かるんですけど。タイムレコーダーかなにかで15分ほど点灯時間の調整が出来ないものですか。たまに高校生も通りますんで、小さい話ですけども出来たらそれをお願いしたい。	自転車道については府道となっており、街頭も府で管理しています。付近が農地でございまして、農作物に危害が出るというのは好ましくないということである一定の時間になると消えるようになっています。機械的には下山田から石田につきましては太陽光発電のタイプがつけられていて、電池が無くなれば消えてしまいます。上山田側については普通の熱光線のタイプのものがついています。時間の調整は多分出来ると思いますが、農作物に影響が出ることは好ましくないということである一定の時間がくれば消えるようになっていきます。
47	企画財政課	60 協働で進めるまちづくり	上山田	6/28 会場	この前、議会で中継の録音を見ていたんですが、庁舎問題に対する質問が出ておまして、町長答えておられたんですが、私も同じ意見でありまして、というのは私、第一次の検討委員会の委員をしていまして、中身を重々承知した中でのあいつの答申だったんで、町長は中身を充分承知しておられるとは思いますが、あの時は岩滝が大変なことでありまして、浪江総務課長、小池防災安全課長は担当でありまして、その辺のところは充分に理解されているとは思いますが、何とか答申を出すに至っては新しい庁舎を野田川に、町の中心でもありますが、そこに持って行く方向で考えようということになって、今は落ち着いております。将来的には考えないといけません、今これをやると、二次の検討委員会ですか。これをやるとまた岩滝がまたやるのかということで今後の行政運営に多大な影響があるだろうと私も心配しておりますので、それと方向性ですね。町長は「こうするんだ」と「こういう思いがあるんだ」と議会で出しておられなかったように見えたんですけど、その辺のところはどうですか。	ただいま庁舎問題の方向性についてどうなんだとお尋ねがございました。その観点から現在、申し上げていることをあげていきたいと思えます。私の方針としては現在の施設が老朽化する段階がいつか来るだろう。そういった段階において住民の皆さんがアクセスしやすい場所に新たな庁舎を建設していくことが必要なのではないかと申し上げておりました。そのための準備というのが、長い期間かけていくこと。それから、それに備えて少しずつ基金を積み立てていくこと、そういった整備をしている段階でございます。今後、新たな場所に新たな建設を可能にする年限がいつになるのかということも規程できていない状況でございます。その間の庁舎のあり方については少なくとも精神的に議論していく必要があると考えています。議会でもありましたが、只今もありません。庁舎問題については住民の一体感を損なう非常に大きな問題と私自身考えていますので、そういったご意見も参考にさせていただきながら十分に慎重に進めていきたいと思っています。
48	社会教育課	50 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	下山田	6/30 会場	野田川体育館のカーテンに相当ダメージがある。修繕をお願いしたい。	体育館は30数年経っていますが、一度も交換していません。ダメージ、劣化もしています。先日地元業者と確認に行き、見積もりをお願いしています。可能な限り対応していきたいと思っています。

No	担当課	分類	分類1	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
49	農林課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	下山田	6/30	会場	獣害フェンスが設置されていないところがある。竹林についても乱れ生えている。整備をしていかないといけない。竹を切って置いておけば、処理していいのでは？	設置ルートにつきましては、地元管理者の意見もお聞きしながら決定しています。増設などのご要望がありましたら、まずは地元管理者に相談していただきますようお願いいたします。 放置竹林は森林の保全、獣害対策にとって深刻な課題であると認識しています。竹林の整備につきましては、今年度の新規事業である府民税を財源とする「豊かな森育成事業」による補助金の活用が可能と考えます。9月中には事業の詳細を各区分長にお知らせする予定ですので、検討していただきますようお願いいたします。
50	農林課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	下山田	6/30	会場	与謝野駅から野田川の堤防までの間、農道、水路等の整備をしている。年に少ししかできないので、次世代の農家のためにも整備をしていただけたら。	一定規模の農業用水路等を短期的に改修整備するとありますと国府の補助事業の活用が考えられます。予算措置、補助要件、地元分担金等整理が必要な事項がありますので、協議・検討の場を設けさせていただきたいと考えます。
51	建設課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	下山田	6/30	会場	かすみ堤防が切れているところがある。遊歩道をつけられないか。また野田川改修について、ポンプ策？をしていかないと水の流れが悪くなる。また、河川の中の草木をなくすことはできないか？イノシシ等が住み、獣害がある。	かすみ堤防はわざと切つてあります。野田川は府が管理なので、土木事務所にかけないか聞いてみます。 野田川は暫定改修が終わらないうちに本格改修は始めないというのが、府の方針です。今は金屋まで暫定改修が進んでいます。本格改修になるにはもう少しかかります。河川内の草木を刈るのは、水流に影響があるもののみとなっています。ある程度の草木は流水を止める働きもあるので、きれいには刈らないというのが府の見解です。
52	建設課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	下山田	6/30	会場	10年以上前から要望を出している。丹鉄の踏切から30m山手に入るところの道路の改修をお願いしている。車・人の出入りが多い、直角に曲がったりで緊急車両も通れないのでは？地権者との兼ね合いもあるかと思うが何とかならないか？	一件空き家があり、前区長の時から話を聞いています。当時は、持ち主から今すぐに応じられないと返事をいただきました。少し前は協力してもよいという話を聞きました。しかし、現在は引越越し等で連絡が取れなくなりました。現在は話が止まっている状況です。 通学路対策としては、今歩道をつけてきています。須川医院までは延長しようという話になっています。サイクリングロードまでつなげる予定であり、安全になるのではと考 太田町長はH34に加悦野田川で一斉に統合するプランでした。時間がたつ状況も変わり、再検討されました。今後の児童数をみて検討していくという方針が出されました。公共施設の計画等も合わせながら考えていきます。山田小については見通すことができないのが現状です。与謝野町の出生率は1.71です。
53	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	下山田	6/30	会場	小学校の再編について 太田町長は野田川で一つの小学校へ統合だった。山添町長の考えは？	P19の財政状況について、30年度は歳出が膨らんでいるのはなぜか？収支不足と基金残高について、35年度以降は赤字になるといふことか？
54	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	下山田	6/30	会場	P19の財政状況について、30年度は歳出が膨らんでいるのはなぜか？収支不足と基金残高について、35年度以降は赤字になるといふことか？	ごみ処理施設の工事負担金が予想されるためです。合併から10年経ち、交付税も28年度から徐々に減っていきます。毎年少しずつ赤字が出る計算です。赤字の補てんを基金からくすしていくという説明ですが、こうなるわけにはいかないの、様々な対応を検討していきます。行財政改革、公共施設マネジメント、公共料金の値上げ、事務事業の見直し等です。
55	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	下山田	6/30	会場	中学生の登下校について、上山田は徒歩、下山田は自転車。本来自転車道を通るのが、学校の指定するルート。しかし立ち番で立っていないときには、別のルートで登校する生徒がいる。通学路以外で事故をすどどうなのかが心配。教育委員会からも学校へ連絡してくれないか？	守れていないということでしたら、学校と連携し、生徒へ指導をしていきたいと思えます。また、見かけましたら、連絡をお願いします。その都度報告していきます。
56	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	下山田	6/30	会場	庁舎問題について、野田川は5人も来れば窓口はいっぱいになる。今の状態は不自然な感じがする。任期間に道筋を出すというけど、どのような状況か？	現有の施設が老朽化した時点で、町のアクセスのしやすい場所に新庁舎を建設します。そのために基金の積み立てを始めました。
57	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	下山田	6/30	会場	FM告知放送について、語尾が上がったり伸びたり、個人的な感想だが、気になる。	くせがあるのでしょか、伝えておきます。その都度よくなるよう改善していきます。
58	CATVセンター	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	下山田	6/30	会場	有線テレビでお悔みの放送が、遅い。文字放送は課を選択して情報を見ることができるようにならないか？ようこそ町長室へでは山下から質問を受けるだけでなく、町長がマイクを持ち番組を進めるのもよいのでは？	お悔やみの放送については、放送登録のため、毎日午後3時の時点まで受付し、その夜に放送しています。しかし、金曜日の午後3時以降の受付になりますと、土日を挟むため月曜日の放送になるなど、放送が遅くなる場合があります。 「文字放送で課の選択」については、現在のシステムでは4種類別でしか対応できません。登録順となっています。 町長室ですが、変化をつけるのもいいかもしれません。何らかの形を考え、面白い番組ができればと思います。
59	農林課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	石川	7/1	会場	熊が堂谷地区に多く出ている。緩衝帯のメンテナンスは、専門的な部分があるため個人・地区の力だけではできない部分がある。緩衝帯のメンテナンス事業を国・自治体の補助事業等で10年に一度でも良いので対策をしていただきたい。	有害鳥獣対策としての緩衝帯の整備につきましては、今年度創設しました防獣フェンスの維持管理支援事業、もしくは豊かな森育成事業(9月中に各区分長に案内予定)により対応可能となっております。
60	農林課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	石川	7/1	会場	京都府で森林税(豊かな森を育てる府民税)の導入が始まった。府からの森林税をもっと配分を受けられるように町から要望すべきだと思う。	府民税の各市町村への交付は、人口と森林面積によって配分額が決定されています。京都府に対しまして、森林面積に重きを置いた配分について要望をさせていただきます。
61	総務課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	財産管理委員の区との関係性、定義はどういったものになっているのか説明していただきたい。	財産区との関係は、山のことは農林課、財産区管理委員のことは総務課が受け持っています。財産区の管理委員は法令で定められています。ひとつの財産区には管理委員は7名以内。岩滝地域には財産区はありませんが、野田川、加悦地域には財産区があり、それぞれ財産区管理委員が置かれています。委員は、町の議会で承認する人事案件となります。区の役員との関係については、兼務しても問題ないと思っています。
62	総務課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	財産区という言葉ができたのはいつかご存知か。	昭和の合併の時代、おそらく昭和30年代に村の財産が合併によりなくなってしまうことがないように、合併を促進するために特別に設けられた制度です。財産区は特別地方公共団体であり、町とは別の団体、区とも別の団体。財産区の予算決算についても、財産区の中に議会を作って予算議決するべきですが、町議会で予算議決することも可能となっているため、町議会において予算議決を行っています。
63	総務課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	町において、財産区の在り方を見直す必要があると思っている。	石川財産区については町(総務課、農林課)に相談してもらえれば対応していきます。府とも協議はこなっています。
64	総務課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	財産区は「合併の基本5項目のうちより」の中に入っているのかどうか、調査してほしい。また、合併の基本5項目について調査を行い、明確にわかるものを作成してほしい。	調査します。 財産区の財産になり、町の財産にはならないので、合併時の協議の項目には入っていないと思います。正確な答えではないので、調査させていただきます。
65	建設課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	石川	7/1	会場	香河川前の府道について、いつになったら広がるのか。子供の登下校に使う道路なので、工事の見通しを教えてください。	府が管理している路線ということもあり、町が処理できないため、府に要望している状態です。整備時期については、明確な回答ができない状況です。
66	建設課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	石川	7/1	会場	昨年度、昨年度中に香河川前の府道の側溝の部分は整備できると建設課長は回答していたが、まだできていない。これは、どういうことか。	この案件は、府民公募型の事業に含まれます。京都府も整備を行うと言っています。しかし、町内には、府民公募型事業で香河川前府道の他にも約66カ所実施できていないところがあります。京都府には要望していますが、2年前の福知山の水害の影響もあり、整備の順番が回ってこないのが現状です。
67	建設課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	石川	7/1	会場	署名活動をすれば、早く整備してもらえるようになるのか。登下校に使用する道なので、なるべく早く整備してもらいたいのが地域の声。	現状は承知しているつもりです。府への要望を行っています。
68	与謝野町	90	その他	石川	7/1	会場	地方創生などの言葉が飛び交う中、今後のまちづくり構想において、例えば町全体を3つのゾーンに分けるとしたら、どういった構想が考えられるか。	例えば町を3つのゾーンに分けるのは難しいが、岩滝地域は阿蘇海、阿蘇サーサイドパークのように環境中心にまちづくりを行いたい、加悦地域は大江山や中山間地域、各区の連携によって様々な事業が展開されていると思っています。野田川地域は自治区の中で活発な動きが展開されつつあると思っています。例えば、岩屋は雲岩地域を地元のみなさんが盛り上げていこうという動きがあります。また、四辻では公民館活動により地域力の発展につなげていこうという動きがあり、石川区もお酒、うどんを作ったりと動きが活発です。そのような、これまでのまちづくりの性格を踏まえながら今後のまちづくりは展開して行くべきだと考えています。町全体を3つのゾーンに例えたとしたら、このような3つの地域の性格を踏まえたものになると思います。
69	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	空き家の具体的な活用政策について見解を示した方がよいのではないか。	町が把握している585戸の空き家の約7割はすぐに住めるか、簡単な修繕で居住が可能、残りの約3割は廃屋化もしくは修繕しても居住が不可能なものです。町としてすぐに行っていきたいこととしては、すぐにも住める空き家の活用法と廃屋化した空き家の対応法、この二つを重点的に考えていく必要があります。すぐにも活用できる空き家は、現在空き家情報を取得し、空き家を望んでいる人たちに情報提供しています。廃屋化した空き家についても、地権者と連絡をとり対応しています。
70	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	今すぐ利用できる空き家について、現在その空き家を利用されている人はいるのか。	昨年、地域おこし協力隊の女性が自分の住居としてリフォームし、空き家に住んでいます。金屋にオープンした飲食店も、昔からの民家を活用しています。しかし、これら2つは町の空き家調査実施前の事例であるため、空き家調査後に町が把握した585戸の中からの空き家の活用については現在のところ実績はありません。今年度中には、移住定住の拠点施設として空き家の活用を考えているので、何かしらの実績が示せると考えています。(7月中旬に1件の実績があがる予定です)
71	総務課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	石川	7/1	会場	元町長の自宅が長い間空き家になっている。どうい対策をとるべきなのかアドバイスがあれば教えてください。	現状は承知しています。廃屋化した空き家については、町が条例制定などの仕組み作りをすれば、町の代執行により処理はできるようになっています。しかし、1戸あたりの解体費用が300万円ほど必要と言われていた中で、果たしてそこに税金を使うべきなのかという問題もあり、町として仕組みはまだできていません。町内では、区から空き家所有者もしくは関係者に連絡し、了解をとって地域の人が草刈りや伐採などの整備を行っている事例はあります。その例を参考に、区に対応をお願いしたいと考えています。
72	総務課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	石川	7/1	会場	所有者の中には、区からの要望に答えてくれない人もいます。その時は町が対応してほしい。	その場合、町が連絡をとっても対応してくれない人が多いです。区に対応してもらえないと考えています。
73	上下水道課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	おとしダムの管理責任者が誰なのか知っているか。	ダムの占用管理事務は建設課、湯水期における水の制御に関しては上下水道課と農事組合、大雨の場合は防災安全課、区長が関係してきます。つまり町管理といえます。しかし、日常のダム周辺管理、草刈については、石川区が行うことで昭和63年に協定が結ばれており、協定書に明記されています。

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
74	上下水道課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	おとしダムは町が管理すべき。(草刈等)	区、町それぞれの関係者で、これまでの経過を踏まえ整理したうえで、今後をどうするのか検討する必要があります。
75	農林課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	おとしダムの林道の側溝の状況がひどく、水が流れない状態。そこの林道は誰が管理しているのか。また、林道管理の予算5万円の中に、おとしダムの林道管理は入っているのか。	林道は町の管理施設です。また、林道管理予算の5万円の中に、おとしダムの林道管理も含まれておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
76	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	平成の大合併は何のために行ったのか。国の進めた大合併の目標に向けて、町は向かっていたのか。	小泉政権時代の三位一体改革により交付税・国庫補助が削減され、単独では生き残れなくなった市町村が合併したと考えています。合併後10年間は交付税、起債などの財政措置であるアメをいただいていた。国が補償している10年の間に、町として財政運営ができるようにということでしたが、現時点ではまだまだ行政改革ができていないと認識しています。公共施設の整理も10年の間にやっておく必要がありましたが現在行っている状況であり、対応が遅れています。職員数を削減していくことについても、合併当初から50人あまり削減できていますが、人口100人あたり職員一人が妥当数だと考えると、まだ削減の必要があると思っています。しかし、公共施設が多く残っているため、難しいところもあります。
77	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	会場	広報よさの特別号によると、平成37年まで歳出が歳入を上回っている。資料を見る限り、安心できないのが与謝野町の現状。予算要求できないのではないかと感じているかどう考えているか。	この資料(広報よさの特別号P19のグラフ)は、町民に安心してもらうために掲載しているものではなく、危機感を持って財政運営を行っていることを町民に知っていただくために載せています。
78	企画財政課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	石川	7/1	会場	安心して町民が与謝野町に住めるようになるためには、どのような改革が必要だと考えているか。	公共料金等の見直し、公共施設の見直し、事業の見直しによって財政を立て直す必要があると考えています。
79	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	算所	7/4	会場	人が増えるのは難しいと聞きました。今年の中学生、高校生の卒業者と地元に残る数は把握できているか？	中学卒業者のうち2名は自宅等にいますが、ほとんどは高校へ進学しています。高校生は把握していません。
80	商工観光課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	算所	7/4	会場	外へ出ていく子供たちがここに就職できる環境があるのか？いかに引き留めて町内で就職してもらうか。それによって人口の流出を防げるのではないかと。そうでなかったら無理なのではないかと思う。	昨年1年間かけて、人口を維持していくためにどういった取り組みをしていかなければならないかという議論をしてきた。その中でも人口ビジョンの設定をしている。2060年という長期的な視点に立っているものだが、概ね1万6千人を維持していく目標としている。なぜ、留まることが出来ないのか、戻ってこないのかは仕事が無いたくが非常に大きく起因していると考えている。しかしながら、この圏域における有効求人倍率は昨今上昇傾向にあると伺っている。そして中小企業の皆さん方においても京阪神において大学生を対象に人材の確保に乗り出しているという実態もある。こうした一つひとつの取り組みがどのようにこの地域において浸透していくのか注視していく必要があると認識している。ただ、今後与謝野町の人口が減少していくことは確固たる事実だと思ふ。
81	農林課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	算所	7/4	会場	豆っこ米は確かにいいことだと思うが、この肥料で豆っこ米を作っても金額に反映してこない。なおかつ、これを使ってブランド商品にしようとするのは無理だと思う。豆っこ肥料を使ってもそれが価格に反映してくるのなら皆入れておいしいものを作る。それを口で言うだけではなく、肌で感じておられるか。努力してほしい。そうすれば豆っこ米も増えると思う。結局、課長が仰られたようにJAでは全然価格に反映されない。町からも応援してもらいたい。	出荷先によっては、京の豆っこ肥料の使用が豆っこ米の価格に反映できていない実態があると認識しています。現在、町では「与謝野ブランド戦略事業」を展開しており、京の豆っこ米の高付加価値化を実現したいと考えています。
82	商工観光課	60	協働で進めるまちづくり	算所	7/4	会場	商品券について議会でも話し合いがもたれたと思うが、お金はどこから出てどういうことか。町内によっては年寄さんに「要りますか？」と回っていたところもある。それを結局、福祉のほうから商工会へ渡したと。そんな馬鹿な話はない。これは何年も前からのお話。お金のない人にできるだけ渡すようなものと理解しているが、今度のように何十万で下水排水の工事ができるとか、車を買えるとかそれも確かに必要だが、本当に必要なところはそんなところではないと思う。皆に行き渡るように真剣に考えてほしい。	商品券のことについては、議会からも地元の皆さんからもお叱りを受けて、我々も反省するところもあります。今後はできるだけ多くの人に渡るようにすることが第一と思っているので参考にさせていただきます。
83	総務課	90	その他	算所	7/4	会場	合併してから課長等が多くなったり、参事があつたりしてよく分からない。給料のこともあって役職を付けているのか。職員の数も減っていない。	当初は地域振興課を置いて緩やかな合併になるように施策を講じてきましたが、この1月1日から機構改革も兼ねて地域振興課を廃止して原課に戻し少しづつスリム化する努力はしています。今後もスリム化に向けては進めていかなければならないと思っています。職員の数は合併時320名いたのが現在は270名ぐらいいままで減っています。これはこの10年で退職する職員に対して3分の2くらい採用ということによってそういう結果になっていますが、先だつての地区懇談会でもまだまだ減らさなくては駄目だというお叱りも受けました。しかし、職員の数を減らすことも限度があり、サービスとのバランスを考えた方がいい形が取れるのか考えていかなければならないと思っています。今後は庁舎の関係で職員の数は一定必要だと考えています。また、役職については、課長を補佐する主幹、係長などを必要だけ命名していますが、皆さんには分かりづらいことだと思われまふ。ある程度年数によってそれなりの処遇も必要になってきますがバランスよくやっていきたいと考えています。
84	子育て応援課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	算所	7/4	会場	認定こども園はこの地域になじむのかなあと感じている。野田川、岩滝には幼稚園と保育園があるが加悦には幼稚園が無い。	認定こども園が加悦地域に合うのかということについてはおっしゃることもわかりますが、今後、子ども達が減っていく中でそれぞれの地域ごとに就学前の教育、保育という観点から各地域に1つを町の方針として考えており今後地域ごとに入らせていただく中では、地域の意見を聞きながら進めていく必要があると思っています。
85	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	算所	7/4	会場	加悦高の問題の現状をお聞かせいただきたい。	加悦谷高校の件については、昨年の夏ごろ、京都府教育委員会が、特に丹後地域の子ども減りようが大きいということから、例えば今の高校1年生が中学3年生の時には1,000名を超えていたが、今年の3年生は900名ぐらいいままで減ってきていることになり、そうなるとう等高等学校としての教育の質が低下していくというところがあり、そういうことが京都府のほうで話し合いがされて、特に丹後地域でも具体的な話し合いが聞きたいということで、府立高等学校在り方懇話会というのが2月の終わりから3回ありました。出席し意見を述べましたし、町内でも各界から意見を頂こうと意見交換会をもって、町長をトップに色々と話しを聞かせていただいて現在に至っています。6月の第3回懇話会で、今までどおり丹後地域5校を本校として残すか、京都府教育委員会としては1学年8学級、1校1,000名弱の学校を理想としています。そうなるとう等高等学校としては2校でいいと、こういった案が2番目となっています。もう一つはキャンパス制ということで、新しい学校として名前を付けて、例えばこの地域だと宮津キャンパス、加悦谷キャンパスといった形で同等の高等学校を作っていくという案で、これが現在京都府教育委員会が示しているものです。今後、京都府教育委員会が皆さんの意見を聞く公聴会が7月24日10時からわーくばるで開催されます。そして9月頃に案を京都府が出すことになっています。また8月上旬に副町長と私が懇話会に出席することになっています。もう一つの観点として、まちづくりの観点から高校の重要性があるのではないかと考えられます。今後、与謝野町における加悦谷高等学校がさらに魅力的な高校として発展していくということはこの地域における活性化とも言えると思われまふ。そうした観点から加悦谷高等学校をより良い形で次世代に送っていくためにどういった選択をしていかなければならないのかということも議論していきます。また多くの住民の方は加悦谷高等学校が継続的に運営されることを望んでおられると思うので、精一杯取り組んでいきます。
86	企画財政課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	算所	7/4	会場	明石の方から、ひまわりバスが本通りである桑飼小学校の前を通らないということ聞いた。経路や運行日やバスの大きさをもう一度見直す必要があるのでは？	空の状態が多くもう少し小回りが利くようなものはどうかということですが、あのバス自体も大きなものではなく細いところにも入れるということで合併後検討してきました。その時にもっと小さいものでという検討もありました。運行の仕方今も公共交通ということで誰が乗ってもいい緑ナンバーの車で運行していますが、例えば、乗りたい人が連絡を入れて走らすという運行方法もあり、そういったことも検討しながら導入時にもっと小さいものも検討していました。リクエストで走らせる運行方式もありましたが、今の形がいいという結論で実証実験に入ったのがスタートです。その後運行ルートも実証実験中に色々と変更し、当時の野田川駅にも行かしましたが乗る人が少なかったなど、いろいろなことを検証して今の状態になっています。桑飼小学校の前のルートについても要望があれば検討しますが、1台しかないものを加悦地域や石川地域で回しているの、現状としてはお聞きづらいところ。2台目ということはお金との兼ね合いになります。
87	企画財政課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	算所	7/4	会場	高齢化が進み足の不自由な人も増える。予約制にして小回りの利く運行も今後は必要なのではないかと思う。予約制で自宅前までということも検討してほしい。	検討します。今のバスを更新するのか、10人乗りぐらいのを導入するのか、切り替える時期に検討します。もう一点、タクシーのこともあるので電話予約で自宅までいくのは無理があると思われまふ。オンデマンドでもルートを決めていくこととなります。地域公共交通会議で議題にしていきたいと思ひます。路線バスやひまわりバスだけでは全てのことを解決できません。タクシー業界の撤退も危惧しています。
88	企画財政課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	算所	7/4	会場	上のおりは通っていないことなど今後色々なことが出てくると思うので検討してほしい。	地域公共交通会議で議題にしていきたいと思ひます。路線バスやひまわりバスだけでは全てのことを解決できません。タクシー業界の撤退も危惧しています。
89	社会教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	算所	7/4	会場	12ページの放課後学習支援事業で、参加された子どもの数は全校生徒に対してどのくらいの割合か？また、子どもが自主的に参加したのか、先生からの声掛けがあつて参加したのか？	拡充事業ということで昨年に試行的に5つの学校で行いました。全部で54回実施し、延べ164名の参加がありました。参加の仕方については学校の先生にお任せしており、先生と子どもが相談して参加しています。
90	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	算所	7/4	会場	中学校のグラウンドの周りの草は毎年言わないとできないのか？	小学校と中学校とでグラウンドを使っており、住民さんから言われたからするのではなく、計画的に除草していると思ひますが、持ち帰り確認させていただきます。
91	与謝野町	90	その他	算所	7/4	会場	一日一善は実行されているのか？ 一日一善は難しいことではないかと思う。庁舎に行っても若い人は全然挨拶をしない。年をとった人が来られたら何をしに来たのか聞く。これが一日一善。そういうやさしい与謝野町であつてほしい。	職員それぞれが意識しています。私は昨日しようとしたことは、商工会青年部のイベントで小さい子どもが傘を持って水路に近いところを歩いていたので親を探そうとして抱きかかえましたが、後ろにおじいさんがいて余計なお世話だった、という話でした。恐らく人というのは人のことを助けたり、人にやさしい気持ちで接するということはあるだろうと思ひます。この一日一善の取り組みが町民全体に広がるのがやさしい社会や地域に繋がっていくだろうと思ひます。

No	担当課	分類1	算所	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
92	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	算所	7/4	会場	昨日の防災訓練で2回サイレンが鳴った。区民が読んでいなかったことも思うが、昨年のほうが徹底できていたと思う。もう少しやり方等の周知できれば良かったと思う。来年への反省として、2回サイレンを鳴らすのが良いのか。告知が8時45分にあったが9時のサイレンのときには避難場所に行っておられた方が算所区以外でもあったように聞いている。今年は確認カードも最後のまとめだけでいいように聞いていたが、今年の確認シートを町でも保管されるべきだと思う。	1回目のサイレンは避難準備情報ということで、足が不自由な方や障害をお持ちの方が普通の初動体制が取りにくいということで、避難準備情報を出して避難の準備をしていただくことが一点、2回目のサイレンは避難勧告で通常のサイレンが鳴った時点で避難をしていただく、1回目のサイレンで準備をしていただいた方と一緒にいるのではないかなという思いでしていましたが、実際の有事のときのことを考えていただくと、避難準備情報を出した時点で既に公民館の方は避難所として開設していただいています。どちらのサイレンでも自分の判断で避難していただきたいと思っています。実際には夜間、外灯もない暗い中で公民館まで避難するのかという、CATVでモニターを作っているように、風水害のときには2階建ての家だと垂直避難をしていただくことになり。こちらの説明不足も中々行き届かなかったことでもあります。昨年引き続き同じ訓練を2回させていただき、本来は訓練でどのように動いていただくのかという以前に、隣組単位で防災会議を持っていたということに力点を置いているつもりです。ルールを隣組単位で考えていただくことが、来年度以降、原子力、地震の訓練に変えても隣組の防災会議で書類を作っていたことを引き続き継続していただくことが本来私どもが思っているところです。
93	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	算所	7/4	会場	竜巻注意情報はいつまでということを書いてもらわないと、言いたくないという責任が来ないようにしたいと思える。また班ごとに決めないとことだが、個人情報が出ないで新しい住宅には誰が入っているのか分からない。祭りで還暦と初老の名簿も出せない。	竜巻情報ですが今日も4回ぐらい注意報が出ましたが、全国一緒にアラートからの情報をキャッチしているため、何時までというのは情報として持っている機械上出させません。考える必要はあると考えますが、京都府南部の一部に出てもこちらでも出るシステムになっていますが改善できていません。個人情報の関係は、要支援者については災害対策基本法が優先されるので有事の際には情報を提供することになっています。国で定められている法律を守ることも我々の仕事となっています。十分に説明していくことも大事なことだと思っています。
94	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	加悦奥	7/5	会場	加悦谷高校の存続問題について、もう少し具体的に教えてほしい。	京都府教育委員会が生徒数の減少に伴って、今後の高等学校教育のあり方を検討しなければならぬということで、検討会議が行われました。特に生徒数の減少が著しい丹波地域と丹後地域では懇話会をもちたいということになり、丹後地域では2月末に1回目、3月に2回目、6月に3回目の懇話会を開催しました。与謝野町の高校生は、10年後には今の高校生と比べてその人数は6割程となりますが、京都府教育委員会では適正規模が1学年8学級となっています。丹後地域は海洋高校を除くと5校ありますが、京都府をトップに加悦谷高校のあり方を考えていかなければ、と考えています。意見交換会も2回開催しました。第3回懇話会で、①今までどおり5校のままとする、②2校にする、③宮津キャンパス・加悦谷キャンパス、といったキャンパス化、生徒数によって教員の配置が異なってくるため、京都府との話でキャンパス制の提案がありました。まだこれから細かい点は議論されるところです。7月24日(日)10:00～わくわくばで京都府教育委員会が公聴会を開催するので、ぜひ聞いて意見をいただきたいと思っています。
95	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	加悦奥	7/5	会場	防災訓練について、今年から防災安全課ができたが、去年はもっと熱心だった気がするが、今年の防災訓練は去年に比べると、人数確認の書類も無いなど、内容が後ろ向きになった気がする。これならば組合ごとに人数把握ができればそれでよいのでは。公民館に来ると逆に危ないような状況もある。組合ごとに組長が回るとか、1番組なら加悦中学校の体育館に…とか。今後の方向性についてお聞かせいただきたい。	内容は去年と同じ訓練でした。区長会等で防災訓練について説明・お願いをして、要望があった区には別途職員が説明に行きましたが、区によっては職員の説明までは良いと言われたため行かず、その辺りの統一ができていなかった点は反省点です。基本は隣組の防災会議をもっていたことが一番重要です。来年度以降の内容は未定ですが、隣組の防災会議はもっていただきたいところです。町長が原発の避難行動計画も作成すべきと議会でも発言していますが、今後もいただいた意見を参考にしながら、住民の安心安全のために取り組んでいきたいと思っています。
96	総務課	40	快適でやさす生活環境づくり	加悦奥	7/5	会場	空き家の問題。特に加悦奥3番組に潰れかけた家があるが、地権者がいたら壊せない。役場に区長自ら相談に行かれたが進展がない。手立ては無いのか。	昨年、空き家調査を行ったところ、町内に585戸の空き家があり、うち1割(61戸)が廃屋化していました。住めそうな空き家については、企画財政課が主となり、移住定住に結び付けて活用する方向です。廃屋化した空き家は総務課で相談にのっており、区長からも話を聞いています。昨年、空き家の特別措置法ができ、一定の協議会を設置して、法的に措置を施していけば、町で代執行できることになりました。しかし、前提としては所有者の方の了解が基本です。どうしても応えてもらえない場合に最終手段として代執行するというものです。1件あたり平均300～400万円かかるので、60戸だと1億8,000万円ほどかかり、税の公平な使い道としてどうかという議論もあります。法整備はなされましたが、条例・制度は現状としてできておらず、町や地域でできることをやるしかなく、抜本的な解決策は今のところありません。空き家だけの話だけでなく、工場系の中には冷蔵庫やテレビを解体したガラス類などが山積みになっています。24年6月に地元の方から通報があったのが出発点です。ゴミについては一般廃棄物と産業廃棄物があり、産業廃棄物は京都府の管轄となるので、府とキャッチボールしながら、少しずつですが、具体的にどうしていかたいと思っています。もう少し時間がいただきたいと思っています。
97	農林課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	7/5	会場	府の新事業を受けて、麦プロ、あつぷるふあーむと共に今年紅花を作った。麦プロジェクトとして、加悦奥で13～14年に亘って、麦を作ってイベントに参加したり加悦奥でふるまったりしているが、続けるには予算がなく、今は停滞ムード。そこでその内の4～5人くらいで試しに紅花をやってみた。咲くのは咲いたが、素人ばかり。姫路市は15年くらいでやっと基盤ができたが、それは行政部門が責任を持って面倒を見ており、町全体でやっているような大々的なもの。農業の傍ら有志で行われており、先日行ったイベントもすごい人数だった。紅花は咲くのは咲いたが1年目で、知ってもらうために損を覚悟でしている。町でも支援事業があるなら、何年か助成してもらえないか。地盤ができたら、働けるお年寄りの方は例えば農業の傍らしてもらうとか。こちらも頑張るので、町としても道の駅のようなところで、作ったものを売れるようにしてほしい。	農地の保全対策として、また地域おこしとして、自発的な新たな特産品の育成は農業振興の面からも意義のある取組と敬意を表したいと思います。町としましては、有利な財源の確保や商品開発、販路開拓など、生産者と一緒になって振興を図っていきたく考えています。
98	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	7/5	会場	与謝野ブランド戦略について、桑の葉を植えて蚕を飼って、養蚕をする計画だったかと思う。生産よりも流通に力を入れた方が良いのではないかと。流通が軌道に乗れば生産はできると思う。今から生産に力を入れて養蚕するという計画案を議会で回答されていたが、5年でほしいビジョンがたつのか。	説明が不十分でしたが、各事業所において丹後ちりめんの販路開拓はされていると思いますし、より積極的な販路開拓事業はしたいと思っており、事業を行っていく上で商工会や丹工といった組織との連携が不可欠だと思います。2020年にちりめんがこの地域で生産されて300年を迎えます。それに向けて戦略的な販路開拓をする必要があると思っており、府・京丹後市との連携の中で進めていきたいと考えています。計画の概要については議論の段階なので、また、分かりやすく皆さんに伝えるたいところですが、販路開拓は重要と思っているので、こういった売り先・やり方があるのではという事も教えていただきたいと思っています。養蚕について、桑の葉の栽培＝織物を想像しがちであり、そういう面もあります。しかし、この地域では養蚕から糸にするだけでなく、パウダーにするなど様々な転用し、拡散してきました。織物産業に対してのアプローチと水平的に、食品や衣料・宇宙工学の中にも活路を見出したいと思っています。事業計画についてはプロジェクトチームで議論しているところで、町の皆さんに分かりやすく説明できる機会が早々にできるよう努力しています。5年という計画については、国の地方創生に関する取組が5年というところで法的にも下支えされていることで5年を掲げており、1年ごとに成果を出し、確実なものにするために相当な努力がいとと思っています。養蚕事業の見直しの中で希望があるのかについて、希望が無ければ事業化はしません。1つずつ問題解決していくことで道は拓けてくると思っています。日本では養蚕産業は減少の一途をたどってきました。世界的に見ると養蚕産業は成長産業の一つとして位置づけられています。世界的な状況も含めて可能性を見出せるとしています。ただし、まだ数値的な部分を検証していける段階ではないので、いずれにしても手探りで進んでいく部分も大いにある事業と認識しています。多くの方から養蚕事業に関して、農産物の今後についての不安の声はいただいております。少しでも解消していくべく努力していきたいところです。養蚕産業については、減少の一途をたどっていると言ったが、京丹後市や愛媛県・新潟についても新たな局面での動きがあると聞いています。そういった自治体との意見交換や連携をしていきたいと思っています。また、この事業を進めるにあたって、行政的に識見や知識が乏しいところは、住民のみならず頼っていきながら、様々な視点や観点を指摘いただきたいと思っています。また、養蚕事業については日本国内において非常に優れた研究機関や組織があるので、その知見も活用しながらやっていきたいところです。すなわち、石橋を叩いて渡っている状態にあります。
99	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	7/5	会場	ホップ事業もシルク事業についても、男の人だけで考えて、女性の意見が入っていないのではないかと。プロジェクトを作るだけで、先のことを考えていないような印象。こういうプロジェクトにどれだけの人の人が関わっているのか、また、関わってもらうことができるのか。	町政において女性の視点は重要なことだと思っています。男女共同参画・女性の活躍を推進してきました。しかし、全ての事業において徹底されているかというとそうではありません。ホップやシルク事業も、意見をいただいた多くの方は男性だったと思います。しかし、男性だけでプロジェクトをすすめている訳ではありません。常にはありませんが、女性の専門的な知見をいただきたいながらすすめている部分もあります。女性の視点は町政や区政の推進には非常に重要と思っているので、あらゆる面で女性の活躍を推進できるようにしていきたいと思っています。与謝野町役場の管理職の男女比率は約17%で、他の自治体よりもやや高く、他の団体よりは女性の活躍という意味では進んでいると思いますが、まだまだ不十分とも思っています。
100	商工観光課	60	協働で進めるまちづくり	加悦奥	7/5	会場	資料の3. 織物に対する補助金の内容を教えて欲しい。最低が30万について。色々値が上がり、織り工賃は下がっている中で、なぜ30万円なのか。もっと小さいものを買ったときにも補助金という形はとれないのか。来年度以降もある事業であれば、要望として下限をもっと下げてほしい。	まず、織物織機調整等支援事業は機直しをされる1/2の助成をするもので、専門の方にお世話になる場合の費用を支援します。申請は商工会です。以前は商工会員への支援事業でしたが、昨年から会員以外も支援が受けられるようになりました。また、織物業生産基盤支援事業は織機やジャガードの更新や、機ごしらえなどに、府1/3と町1/3が補助しています。7月末までで募集しているため、募集要項を見ていただきたいと思っています。京都市等とも事業をする中で下限を設けています。金額については、次年度以降に向けて、京都市等とも検討をしていきたいと思っています。



No	担当課	分類	分類1	加悦	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
101	農林課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦	7/5	会場	肥料工場について。3月の前役員のとときに説明会があったが、その後の進捗はどうか。	京の豆っこ肥料工場につきましては、稼働から15年が経ち、施設が老朽化していることと、本町における水田農業の維持発展に欠くことのできない資材であることから、早期に設備更新を行うことと計画を進めています。現在の進捗状況は、大規模改修となるため、その財源確保として国府の補助事業の採択に向けて事務作業を行っているところですのでご理解をお願いします。
102	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	加悦	7/6	会場	防災訓練の班長の報告資料に世帯数と全員の人数を書けという欄があったが、防災訓練の前に事前に提出している。どうゆう理由で報告する事になっているのか。また、提出した資料はどのように使っているのか。	昨年度と同じ風水害を想定した訓練で、隣組単位で事前に防災会議を持っていただき、各隣組の人員の把握を行っていただきました。隣組の中では、レッドゾーン、イエローゾーン、浸水区域にお住いの方、また、足の悪い方がおられたり、個々の隣組でも違いがあるため、隣組単位で事前に防災会議をしていただき把握をした上で資料を作成していただき、当日、資料に基づき安否確認などの訓練をしていただき、結果を区に報告していただきます。区は集計したものを町に報告してもらおう訓練です。昨日、一昨日と、算所、加悦奥の町政懇談会でも何のための訓練なのかという意見がありました。訓練については、来年度以降も風水害ではなく、台風や原子力災害を想定した訓練を実施していきたいと考えています。どのような訓練でも隣組単位の防災会議はこれからも続けていただき、一番小さい単位の隣組を主に人員の安否確認に努めていただくのが最大の目的です。最初に隣組で作っていただく資料につきましては、隣組全員の人数ですが、訓練で提出していただくのは訓練に参加された人数を書いていただく様式になっています。防災訓練も本格的にはじめて回数をこなしていないので、毎年、すこしずつ皆様のご理解を頂ながら進めて行きたいと思っています。訓練に関する食い違いはどの区でもあるようでしたので、徐々に統一していければと考えていますので、ご協力をよろしくお願いします。
103	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	加悦	7/6	会場	各隣組単位でどこに集まれと指示があったが、いつ解散なのかも分からなかったし、よく分からないうちにだらだらと終わった。役場の職員が人数を確認して解散とすることができないのか。	今までは地震の訓練が多かったです。地震の場合は、建物から外に逃げてもらい集合してもらうのが前提の訓練になりますが、今回は風水害を想定した訓練でしたので、家の中で垂直避難として二階に上がることも訓練という位置付けをしていました。隣組によっては、集まったがいつ解散したらよいか分からなかった、という意見でありましたが、それは隣組長の判断で、報告内容をまとめていただき、区に報告したら解散という事でしたので、隣組単位で解散の時間が違ったということです。
104	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	加悦	7/6	会場	去年の訓練と同じですので、しっかりと文書を読めば、班長が理解して判断して解散するようにとちゃんと書いてある。先ほどの(Q1-2)の質問の、もう少し丁寧に周知徹底するという意味では分かりやすくやって頂きたいと思うし、町の言われることもその通りだと思ふ。ただ、実行性のある訓練をしていかないと、形式的な訓練で終わっているのでは、実際に災害が起こった時に具体的にどうするか。いざという時に、保健課、福祉課、消防、医療関係、加悦地域でしたら、やすらの里など、どこと連携・連絡をとって避難したり、安全なところに連れて行くなど、連絡をどうするか分からない部分もある。区長、町主など取り仕切っている方が見通しを持って取り組めるようにしていかないと。命にかかわることですので、是非、命を守るためにも実効性のある訓練をして頂きたい。また、一般の班長にも明確にどのように動いたらいいのか指示がしてもらえてもよかったですと思う。	昨年、加悦区を拠点として要配慮者の避難訓練や福祉関係の講習会を初めて実施しました。今年は地区を変えて山田小学校において、上山田、下山田区にお世話になり同様な訓練を行い、町の方からも看護師や介護士といった職員を派遣するを行いました。こういって訓練が全ての区で行えればよいのですが、人員的な余裕もありませんのでモデル的に訓練を実施していますので、先ほどの質問を参考にさせて頂きながら来年以降の訓練に活かしていきたいと思ふ。ご協力をお願いします。
105	住民環境課	40	快適でやさしい生活環境づくり	加悦	7/6	会場	ごみの減量化の取り組みについて、昨年度各区分にごみの有償化についての説明会をされて問題の提起をされたが、現在は強化期間を設けて、その取り組みによって考えていくということで、方向としては良いと思うが、町民の方々が関心をもって取り組んでいく、そして、みんなで力を合わせてやっていかないと、役場の方が言っているだけでは当然できないことなので、もっと大胆に提起していかないとなかなか浸透していかないと、進まない。今の段階で目に見えてどれだけの効果がでているのか。また、町は具体的に町民に、強いメッセージ送っておられるのか、強化期間を設定するのであれば効果が発揮できるよう取り組みを打ち出して欲しい。	現在、可燃ゴミを40%減量する計画で、可燃ゴミに多く含まれる雑紙をリサイクルに回すという方向で進めており、平成26年度と平成28年度の比較で、4月の状況はほとんど同量、5月は10%減量できているものの、雑紙が減っているかといえば、雑紙が増えたという結果にはなっていません。住民環境課としては、雑紙をいかに資源に回すかということで取り組んでいきたいし、そのために広報もしてきているつもりです。4月にゴミをダイエットしようというパンフレットを作成し、全戸配布をさせていただき、春の全体区長会でも隣組単位で職員による説明をしたので協力願いたいと伝えています。また、隣組単位で説明に行った実績はありませんが、団体からの要請で説明した実績があります。どちらにせよ、雑紙を資源に回そうという啓発が大事だと思っており、KYTと連携して啓発番組を制作しているところで、7月中には放送したいと考えているし、今後も啓発を頑張っていきたいと思ふ。
106	子育て応援課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	加悦	7/6	会場	加悦地域の認定こども園はいつできるのか。岩滝地域の整備ができたらずぐにできると聞いているが見通しはどうなっている。	現在、岩滝地域で整備を進めているところで、加悦地域、野田川地域でも引き続き進めていく方針であります。整備には多額な財源等が必要となるという中で、現在、こどもの施設の建設等もありますので、現段階では加悦地域でいつできるかは申し上げられませんがご理解いただきたいと思います。認定こども園につきましては、小学校の統合・適正配置が影響してくると考えており、連動して考えていかなければならないと考えています。財政状況も厳しいので、十分検討していかねばならない課題になってくると思ふ。
107	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦	7/6	会場	昨年12月、みえる町、与謝野ブランド戦略シンポジウムが岩滝でありました。文面を読みますと、負の遺産というように書かれています。われわれ織物業界に携わっている者にとっては心外です。今でも、負の遺産に思っておられるのかという返答がききたい	先ほど、この資料を活用し説明をさせていただきました通り、この地域におきましては織物業や農業等の物づくりの産業が発展してきたことにより地域の力がついてきたと考えています。その大きな役割を担っている業界には織物があると感じています。織物業を負の遺産とらえる認識はございません。今後とも引き続きこの織物業が当地域によって発展、そして育まれるように努力をしていきたいと考えています。一方、お示しをいただきましたチラシの表記については私たちがしましても精査が不十分であったと感じています。そうした中で、多大なるご不安やご不満の声もいただいているというのが現状でございますので、今後につきましても、正確な意図をきちりと反映できる文章の作り方を徹底していきたいと考えています。いずれにいたしましても、先ほど申し上げましたように、この地域における織物業が40年来かけて徐々に衰退をきてきていることは紛れもない事実であると感じています。そのような中でも、一人一人が、織物従事者の皆さん方は、努力を重ねていただいていると思っておりますし、私としては、そのような努力につきまして非常に高貴なものがあると思っておりますので、そうした思いや願い姿勢に寄り添ってまいりたいと考えています。
108	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦	7/6	会場	海の京都構想に空家等について有りますが、数年前にちりめん街道に関しての空家バンクというものを立ち上げられました。町と区と地域の保存団体とで一緒になって立ち上げられたが、その後どのようになっているのかも分かりません。先ほどの町長の話の中では、与謝野町全体に広げて調査をされたと聞きました。一か所のことか何も完成していないのに次へ広げていくというのはどうも腑に落ちないと思っています。	ちりめん街道が最初で空家バンクという制度を発足させていただきました。発足当時は登録もいたしながらPRもさせていただいたようですが、手法もなかなかかわらない中で、手探り状態で行き詰っていたというのが事実だと思います。今回新しく取り組みます、移住の空家バンクにつきましては、全国的に地方創生の取り組みとあわせて、全国的に空家が増えてきたことで、この辺では、綾部市が先進的に空家の活用をされていて、この丹後地方、北部5市2町で連携して取り組みをしていかないと、個々の町で人の取り合いをしてしまかたという事になり、5市2町で連携しながら、綾部市が先導する形で、全体でバンク、移住、定住、空家を活用した方に移住を促していこうという取り組みになってきました。与謝野町の中では、ちりめん街道の空家バンクが先進的ですが、今後は、ちりめん街道も含めた和謝野町全体の移住定住に向けて、空家を活用していくことができないか、広域で取り組むスタイルに変えたいというところ。ただ、ご存知かもしれませんが、ちりめん街道でも最近、空家の活用のお話をいただいていると伺っていますので、そのような面でもちりめん街道を主に、先進的に実績ができればと期待しています。そういった面で、立ち上げて非常に努力頂いたことは非常にありがたく、成果が出ていないことが非常に申し訳ないのですが、そのような事情で全体的な取り組みとして今後は取り組ませていただきたいと思います。
109	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦	7/6	会場	空家バンクを立ち上げる時にも、区と地域の保存団体とが一緒になって立ち上げた。運営しているのもどかが運営していたのかわかりません。きちっと総括をして、これではダメだから次のステップへというように内部できちっとできているならいい。先ほど言われましたように他の地域と一緒に、広域でとはきれいな言い方かもしれませんが、現実問題どうかというのがわれわれ一般の考え方。海の京都に絡んでどうのこうのと言われましたが、最初はちりめん街道を中心と動いていますが、どうもちりめん街道からスタンスが離れてすべてがベイエリアの方に足が向いているのではないかと、その辺のところ、多分担当は商工観光課かなと思ふので、担当の方から明確な答えをお願いします。	取り組んだ内容の結果が尻切れトンボで結果が分からないということは、我々も十分認識しておかなければならないと思ふ。特にお世話になった皆さんには、結果がどうであれ返すことが必要だと我々も今後業務の中で気を付けていかなければならないと思ふし、広域で移住や空家対策に取り組むといひますのは、情報交換であったり、広域で京都市内に向いて、皆さんのPR活動をしていくということでありまして、与謝野町に来ていただくと思ふと、町長先頭にいろんな機関に働きかけたり、担当が出向しているところでは是非与謝野町とPRしていかないと、広域でやるというも取り合いになりますから、そこははき違いないように我々もやっていかなければと思っています。海の京都ということで、まずはちりめん街道というところの中で、海の京都と謝野町マスタープランというものをいろんな観光に携わっておられる方々、またこの事業を一緒にやっていこうという方々と共に、議論に議論を重ねて作ってまいった経過があります。そういった中で、今岩滝の方と言われましたが、このマスタープランを一つずつ進めていこうというところの部分では作った当初から変わりはないと思ふ。昨年、海の京都博というような7市町の大きな事業展開の中で、旧加悦町役場では観光協会の方でも、お土産品の販売、手織りの体験ということで手織り体験や組紐体験にも取り組んでいただき、こちらの方にみえられる方々に対して滞在をしていただけるような仕組みも作ってきたところ。また10月のイベントの方では、このちりめん街道と一緒に考えてきたコンセプトに基づいて着物を着てゆっくり滞在をしていただくというコンセプトの中でイベントの方も少し模様を変えて取り組んできたところ。そういった中で、今年度におきましてちりめん街道実践者会議がございますので、そことの連携も十分にやっていきますし、先ほどございました海の京都を実際に推進していく法人として海の京都DMOというところも立ち上がっているという状況でございます。こういったところをふまえてきっちり連携を取って与謝野町の観光振興にも取り組んでいきますし、また、忘れてはならないマスタープランの進捗も一緒に進めて取り組んでいきたいと思ふので、引き続きご協力をお願いします。

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
110	商工観光課	60	協働で進めるまちづくり	加悦	7/6	会場	先ほどから何回も言いますように総括ができていいのか、去年一年間活動した貴重な補助金等を使って。本当に良かった点とか、悪い点をあらためて次をやりたいということがはたして商工観光課の中ではたして出来上がっているのかどうか、補助金を使って京都府の方には一般の差しきりのない報告だけ挙げておいて、それに対する反省点とか、こういう面はもっと伸ばす等出来上がっているのか、それをしてからでない今年度、ちりめん街道についての海の京都に絡んでのちりめん街道を次はこのようにしていこうということが初めて出てくるのであって、だから言いましたように、それができていないのなら、与謝野町全体はもうちりめん街道ではなくベイの方にスタンスはどっぷりといってしまうというふうには思いません。その辺のところは、多分商工観光課のことですのできちっとやっているとしたいと思います。	なかなか結論は出ないと思いますが、おっしゃっておられる主旨というのはよく理解をさせていただいていると思いますので、また今後調整の中でお世話になりたいと思います。
111	企画財政課	90	その他	加悦	7/6	会場	①結論は合併交付金が減ってくるという問題です。町の方でもアクセルは踏まないといけない、ブレーキは踏まないといけないわという形での取りが大変だとよくわかっておりますが、ここで考えていけないといけないのは、ある程度の国保や上水道の(値上げは)これもやむを得ないと思うのですが、合併に伴って公共施設の整備と違って以前からおっしゃっているが、合併の当時のまま公共施設が引継いでいる。10年たつてテンポが遅いのではないかと気がする。なぜかという、町民同士では、特に野田川や加悦につきましては、学校、高校にしても、わりとコミュニケーションが取れているのに旧町単位でしていかないとはいけないのか、それとも古い時点での町、町民同士はもっと親睦が進んでいるのではないかと。かえって役場の方が3町の存立を意識されているのではないかと。極端な例ですが運動場が3つある。ところが、マイカーの時代になってきてコミュニケーションがとれる時代になってきているのだから、皆さんでもっと活動ができるような点ももう少し進めていただかないと、合併の時から考えて交付金が減ることは当然わかってきていることだし。 ②当初、10年前くらいの時には縮小計画ということで人員が減らされる計画もでていた。それから当時はまた3町以前のいきさつがあって公共のこういうところ(削減・統一)までは手が回らなかったと思う。府や国の資料がいろいろあると思う。民間では無駄(であるというよう)な報告がないかというような観点から事務の合理化をしていく。民間ではそれをとてもしびアに見ている。だからこういう点を見てほしい。民間で言えば社内での報告、しっかりチェックを取ってほしいと思います。	①合併した関係の特例の交付金が10年目から減っていくことを資料で説明をさせていただいていますが、おっしゃる通り今年28年度がその初年度になります。来年以降4年間かけて今の与謝野町の合併特例のない本来の与謝野町に戻っていくわけで、今試算しています中で5年間で7億くらい削減されるだろうということになります。この事は当初合併の時からわかっていて、今一生懸命取り組んでいるわけですが、やはりなかなか難しい部分ではございまして、結論は賛成だが各論に行きますとやはりいろいろな問題が出てくるので、われわれの少し慎重にやりすぎているところもあるのかもしれませんが、そこはやはり慎重にやらないと、全く進まないということもございまして、今現在公共施設のの見直しにつきましては住民の皆さんにもお世話になりながら議員の皆さんに計画を立てていただいている段階ということで、近い将来住民の皆さんにもこういう形で公共施設を減らしていきますという報告ができるのではないかと考えています。ポイントは今ある施設の対応年数が過ぎて次どうしようかという時が一番更新するの、廃止して3つあったものを2つにするのかという議論になってくると思います。いずれにしても計画を今立てています。スピードが遅いというも我々も感じています。 ②人員の関係ですが、合併当初は320名くらい職員がいたが現在は270名くらいで、50人くらい職員が減少してきています。逆に新しいいろいろな国からの施策がありまして合併した10年前と比べても非常に業務が増えています。ですから当初考えていた計画では職員も減らすことができないというのが現状です。やはり住民の皆さんへのサービスの質もあまり落とすこともできませんし、そこにはやはりマンパワー・職員の力が必要ですので50名は減らしましたがそこからはなかなか減らすことは至難の業かなと思っています。とは言いつても住民の皆さんにも負担を求めると、役場の内部もその辺は考えていかなければならないということで、事務の改善をすることで何とか前向きに進んでいきたいと考えております。
112	総務課	90	その他	加悦	7/6	会場	③各課の一年間の研修目標等このようなことがあるのか、民間では一人ずつ一年間に何をやるか何を目標にしているか、という形で、新入社員でしたら上司がチェックしその上がまたチェックという形で、そこでアドバイスをするなりして専門的レベルを上げていく。 先ほどでも出ましたように空家等 町で斡旋されるのなら宅建の資格を取ってしていくとか、税金の消滅時効 知らなかったということも専門職ですから、研修重ねてもらわないといけないのではないかと。  これが一番最後の行財政改革のところのポイントになるのではないかと気がしているのですが、予算につきましては、町の議会のテレビを見ていまして、真剣にされていますので、細かいところまでいつもりはありませんが、一番最後のページのところをもう一度一番町民も理解しなければいけないところだし、行政の方も考えてもらわないといけないところだと思います。	③3点目の会社ですと一年間の研修目標のようなものをたてて仕事をしていくというように示していただきましたが、役場の方も今は人事評価ということで制度を取り入れていて、一年間の目標を個々の職員が年度当初に立て、それを課長等がヒアリングして最終的にその目標に到達したかによって人事の評価をさせていただきます。年度当初に職員が今年はこのままやるんだという目標をたてて業務に専念していくようになっていまして、その点は民間の方に遅いですが行政の方も追いついてきたとご理解をいただきたいと思っております。  最後の下水道の問題の件と思うのですが、この点は職員も契機という用語があるとありますが、全職員がそのことでしっかりと責任を取らなければならないという自覚も持たし、徴収のことについても法律をこれまで以上に勉強してできるだけ未収にならないような方向で法に基づいてやっていくということを再認識していただくと頑張ると今取り組んでいるところですので今後とも監視の方をよろしくお願ひしたいと思っております。
113	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	加悦	7/6	会場	加悦の図書館でいつも本をお借りしている。 現在は、加悦の図書室で申し込みを行うと、京都府下の公立図書館にある本を取り寄せることができる制度がある。 加悦の図書室でも新しい本を入れていただいているので助かっている。 今後も新しい本が入るように、予算を維持して行ってほしい。	公立の図書館は、どこでも検索ができて、それを取り寄せて読んでいただける体制で行かせていただいています。 議会でも読書推進という話も出ており、読書ノート(読書手帳)を配布させて頂けるような計画を現在おこなっており、読書好きな子供たちを増やしていこうという努力をしております。 予算につきましても、維持に努めたいと思っておりますので、ご支援を頂きますようお願いいたします。
114	企画財政課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	加悦	7/6	会場	町長がヨサノ大学のことを言われましたが、教育関係のことに力をいれようという目をつけた町長はしらないし、すばらしいことであると思う。 地域の発展は人材が第一であり、教育が重要だと考えている。産業、農業、漁業には人材が必要ですので、町長は非常に良いところ目をつけたらと思っていますので、今後に期待したいと思っています。 それで、もう少しヨサノ大学について教えてもらいたい。	地域や国を作っていくことについて最も重要であると思っておりますが、教育であると感じています。教育をこの地域において、どのようにすれば充実するようになるのかと考えてきたところでございます。就学前教育、義務教育課程、社会教育など様々な教育分野がある中で、私としては全てを充実させていきたいと考えています。 そういった中で、ヨサノ大学の事業についても本格的に来年の春開校に向けて取り組みを進めている中でございます。このヨサノ大学の目的としましては、「与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人材の育成」を掲げてございます。この目的を遂行していくために、どのようなカリキュラムを設定するかがいかにいうことについて、現在、協議を進めているという状況でございます。今年度中には、それに基づく事業を試験的に行っていきたいと考えている状況でございます。 また、来年度以降の見通しをはっきりと申し上げる段階ではないんですけども、私たちがいたしましては、非常に重要な事業であるという認識のもとに取り組みを進めていきたいと考えておりますので、その協議課程も含めて皆様にお知らせをしていけるように努力をしていきたいと考えています。 先ほどの、教育が非常に重要であるとお伝えを頂き私たちと致しまして非常に元気が出るご発言をありがとうございました。
115	農林課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	後野	7/8	会場	後野農事組合で管理している六兵衛井堰は深さが約2mあり、野田川で最も大きい井堰だが、中学生が遊んでいることがあり、大変、危険。安全対策を講じるべきではないか？	危険であることは町も認識をしています。町としましては、まずは学校と連携し注意を促したいと考えております。また、柵の設置等につきましては管理主体(後野農事組合)と協議・検討をさせていただきたくて考えておりますのでよろしくお願ひします。
116	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	後野	7/8	会場	4月に熊本で大地震が発生し、今でも強い余震が続いており、家にいるのが不安で公民館に避難している人が多い。 災害時の公民館の役割は非常に大きく、次の3点について、質問、要望をしたい ①後野公民館は駐車場が狭いのがネックだが、広くする検討はしていませんか？ ②後野区民約800人に対し、備蓄食料200人分は適正か？ ③被災地では簡易トイレの配備が追いついていないと聞くが与謝野町の対応は？	現在、与謝野町からも保健師と税務課の固定資産税担当を熊本に派遣しており、それぞれ、被災者の健康管理、家屋の被災度調査の業務に従事しています。 被災地では、車で寝泊まりをしている人も多く、エコノミー症候群を引き起こす要因になっており、公民館もさることながら、より安全で広い避難施設、駐車場の確保が重要になります。スーパーマーケットを借り上げて簡易医療機関を設置するという全国の事例などを参考に、京都府とも連携しつつ、広域的な対応をすることでカバーしていきたいと思っております。 備蓄食料については、役場で備蓄している分もありますが、町として充足しているとは思っていません。賞味期限が切れたものから随時、補充し、充足していると言えレベルまで上げていきたいと思っております。 また、(想定される避難者に対する)備蓄食料等の必要割合として概ね府1/2、消防組合1/4、町1/4となっているが、これも十分にできているとは言えず、有事の際に素早く手配できる体制づくりに努めていきます。 トイレについては、簡易トイレを保管していますが、数量は把握していません。今後の検討課題とさせていただきます。
117	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	後野	7/8	会場	合併から10年が経過したが、庁舎は旧3町の庁舎を使用している。毎年、経費が3千万円余計にかかるなど効率が悪く、議会でも統合を推進する声は強い。 やるべきことをやるのが行革であり、水道料や医療費の値上げなどは行革ではないと思っている。財政危機の不安がある中で、庁舎と学校の統廃合は先送りすべきではない。ぜひ、今回の選挙の争点にしていただきたいし、町長も具体的な行革表に落とし込めるくらいの方向性を示していただきたい	まず、3庁舎の経費として年間3千万円かかっているということであり、統合をすれば3千万円が丸々浮くというわけにはありません。 庁舎統合については、前町長時に検討委員会が組織され、①統合は時期尚早、②継続的な議論の必要性、③長期的な観点から新しい場所での新庁舎建設という答申が出ています。 長期的には、積立金を増やしつつ、現有施設が老朽化した時点で、新たに建設するというビジョンを持っていますが、今後は、その合意を図っていくために、中期的な見通しについて、多くの人たちによる議論を進めていきたいと思っております。 また、学校については、子どもの教育環境として適正な規模が既に示されていることから、その方針を踏まえて、段階的に考えていきたいと考えています。 自転車道利用者の方だと思いますが、後野の自転車道はきれいに草刈りがされているのに対し、他の地域は雑草が多いという指摘がありました。自転車道は京都府が管轄しており、草刈はこれからの予定であったため、地域の方に問い合わせたところ、農事組合や農地・水関係者の方が善意で草刈をしていただいていたことが分かり、感謝の気持ちを申し上げます。 自転車道は雑草だけでなく、植栽の管理もできていないので、土木事務所にも伝えておきます。
118	建設課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	後野	7/8	会場	農事組合は、建設課から野田川堤防の草刈の委託を受けているが、先日、建設課長から嬉しい連絡をいただいた。 課長に感謝の連絡をいただき嬉しかった。最近では、健康のために農道を歩く人も多く、農業も大事だが、環境面等、できる範囲で、これからも町のためになることをしたいと思っている。	平成27年度に空き家調査を実施し、合計で585軒の空き家がありました。使用可能と思われる家の持ち主にアンケートをとったところ、29件は賃貸や売却の意向があるとの回答がありました。 現在、移住者への利活用については、企画財政課が担当し、安全対策については総務課が担当していますが、総合窓口としては設置していません。 今後、近隣の自治体の情報等も確認し、対応を考えていきたいと思っております。
119	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	後野	7/8	会場	高齢者のみの世帯がなくなり、空き家となった家をどうするのか？という問題がこれからどんどん増えていくと思う。借地に家が建っている場合、更地にする必要があっても、解体費用が数百万円もかかるとなると手が出せる人は少ない。こういった相談を役場でできる窓口があれば、前向きな方向に進むと思うが役場の体制はどうか？	先ほどの回答は、役場として空き家に関する総合窓口がないので、控えめな内容になり、皆さんにはもの足りない印象に映ってしまったのだと思います。 ただ、企画財政課や総務課などを中心に、部署は異なっても、相談していただける窓口はあり、施策についても積極的に取り組んでいます。今後も前向きに進めていきます。
120	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	後野	7/8	会場	先ほどの空き家に対する回答もそうだが、もう少し前向きな姿勢を見せてもらいたい。 最近、新聞を読んでも、与謝野町はいい記事が少ない。 空き家に対する施策は100%必要。相談窓口を役場が作って、マスコミに流せば、効果も見込めるのではないかと。 せっかく、与謝野町全体のビジョンとしては、素晴らしいものを持っているのだから、何事にも前向きに取り組んでほしい。	先ほどの回答は、役場として空き家に関する総合窓口がないので、控えめな内容になり、皆さんにはもの足りない印象に映ってしまったのだと思います。 ただ、企画財政課や総務課などを中心に、部署は異なっても、相談していただける窓口はあり、施策についても積極的に取り組んでいます。今後も前向きに進めていきます。

No	担当課	分類	分類1	後野	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
121	総務課	60	協働で進めるまちづくり	後野	7/8	会場	空き家の利活用はいいこと。ただ、貸主と借主の関係が良好でも、隣組や町内会には入らない人が多く、誰が住んでいるかも分からないということが多くなってきている。 強制ではないが、最低限の協力はしてほしいし、行政からも啓発をお願いしたい。	ご指摘のとおり、現在は、隣組という組織の継続が難しくなっています。ただ、できるだけ地域に協力してもらうのが好ましい姿であり、行政としても、転入のしおりに啓発文書を入れるなど、できる限りのお願いや広報をしていきたいと思います。
122	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	与謝	7/11	会場	ゴミの分別について、生ごみ・プラスチックが混じったゴミについても追加料金を払うことで収集してもらえないか。	新しい処理施設で処理できるようになるか現段階では不明です。新施設では搬入規制はありますが、直接搬入は可能になります。
123	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	与謝	7/11	会場	最終処分場で受け取り拒否されることがある。費用がかかっても受け取ってもらえないか。	瓦・建築廃材などお金を出しても受け取れないものはどうしてもあります。
124	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	与謝	7/11	会場	地域でゴミを拾ったとき、空き缶やペットボトルなどは自分で分別して捨てるが、弁当のごみなど、色々混ざって汚く分別したくないものがある。そうしたゴミを拾ったときはどのような対応をすればよいか。	「ちょこっとボランティア」という制度があります。加悦庁舎に「ちょこボラの袋」が置いてあるので取りに来ていただき、その袋にゴミを入れて加悦庁舎に持って来ていただくことで処理するものです。
134	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	滝	7/13	会場	袋を取りに来て、また持っていくのは手間がかかる。例えば、各地域のゴミステーションに拾ったゴミを置いておき、職員が回収に回ることではできないか。	家庭から出たゴミとの区別が難しくなります。区でまとめていただければ回収の検討も可能です。
135	住民環境課	60	協働で進めるまちづくり	滝	7/13	会場	土日に草引きをし、月曜日に出すので、ゴミは草が多くなる。消防署に燃やす届出をするのが面倒なので何とかならないか。 また、奥滝の処分場がなくなる噂は本当か。	奥滝処分場の設置期限は9月末になっていますが、5年の延長申請を予定しており、処分場にもその旨看板を設置しています。 草などのゴミ処分については、最終処分場でも有料ですが受け入れています。消防署に届出をすれば燃やせばいい程度なら燃やすことができます。手間ではあります。ゴミの量は減ります。 昨年、ゴミ袋の有料化について説明にまわりました。4月はゴミの量は減っていませんが、5月は減ってきました。町民全てに浸透していないので、有線TVを利用して減量化のPRを予定しています。
136	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	滝	7/13	会場	椿サミット頑張っていたが、全国からたくさんの人に集ってもらい感謝している。 盛大なイベントだったが、予算は資料にあった2,700千円だったのか？	町の予算としては資料にあったように2,700千円でしたが、この他に参加者負担金とあわせ事業を行った。サミット実施にあたり多くの人に協力していただいていたことがとうございました。
137	防災安全課	30	自然と安全を守るまちづくり	滝	7/13	会場	機構改革で防災安全課ができたが、災害対策マニュアルの整備は進んだのか？ 災害時のごみ分別など東日本や熊本地震の前例を参考に対策されたい。 避難場所への看板の設置も区の努力も必要だと思うがお願いしたい。	対策マニュアルは町で定める地域防災計画の中にあるものですが、未整理で計画を練る段階です。現在、熊本に職員を派遣中であり、様々なことを参考にしたいと思っています。また今年度、ごみ処理についての総合応援協定を結び、災害時には業者に協力を依頼する予定です。避難所看板については町指定の避難場所には設置済みですが、それより小さい単位については区で協力をお願いしたいと思います。
138	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	明石	7/19	会場	学校施設の統廃合に関して小・中学校、こども園を一つの地域に集めることは理解しているが、加悦地区にのみ集めるのはいかがなものか考える。加悦以外の地域が過疎になることも考えられるので、それぞれの校区へ1つずつ設置するのはどうか。	平成23年度において「学校等適正規模方針」の策定により、既存の校舎を使うことで再編の話を進めています。出来ることから順次統合するようにとのことでしたが、加悦地域については平成33年度で加悦へ統合する方針を固めています。与謝、桑飼小学校では根本的に教室が足りません。
139	学校教育課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	明石	7/19	会場	加悦に集中せずに、他の地区にも上手く分散してほしい。乳児は与謝、幼児は桑飼のように分けることはできないか。	小学校については加悦小学校に統合を目指します。認定こども園の場所については未定です。過疎という観点から申し上げると、具体的な土地計画も含め、施設跡地の利用をどうするかを考えているところです。 児童が入りきらない関係もあり、新しい校舎が必要になります。となると場所も必要です。どこの地区についても便利に利用しやすいように考える必要があります。
140	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	明石	7/19	会場	統廃合の関係だが、認定こども園を含む学校の設置場所というのはそもそも町が決めるものであり、町と地域で決定するものではないのか。環境整備が出来ていないことから、管理を誰もせずに放置をされそう。統廃合してしまっただけで、跡地がどうなるのか心配。どう活用するのかを含め、地域ぐるみで統廃合を検討してほしい。また、予算の話もあるが、岩滝に数億円使ったことで、野田川、加悦地域は先延ばしする。そんな曖昧なことではなく、もう少し計画的に予算を組むことはできないか	教育委員会の改訂版としても学習環境の改善、地域の人との合意形成を元に作成します。加悦、桑飼校区も50人を切らない中での統廃合の話が出ています。そういった中で、地元の人々との合意形成をはかり十分に進めていきたいと思っています。 小・中学校の各施設の整備に着手、認定こども園の建設、統廃合がどうなるかと密接に関係しています。まだまだ見通しが立ちません。先行的にこども園の話を見通し立ててするのは難しいところです。携わってきた人々の思いは十分に承知をしているつもりです。先人たちの思い、願いを次世代の人々に伝えていけるよう最善の努力をしたいと思っています。
141	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	明石	7/19	会場	国、府、町の補助制度を利用し、今年度も地区の夏祭りを計画している。この補助については3年間、事業費の3分の2、または2分の1の補助をしてもらえると聞いている。明石区では3年の内の1年が終わり、今年度も同様の事業として実施をするが、補助金が前年度に比べ減額となり、区民から不足分を徴収し補填をしなければならぬ。町が3年間補助をすると、一度決定をしたのであれば、区によって差をつけずに補助をしてほしい。  予算をたくさん使ったから節制をするということであれば、同じ区なのに差があるということはおかしい。当初の方針のまま最後まで続けてほしい。	補助制度について、近年、予算を越えて実施してきた経過があり平成28年度に上限を設け、制度改正をはかりました。今回の明石区の件においては、改正時期と重なってしまった部分があります。区以外でも申請をもらっていることから、明石区の制度改正要望については、来年度に向けて検討させていただきます。また、3年間の保証について、町としても3年間の補助をさせていただく保証であり、金額を保証するつもりはないことを併せて申し上げます。一定のご理解を頂きたいと思っています。 制度改正は必ず実施しなければなりません。結果、不利益を受ける団体があることも承知しています。こちらからはお願いするしかありません。
142	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	明石	7/19	会場	内部事情は分かっていたが、地域づくりをしている方については規模の拡大を目指している。課長と区長の見解の差があったことも分かった。条例改正の話があり上限額が設定されたことも分かったが、区長会などで意向を確認し、一定の配慮をしてほしい。無理であれば、段階的に8割、7割にしていくような歩み寄りをしてほしい。来年度、なんらかの形で改正が行われることを期待している。	区長会の中でも一定の説明をし、御意見があればいただくようお願いをさせていただいています。段階的に額を減少させていく話自体は良く聞く話であり、今回の条例改正でも話はありました。今回予算もない中で、イベントは2分の1、ハード事業は3分の2以下の補助を設定しており、補助金を一律カットする話もありましたが、こちらはかなり大きく補助率を下げなければならず、また、どれだけの減少率があるかが予想出来ないことも懸念されました。今後も検討し、補助率の変動の話もあるのであれば制度改正についてお話をさせていただきます。
143	建設課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	明石	7/19	会場	地籍調査について、昨年度は庄ヶ崎地区の調査をしていたが、最近になって調査している姿を見かけない。進捗状況を教えてください。  予算はどうなのか？道路事業の方に予算を回したりはしないのか？	現在調査の方は終了しています。国に報告をし、最終的に法務局に連絡が入ることで終了となります。次に、明石区2の地権者の48人中24人は閲覧が終了しています。残り半分は28年度中に終了をさせていただく予定です。明石区3についても出来るだけ早く終わらせていただくつもりです。過去を遡って調査を行う関係もあるので、思うように行かないところもあります。一定のご理解をいただきたいと思います。  別の事業での調査なので、調査事業の予算を道路事業に回して使っていることはありません。
144	企画財政課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	明石	7/19	会場	平成27年度の空き家についてのアンケート調査により、空き家の7割が使えることが分かった。また、広報誌に「空き家バンク」が設置されたことが掲載された。雇用や交流場所、交通環境も変化した中で、住宅改修補助金、減価などメリットをつけてもらえれば、空き家探しに一役買ってもらえるのではないか。	税の減免について、京都府が平成28年4月1日から地域指定で制度を開始しています。地域指定をしてほしいのであれば町に申請をしていただきます。減免以外にもいろいろな措置があります。現在、他の校区単位で申請を頂いている区もあり、明石区においても申請していただければと思います。
145	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	明石	7/19	会場	京都府高等学校再編について、ほとんどの方々が突然のことで驚いたと思う。京都府の学校ということではあるが、一定問題だと考える機関もおおらだとして新聞で確認をした。町としてどのような立場であるのか、また、どのように考えているのかを聞かせてほしい	京都府全体として高等学校の質を下げないように検討がありました。特に口丹、丹後地域の生徒数が著しく減少しており、今後のあり方について懇談会を開催され、教育長、副町長と参加させていただきました。新聞記者にも質問され、回答が新聞に掲載されたと思います。京都府との意見交換もした中で、町民の願い、地域活性的な面からも高校がないときみしい思いです。だが現実、現在の中学校3年生の人数は1000人を切っています。今の2歳児が成長する頃には生徒数が600人程になります。海洋高等学校を除く府立、私立高校は現在5校ありますが、全員が府立高校へ入学をするわけでもなく、私立高校と人数を分け合っています。高等学校の適正は1学年8学級、つまり320名と考えられており、必要数は2校となります。これ以上の学校数は教員の人数などの関係もあり、定員が減ると教員も減り、部活動も減少します。他にもキャンパス制にする案もありますが、部活動を行う場所、授業の内容等様々な要因を考えなければなりません。町としては、生徒数だけで高等学校の数は決められません。交通事情が京都市内とは違うこともあります。そして教育の質を落とさないこと、以上を踏まえてキャンパス制の導入を検討しています。今後、高等学校についての公聴会の予定もあるので、積極的に参加させてもらえればと思います。  今後の方針については、加悦谷、宮津高校の水平統合をし、加悦谷キャンパス、宮津キャンパスでそれぞれの学校で教育をしたいと考えています。普通科においては、京都府教育委員会の意見を参考にし、教育の質を落とさず時代に合った教育ができるよう最大の努力をしたいと思います。
146	建設課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	明石	7/19	会場	町道大呂谷線について国道176号線の辺りまでカーブになっている。付近の関西電力の電柱について移動は完了し、結果、幅員も広がった。しかし実態を見ると車が離合する際、車がカーブを内回りする。日吉ヶ丘団地の子ども通学時の集合場所として集まっており、登下校中の児童に車が入る可能性もあるので怖い。数メートルでも構わないので路側帯を引いてほしい。	子どもが通学をする際に、右カーブのどのあたりに集まっているのかを検討する必要があります。現地をよく知る人と、現地で立会いをして実態を確認する必要があります。こちらから区へ連絡をさせていただくのでぜひよろしくお願ひしたいと思います。
147	企画財政課	90	その他	明石	7/19	会場	広報誌の文字が小さい。商業用の新聞でも活字が大きくなり読みやすくなったので、町の高齢者にも配慮をした広報誌にしてほしい。	大変申し訳なく思っています。文字を大きくすることで枚数が増えるようなことあるので、持ち帰って検討をさせていただきます。
148	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	明石	7/19	会場	総合庁舎一本化について、検討委員会の意見ではなく、町長自身が、庁舎問題についてどう解決するかを示してほしい。町長の意気込みを町民にも伝えてほしい。	重要視しているのは住民の一体感です。合併した今も旧町ごとにそれぞれ庁舎を抱えています。庁舎問題は一歩間違えば住民間の一体感を損なう恐れがあります。つまり与謝野町のまちづくりが停滞する可能性があります。施設が老朽化を迎えた段階で、みんながアクセスしやすい所に時代に合ったものを建設します。基金の設置も考えると、何年経つか分からないのではとの意見も頂戴しています。総合庁舎に向かうべきだと考えているので、段階的に統合できるよう調整したいと思っています。
149	CATVセンター	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	金屋	7/20	会場	要約筆記のボランティアをしているが、ちりめん産業の栄えた地域柄70代80代は聴音性難聴の方が多い。難聴は音は聞こえるが言葉が理解できないので会話が続きず疎外感を感じる。全国観光地で観光ビデオに字幕をつける動きが広がっている。町でもCATVの番組に字幕をつけ、音声情報のバリアフリーの町づくりを目指してほしい。	以前にもその話を聞かしていただいており、推進に努めたいと考えています。最近では、総務省の指導もあり、NHK、民間放送共、以前よりも多く字幕はつけています。番組作成に携わるスタッフの人数も番組数に比較して少ない人数で行っているため、通常の番組すべてに文字を入れることは難しいですが、観光ビデオなど特別番組等には、積極的にテロップを入れるよう努力していきたいと思っています。

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
150	建設課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	7/20	会場	住宅改修助成制度について恩恵を受けていない方がいると思うが、今後助成予定はあるか。	住宅改修は以前2か年行っていましたが、今のところ予定はありません。
151	商工観光課	60	協働で進めるまちづくり	金屋	7/20	会場	ウィンドオーケストラをしているが、ユースセンターか知遊館で練習をしているが、わーくばるでもさせてほしい。	プレミアム商品券の件について、住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしたこともありますが、今回のプレミアム商品券では住宅改修なども利用してもらえるように発行しています。 また、わーくばるの利用の件については、事情をお聞きし個別対応いたします。 京都府の管理ですが、早くつけるよう要望したいと思います。
152	建設課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	7/20	会場	サイクリングロードの外灯について、わーくばるより加悦側についていないが今後の予定は。変質者が出た話を聞いたので、早く取り組んでほしい。	
153	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	7/20	会場	土日に草引きをし、月曜日に出すので、ゴミは草が多くなる。消防署に燃やす届出をするのが面倒なので何とかならないか。 また、奥滝の処分場がなくなる噂は本当か。	奥滝処分場の設置期限は9月末になっていますが、5年の延長申請を予定しており、処分場にもその旨看板を設置しています。 草などのゴミ処分については、最終処分場でも有料ですが受け入れています。  消防署に届出をすればたき火程度なら燃やすことができます。手間ではありませんがゴミの量は減ります。  昨年、ゴミ袋の有料化について説明にまわりました。4月はゴミの量は減っていませんが、5月は減ってきました。町民全てに浸透していないので、有線TVを利用して減量化のPRを予定しています。
154	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	金屋	7/20	会場	平成34年度赤字転落の新聞記事を読んだが、税金が上がらないなら、支出を減らさないで若者に負担がかかる。	公共料金の見直し、公共施設総合管理計画の策定、早期計画の実施、事務の見直しを行います。
155	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	金屋	7/20	会場	ナガミヤ神社、上司谷から流れる川が4年前の雨であふれ出、土砂運搬を行ったことがあり、町のマップどおり防災訓練をした。住んでいるところは山まで300Mくらいの近いところで、レッドゾーンになっている。4年前山が崩れているのを見たが、山の中はどうなっているかわからない。レッドゾーンとはどのような状態か。	レッドゾーンとは土砂災害警戒区域で土石流が流れる地域をいいます。レッドゾーンの設定は京都府が行っています。 治山関係は要請があれば山に入り確認します。土砂の量が増えた等伝えていただければ確認に行き、治山事業に入るよう京都府にも要望します。
156	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	金屋	7/20	会場	与謝小統廃合の現状は。	小学校統廃合については町教育委員会が平成23年に定めた基本方針により既存の校舎を使用し統廃合します。加悦小、市場小、岩滝小に平成34年一斉に再編目標でしたが、3年前子ども子育て会議に諮問したところ、再編可能な地域からするべきではないという意見があり、再編基本方針の見直しを教育委員会で行い町長に提出しています。野田川地域は平成40年になっても人口が減らないため市場小への再編は不可能となる見通しです。加悦地域は平成31年に再編可能。与謝小は平成33年度新入生が2人になる時をタイミングとし加悦小への再編とすめたいと思います。小学校は地域コミュニティの拠点となるので、地域住民の合意を諮り無理には行いません。教育委員会としての考えを教育委員会のHPで公表しています。それを受けて町の考えは協議中です。
157	社会教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	温江	7/21	会場	国定公園である大江山振興について町の姿勢が遅れているのではないと思う。また、エコキッズにて大江山へ登っているが、今年から町のマイクロバスが利用出来ないと聞いている。車が傷つくからか？利用出来なければ、事業が出来なくなるか？	ふるさとを知る、与謝野町を知り、ふるさとを離れても心にあるよう五感で感じる体験をする、ヨサノ学を進めていきたいと思っています。与謝小学校では大江山に登っています。野田川を通して環境教育により大江山につなげたいですが、安全面でも気をつけたいと思います。 子どもに良い活動ですがマイクロバスが老朽化しているため安全面や少しでも長持ちさせたいという思いで、使用を考慮しています。エコキッズで使うことがダメということではありません。 母なる山…思いは一層強いものだと思います。大江山に入ることで新しい発見もあり、観光開発を体感レベルで考えてきました。大江山はお能の演目の一つでもあるので、今年度、宮津市、福知山市と共同で大江山観光開発事業として能を11月頃に行いたいと思っています。
158	上下水道課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	温江	7/21	会場	昨年、下水道の本管の布設があり、道路復旧をしていただいたが、大雪の日にコンクリート舗装されたことにより、表層が流れてきている。すべり止めのほうき目も無くなり、舗装内部のひび割れ防止用メッシュからは錆が浮き出ている。担当者より課内で協議すると聞いているが写真を見て知っておいてほしい。	(相手方と協議中)
159	総務課	60	協働で進めるまちづくり	温江	7/21	会場	空き家対策について、近況状況は？業者が仲介に入っているが、空き家が中々無いと聞いているがどうか？また、実際、潰れかけている家屋の解体費用はどうするのか？国もできていし、これからの時期、台風も来るがどうか？	活用について、分類をしました。町内業者と調査し5件バンクに登録しました。他府県からも問合せがあり、契約まで至ったのは1件です。少しずつ進んでいる状況です。住宅の撤去については総務課で対応しています。61件の廃屋がある状況です。昨年5月空き家特別措置法により強化されていますが、解体撤去に1棟あたり3～400万円、全体で2億ほどかかります。所有者に助言、指導、命令などを順に行い、最終的に町が代執行も出来ますが、多くの経費が掛かります。あくまで所有者負担が基本であり税の公平性からも議論のあるところで、条例等の整備には至っていません。地区と調整し税務の情報により所有者にお願いしながら、地域で最低限の処置をしている状況です。
160	建設課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	温江	7/21	会場	この時期、町道の草刈等があるが、はにわロードでは草が多く歩けないので、除草してほしい。また、町の木である樺だが、樺祭りの時期にはかざらが巻き付いていたりする。町の木でありイメージもあるので除草してほしい。	主要な町道は業者委託により除草していますが、すべては予算的に無理です。また、地元で除草していただいている路線もあり、その場合、お金を出すのでお願いしたいと思っています。 町の木は総務課が対応しており、すっきりと除草は出来ませんが、富山工業に消毒等をお願いしています。
161	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	温江	7/21	会場	合併10周年記念事業として3月に開催される郷土芸能祭について詳しく知りたい。	よさの郷土芸能祭を計画中です。 3月19日わーくばるにて予定しています。1日の中で町内の6～7団体を選定となりますが、内容や地域等考慮してお願いすることになると思います。また、岩滝の大名行列が外で出来ないか調整しています。
162	農林課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	温江	7/21	会場	温江の中山間環境守り隊は現在10名ほどで官地や町道も草刈をしている。しかし、近年、高齢化や獣害により畑が山になってきている。なんとか農地を守りたいと活動しているのでも草刈をお願いしたい	地域で地域の農地を守る取組に改めまして敬意を表します。 町として、農地の保全対策として、多面的機能支払交付金事業および中山間地域等直接支払交付金事業を地元が使いやすい制度となるよう、継続的且つ積極的に推進していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。
163	農林課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	温江	7/21	会場	木材の切り出しがあるが、その後、植林もされないで、山が裸になってきている。しかし、近年、高齢化や獣害により畑が山になってきている。なんとか農地を守りたいと活動しているのでも草刈をお願いしたい	木材の切り出しにつきましては、事業者(所有者)による伐採及び伐採後の造林の届出書が必要であり、町はそれにより事業を確認しております。 ご指摘のとおり、森林の健全な育成は防災や生活環境保全にとって重要ですので、適正な森林整備がされるよう伐採及び伐採後の造林の届出書の受理に当たっては、そのような視点で確認し必要に応じて指導等を行っています。(今後も同様です)
164	農林課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	温江	7/21	会場	ドローンを活用し、防災、災害、山を見るといった取り組みはしているのか？また、要請はあるか？	農林分野におけるドローンの活用につきましては、森林や水稲の生育状況を調査したり、地形の情報を調査するなどの活用方法があります。町としては、これらの新技術について、産官学が連携した協議会を設けて研究・情報収集を行っています。今のところ、町民・農業者からのドローン活用についての要請・要望はありません。
165	与謝野町	90	その他	温江	7/21	会場	企業等でもドローンを使って色々な角度から見て情報を得ている。町もされれば良いのでは？	技術はあっても法の整備が遅れているので、法や条例を変えることで発展していくと思っています。企業からのアプローチもあるので、研究していきます。
166	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	香河	7/22	会場	草刈中に斜面を滑り、救急車にお世話になった。救急車にナビがあるとと思うが、山添神社から石川へ下りるのが普通だが、公民館から山を一周して下りた。1分1秒を争うものである。香河地区には高齢者も多いので、加悦谷分署に赴任の際は地理に慣れて素早い対応がしてほしい。H27の脳梗塞で運ばれた時も同様のルートだった。消防署へお願いして欲しい。	消防署ではルートがナビで固定されているかもしれませんが、制約がなく、コースの修正ができるか確認したいと思います。
167	建設課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	香河	7/22	会場	H4に香河地区の圃場整備が完成した。その時に、公民館の前、日晩寺地区の香河川の河川改修がされ、U字溝を入れ排水溝として整備された。仮ということで、将来的には自然な形にするとのことだったが、されていない。町にはH25.H26に要望していた。町から要望を上げてもらわないと実現しない。町長は自然環境を重視した施策も掲げている。自然の川に戻してほしいので、府に依頼してほしい。	s56に圃場整備が始まり、香河川の用地確保をして、河川改修を描いて今に来ています。今はU字溝を入れたままです。流速が早い河川になりました。香河川改修前に圃場整備が始まりました。同時に河川改修も進める予定であり、香河川の改修も進み、奥山川合流地点まで改良できましたが、上流からの河川改修はできません。今は、加悦奥皮の改修をしていますが、人家被害が発生しやすい所から改修を進めることとなります。治水事業の予算も半分くらいになっています。災害が起こらないと河川改修はできないのが実態です。用地確保をしたまま進んでいません。断面の小さい所だけ府がU字溝を入れている状態です。町としても歯がゆい思いです。 河川改修には、生物の多様性を確保するあり方を進めていくべきという方針はありますが、災害復旧、災害減災に着目しすぎているため、なかなか組み込めない現状だったと思います。問題意識を持ち今後の対応を考えたいと思います。
168	上下水道課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	香河	7/22	会場	昨年も質問が、水道とごみの件について。香河水道の道筋が確定したかどうか。水道の水源についてどうなったのか。	水需要が香河浄水場の能力を超えた場合は、粟峠の新配水池から供給することとしていますが、水需要が伸びておらず賸えているので、能力を超えない限り香河水道のままとします。
169	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	香河	7/22	会場	事業ごみと家庭ごみは、同じごみ袋で出しているのか。有料化に向けて、家庭ごみと事業所と同様の負担になるのか。検討課題としているとのことだったが。	どちらも同じ袋で、ごみ袋の製造費だけ負担していただいています。 事業系のごみも同様に収集するのかという質問だと思いますが、宮津市、京丹後市は事業系のごみは事業者によって一定の負担をしていただき、事業所専門の収集業者が清掃工場に運んでいます。与謝野町ではそのような体制になっていません。 H30の新ごみ処理施設の建設に合わせて、事業系ごみの処理のあり方を検討中ですが、収集業者にお願いして一定の負担をってもらうことも考えています。

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
170	住民環境課	40	快適でやさ ぎのある生活 環境づくり	香河	7/22	会場	ごみの減量化について、生ごみは極力出さないように進めているが、H26と比較して現状はどうか、また、今の状況では有料化につながるのか。	ごみの減量化について、H26対比で、H28.4月1%未満、5月10%、6月3%のそれぞれ減で、3ヶ月のトータルでは5%の減量です。 40%減量目標については、毎月広報紙で周知していますが、住民に十分理解していただいていないので、今後も広報を強化していきます。今の時点では、有料化の判断はできません。H29.3月末まで減量化の様子を見て、H29で1年間かけて検討していきます。
171	学校教育課	50	明日の人材を 育てる教育文 化のまちづくり	香河	7/22	会場	認定こども園が岩滝にでき、旧町に設置する計画であり進められている。小学校の統合はH32の計画と聞いているが、その後変更はないのか、予定はどうか、また、保育所の統合も合わせて考えるべきであり、見直しについて聞きたい。	小学校統合について、学校の適正規規適正配置について基本方針をH23.9月に教育委員会できり、町に提言をしました。その時にはH34を目途に一斉統合の予定でしたが、その後、子ども子育て会議に諮問し、答申をいただいています。岩屋小学校を市場小学校へ再編はしましたが、児童数が当初計画から変わってきており、H28に見直しをしました。教育委員会できりまとめたものは、H34の一斉統合から、再編が可能なエリアから進めていくことに見直しました。加悦地域では、与謝小学校と桑飼小学校の加悦小学校への収容教室数はH31でも可能ですが、H33に与謝小学校の新1年生が2人になることから、その時点で統合を考えています。野田川地域は児童数の減少が当初見込みより少なく、H40でも市場小学校への収容が困難であり、児童数の推移を見ながら再編時期を検討していきます。取りまとめたものを、教育委員会から町へ提言し、その後、町で検討していくことになっています。
172	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	香河	7/22	会場	香河地区では、過疎バスは貴重な交通手段になっている。町の財政負担も大きく、交付税削減もあると思うが、残してもいい、地域の足として守ってほしい。	ひまわりバスの運行について、要望があり、交付税の減額と財政的には厳しくなっています。(資料の19ページの財政推計について説明)、支出超過になってきます。H34では年間マイナス7億9千万円程度の見通しです。H35では貯金もなくなります。年間将来見直しは非常に厳しくなっています。 H21から試験運行、H24から本運行、H26は6,368人で年間利用が最高、H27は5,987人で初めて減少しました。この地域での必要性は聞いています。H27の運行費用は9,987千円で、120万円が運賃収入で、公費負担が880万円で、うち300万円が国、500万円が町負担であり、厳しいが、今のところはそのまま運行したいと思っています。バスが老朽化した時点で運行の存続を検討することになります。
173	福祉課	10	安心と生きが いのある福祉 のまちづくり	香河	7/22	会場	宮津市の福祉施設では人材不足で、ショートステイの取りやめも聞いている。福祉を支える人材が不足しており、与謝野町でも福祉の人材育成が必要と思う。人材育成事業を事業所連絡会等が行っているが、自己負担額の軽減を検討してほしい。町内の事業所を支える人材確保につなげてほしい。	福祉人材について、町長からは安定的な施設はできたと言われましたが、新施設は人材不足となっています。 岩滝の菜の花ホーム(障害者施設)は人材不足であり、全オープンが厳しい状況にあります。町でも介護職員の資格取得の講習会や、喀痰吸引研修も進めています。福祉人材確保は以前からの問題であり、事業所も危機感を持っており、地域への福祉人材の定着について考えていただいています。町も補助や研修のあり方も考えています。人材の取り合いになっており、地域に残っていただける方策を考えています。
174	建設課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	香河	7/22	会場	石川の母の実家で、川に転落して亡くなった事例がある。建設課にはお願いに行った。橋と道の間の欄干部分が欠けている。自治会から危険箇所があれば挙げてもらいたいとのことだった。町として転落防止柵を設置してほしい。	転落防止柵の設置については、府と調整が必要です。職員も見に行き、土木事務所に伝えたくてすぐにできていません。府とも、町でできるかも含めて検討したいと思います。
175	税務課	60	協働で進める まちづくり	香河	7/22	会場	町民は役場に対しては信用しているが、連休後に固定資産税の納付書と明細が来て、計算してみると、間違っているのではと思い、税務課に電話をした。数日後、間違いだったということで新納付書ももらった。最初より金額は減っていたが、去年の金額より下がっており、去年のも合っているのか心配になっている。どうなっているのか。固定資産税の課税については、システム化されているなら間違いが起こらないのではないかなと思うが、どうなっているのか。 それはないと思う。間違いだったと来た職員は同書を持っていた。何人かのはんこが5つほど上1つ押してあった。内部文書を持ち出していいのかもしれない。はんこが押してあり、金額を勝手に1人だけ変更することはおかしい。 地籍調査の本登記ができたことによるものとのことだった。貴方だけが間違っただけという言い方はされなかったが、地籍調査は同じ時に本登記になったら、金額の大小は別にしても、全部変わってくるはずだ。自分のだけ処理しても他の人の分は、評価額が低いので、言われるまでそのままにしておこうとされたのかもかもしれないが。	ご迷惑をおかけし申し訳ございません。持ち帰りどのような経過であったのか、確認させていただきます。返事をさせていただきます。地籍調査の本登記のこともどう内容の誤りであったのか、また他の方の課税はどうであったのかも含めて確認のうえ、ご報告させていただきます。
176	与謝野町	90	その他	石田	7/25	会場	前回懇談会で苦情を言った、職員の対応の仕方、物の言い方が悪いということについては、完全に治っており、改善が実施できているのでお礼を言いたい。	
177	住民環境課	40	快適でやさ ぎのある生活 環境づくり	石田	7/25	会場	新設されるごみ焼却場(プラント)は絶対安全といえるのか?メタンガス発電は最も危険と聞いている。事故があったらメーカーが保証してくれるのか? 今回のプラント整備について、地域に説明が無い。弓木・石田・下山田地区は現地に隣接しており、住民に説明が必要ではないか。 電力会社はもう再生エネルギー電力は買わないと聞いているが、大量の発電をするプラントを100億円もかけて整備するのは損ではないのか? 発電ができる、シンプルな通常の焼却プラントが良いのではないかと。 プラントのメーカーはどこか? 関西圏で求めるべきと考える。	メタンガスは無色透明で、人畜無害とされ、発酵による発電については国際的にも実績があります。バイオガスを使ったプラントは全国で3ヶ所稼働しており、技術の蓄積があり、安全と考えます。 ごみ焼却だけで発電するなら100トン規模の施設が必要ですが、新施設は1日50トン程度のため、自施設で賄う電力程度しか発電が望めません。メタン発酵であれば、施設が小規模でも十分に発電でき、現在養父市で稼働しているプラントは年間3,000万円の売電収入があります。 メタン発酵による発電はこれからも推進していく再生可能エネルギーと位置付けられており、電力会社も高額の単価で買い取りされます。買わないという話があったのは太陽光発電によるものと思われ、単価はここ数年で大幅に下がっています。 メーカーは「タクマ」といい、尼崎市の企業です。
178	住民環境課	40	快適でやさ ぎのある生活 環境づくり	石田	7/25	会場	電力会社が電力を買わないといったのは最近のこと。送電線を国が買い上げるとしても災害の時等誰が修理するのか。よくメーカーと話をすべき。また電力も実際に買ってくれるのかよく判断をする必要があると思う。メーカーとはすでに契約をしているということだが、契約の前に住民説明会をするべき。	説明会はできていません。そのような要望があればお聞きしたいと思います。
179	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	石田	7/25	会場	町の人口減をどう考えるか? 人口減少は大きな問題で、年間300人ほど減っている。どのような影響があるかはわかりしれない。「与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略」では将来的な人口予測をしており、2060年に1万6千人を維持するという目標を掲げているが、石田区でも人口が1/4になろうという中で、1万6千人は甘い計算であると思う。奨学金の返済免除等をして町に人を呼び込むという施策をしている所もある。もっと危機感をもって施行してほしいと思う。	町としても非常に難しい、厳しい課題、数字であると認識しています。維持していくのは困難です。教育振興だけではできません。産業振興等も併せた複合的な問題と捉え、一体となった取組が必要です。
180	与謝野町	90	その他	石田	7/25	会場	合併して以降5,000人ほど人口が減った。町に住民票をおいていても実際は大阪に住んでいるというような例もあり、数字より実際は減っていると思う。今後真摯に取組を進めてほしい。	
181	商工観光課	20	伝統を活かし 未来にチャレ ンジするまち づくり	石田	7/25	会場	ブランド戦略アドバイザーに対して委託料を支払っているが、何人いるのか? 1人だけだとその分野のみのアドバイスを得るだけになる。また、選択ミスをするかもしれないと思うが?	マネジメント体制の構築に関わるご意見だと思いますが、このマネジメント体制は複合的な要素があり、織物のことのみならず例えば農業や教育へ広がる含みがあります。委託料800万円のうち300万円は、町内の方々を含め、都市部・外部の方々も巻き込んで「良い」と思えるような町の映像化のプロモーションの費用としています。田子さんはブランド戦略の上ではディレクターの立場であり、この方だけでなくほかのスタッフとも連携する仕組みがあります。
182	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	石田	7/25	会場	空き家の活用は何をするのか?	27年度区長さんにお世話になり空き家調査を行った結果、585件という数字が上がりました。所持者にアンケートをとったところ、30件くらいは貸すなり売るとも良いとの返事をいただき、活用可能と登録しています。その中で当町に移住したい人の申込みを受け付け、1件は契約ができています。移住希望者の住宅にすることが基本目標です。
183	建設課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	石田	7/25	会場	防犯用の街灯の器具は故障しないと換えないのか、定期的に換えているのか? うちの前はLEDに換えることになったが、ものすごく明るい。暗い地域もあるのが優先順位をつけて換えてほしい。 街灯の位置は高さ制限等あるのか? ものすごくまぶしい場合もある。また見に来てほしい。	現在街灯のLED化を進めており、国道・府道から進めて、町道も換えていきたいと考えています。地元には玉換えはお世話になっており、今後器具が古くなれば町でLED化していきます。 町の北側・南側と2方向から換えていっています。全部で4,200灯ありますが順次換えていっています。道路で考えて換えるのと器具の故障のため換えるのと2つの方向で換えていきますが予算のこともあって一朝一夕には行きません。 街灯はいま言うような街灯と道路照明とがあります。まぶしいとおっしゃるのはどちらかわからないがまた見させていたいただきたいです。
184	住民環境課	40	快適でやさ ぎのある生活 環境づくり	石田	7/25	会場	以前は大型ごみの収集が1年に1回あったと思うが、今は無くなった。高齢者など処分場に持って行けない人もあると思うが、今後行う予定は無いのか?	広報が目にとまりにくいかもしれませんが、大型ごみについては、処分場まで持って行けない方のために、民生委員さん等を通じて体が不自由である等の証明をいただければ、職員やおのおのえ様の従業員が処分場に持って行かせていただく取組を行っています。27年度は13件のお宅に行かせていただきました。処分料の10キロ100円必要になりますが、そういう制度はあります。

No	担当課	分類1	質問区分	質問等の内容	回答の内容			
185	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	石田	7/25	会場	加悦・野田川地域で小学校を統合することについて反対者が多いと聞いたが何故か？ 生徒が少ないのだから統合して教員も減らせば良い。橋立中はエリアが広がり生徒増えるが橋北等地元の人々が反対するらしい。地元の方とよく話をしてほしい。このまま小学校等があると経費がかさんで仕方がない。やはりもっと始末できることは始末できるようにしてほしい。	学校再編について、反対者が多いということは初めて聞きました。教委としては平成23年に方針の整理をし、旧町ごとに1つの小学校とし、施設は既存の小学校施設を使用して野田川は市場小、加悦は加悦小を使用することとしました。これは3年前に「子ども子育て会議」で決定し、答申を得ています。平成34年に一斉に再編をかけるとし、23年時点では、34年にはそれが可能な児童数になると試算していました。このほど見直しを行い、可能な地域から再編をかけるとしました。今現在の児童数で推測すると野田川地域は児童数が減らず、40年度になっても既存の校舎で収容することは不可能となる見通しです。加悦地域は31年度に統合が可能ですが、33年度に与謝小学校への入学生が2人になるというタイミングで再編するということで検討しています。この案についてはこの5月に改訂版として町長に提出し、町の方針とするかどうか検討中です。
186	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	石田	7/25	会場	加悦のミニバスは1,500万円の赤字を出しているようだがどうか？	ひまわりバスは27年度で998万円の経費をかけて運営しており、122万円が運賃で収入があります。国の補助金が300万入っているの町的身だしは570万円程度です。人数としては、27年度は約6,000人の利用があり、加悦や石川など交通の不便な地域の方の生活を支えるために運営しています。
187	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	弓木	7/27	会場	小学校に空調設備が無く、夏場は非常に暑い。整備される予定はあるのか？	学習する環境として懸念しています。現在の加悦中改築には空調を整備する予定であり、江中、橋中についても来年の計画としています。高額な事業のため、補助金の交付を受けながら計画的に配備します。小学校は中学校整備後と考えています。
188	福祉課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	弓木	7/27	会場	福祉サービス等の人員が少ないため、即時対応してもらえず多くの待機者がいる状況だが、これについてどう思われるか？従事者の人材確保をしてほしい。	人員不足は承知しています。今年度、福祉の人材育成のため介護福祉士等の研修補助を検討しています。補助事業により、町外の福祉施設への人材流出も食い止めたいと思っています。利用待ちの方がたくさんおられることについては、運営は社会福祉法人となるので、町の介入はできません。町としては人材確保のための環境改善に努めます。
189	CATVセンター	40	快適でやさらしい生活環境づくり	弓木	7/27	会場	「安心安全」の情報提供に絡み、岩滝地域がコミュニティラジオ局(FMたんご)の中継局とならないか？	コミュニティFMの運営については原則、民営と認識しています。災害等緊急の防災情報については、防災無線があり、FM告知などで十分対応できると考えています。今なら設置費用、使用料など無料のプランもあるので、ぜひ未加入の方は加入していただきたいと思っています。
190	与謝野町	40	快適でやさらしい生活環境づくり	弓木	7/27	会場	町長は「FMたんご」に出演されたが、町長の考えは？	今ある施設でどのようなことができるかだと思います。「FMたんご」については様々な情報を提供してまいります。町の情報について紹介できるならありがたいと思います。今後勉強していきたいと思っています。
191	建設課	40	快適でやさらしい生活環境づくり	弓木	7/27	会場	府道弓木岩滝線と町道山手線が合流する交差点は大変危険である。一旦停止の表示や路面工事などの対策をとってほしい。	府道の改良工事が本格化する中で、今年度実施設計に入ります。それに先立ち、区画線やガードレールの設置を要望しています。また警察に横断歩道の移動要望も要望しています。大変危険であることも重々承知していますが、根本的に交差点の形状改良しかないと考えています。補助金の交付のこともありますが、29年度には用地買収を実施していくので、今しばらくお待ちいただきたいと思っています。
192	建設課	40	快適でやさらしい生活環境づくり	弓木	7/27	会場	いつ出来るかわからない中で、地元のもの危険な目に合う。立て看板など、今出来ることをしてほしい。交差点改良の話を出してから35年もかかっている。予算が無いと言うが真剣である気がないのでは？すぐに工事ができなくても、出来ることはあるはずだ。	今、国庫補助での設計段階に入っています。用地買収の取組みも始まりですが用地確保の問題もあります。懸命にやっているので、待っていただきたいと思っています。
193	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	弓木	7/27	会場	高齢者が自転車で斜め横断して非常にこわい場面を目撃した。高齢者のための交通ルールの講習会(交通指導)はないのか？	高齢者の交通事故が一番多いという統計結果が出ています。子どもたちの交通指導はありますが、高齢者にはしていません。老人会の集まりなどで交通ルールやマナーを勉強していただく機会が作れないか、交通安全対策委員会に意見として上げて連携したいと思っています。
194	上下水道課	40	快適でやさらしい生活環境づくり	弓木	7/27	会場	水道について、岩滝の上水と加悦、野田川の簡易水道は合体するの？ 経営は厳しいときどき料金の値上げはあるの？ 下水道の接続状況と、現状は？	水道事業は簡易水道と上水道が29年度で統合し、公営企業法の適用となり、運営は水道料金で賄うこととなります。しかし、公債費が多額で経営が厳しく、簡易水道の基金8億と上水道の現金2億を取り崩しながら運営していきませんが、今後次の投資が必要となるであろう平成40年頃には企業債を起そうにも償還ができない状況となります。さらに人口減少や少子高齢化、節水機器の普及など水需要は減少し続けており、将来へ持続可能な形を作るためにも料金の値上げをさせていただきたいと考えています。時期については、上下水道審議会の答申をいただき、議会の議決が得られれば、来年の4月から値上げをする予定です。下水道についてー 下水道の接続率は74.9%です。経営は水道よりもさらに厳しい状況で、平成26年度の例を挙げると使用料収入が2億6千万円ですが、それでは賄えず、一般会計から基準外の繰入を3億8千万も行っており、これは本来、下水道使用料で賄うべき経費なので相当な値上げをしなければなりません。また、下水道についても企業会計への移行を考える時期に来ているので、準備段階として水道と同じように来年の4月から少しずつ料金値上げをさせていただきたいと考えています。
195	上下水道課	40	快適でやさらしい生活環境づくり	弓木	7/27	会場	下水道について経営が非常に厳しいのはわかるが、接続率を上げないと需要が増えない。整備は100%出来たのか？ 議員や職員の中にも未接続のものがあると聞いている。100%接続を目指し、需用を高めて料金値上げを抑えてほしい。	下水道の面整備率は98.6%です。未接続者については、より積極的に働きかけを行います。
196	住民環境課	40	快適でやさらしい生活環境づくり	弓木	7/27	会場	ごみの有料化について、可燃ごみは有料化されるが、資源ごみは有料化しないのか？	調査により、可燃ごみの4～5割が資源となる雑紙等であることがわかったので、これを分別して資源にすることにより、可燃ごみの全重量が減り、値上げ相当分がカバーできると考えています。この目標が達成できればごみの有料化はしません、と住民にも説明しています。
197	住民環境課	40	快適でやさらしい生活環境づくり	弓木	7/27	会場	有料化されていない方の袋に他のごみを混ぜてしまうと、不法投棄が増えるのではないかと。混ぜたものは資源とならず捨てることになる。分別を管理するにも大変なので、どちらも有料化してほしい。	有料化すると決まった訳ではないのでコメントは差し控えたいと思いますが、意見として聞かせていただきます。
198	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	会場	丹鉄の沿線駅で、観光客向けにマルシェなど地元の特産品やスイーツ販売などをされているところがある。野田川(与謝野)駅でも何か取り組みはないか？	昨年度「ステップあけぼの」により一度マルシェの取組みをされました。現在、何か企画できないか思案しているところで、丹鉄や、商工会青年部と連携し考えたいと思います。
199	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	会場	ふるさと納税の額はどれだけあったか？ どう生かされているか？ その納税の返礼品などで地域活性化となっている地域があるが、当町はどうか？	408万7千円の寄付、返礼品はその3割としています。返礼率の高い自治体もありますが、上げすぎないように総務省から指導されています。
200	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	会場	あまりに少ないのでは？ 返礼品の割合を多くし、町内には有名になっている方もあり、そういった方に働きかけてもいいのでは？ ふるさと納税専門の組織があってもいいのでは。	納税額は毎年多くなっています。当初は返礼品はありませんでした。現在は納税を増やすために、返礼品や、クレジットでの納税、有線テレビのCMなどのほか、町外の方へのPRなどを取り組んでいます。ご指摘のとおり、水道料金の値上げを考える時期でもあり、収入を得るための努力は必要です。今年度は職員体制も強化しました。納税額を増やすよう努力していきたいと思っています。
201	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	立町	8/1	会場	太田町長時代、庁舎統合の問題で懇談会があった。庁舎統合検討委員会で検討、町民に説明されたが、どのような構成になっているのか、今はすすんでいるのか、結果について会ごとに知らされるのかそのへんがききたい。	住民を二分する可能性があるということを学んだので、一体感を守りつつ、考えていきたいと思っています。逐次、情報公開しなければいけないと考えています。具体的な動きはないと考えています。進歩はしています。野田川旧本館をとりました。役場の機構改革をおこないました。住民の皆さんがアクセスしやすいところに庁舎を作りたいと思います。お金がかかるので少しずつ基金の積み立てをしています。取組むにあたって住民の一体感損なわないように認識をしています。
202	農林課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	立町	8/1	会場	熊の時間外の対応は。(夜)11時頃に出た場合は、放送ができるのかどうか。時間に関係なしか。 山へ向かう、町へ向かうで違うのでは。 対応としては、職員が対応できるのか、どういう対応、どのような対応をするのか、猟友会が捕まえる、追い払いは。鹿はどうか。	熊出没時の対応につきましては、通報の受付、および対応は24時間体制で行っております。ただし、時刻・場所など危険性の度合いにより対応の中身は異なります。 危険度の高い場合の初動としては、通報を受けましたら、警察に連絡をした後、町の判断で緊急放送を行います。並行して、区長・京都府に報告し対応について相談を行います。 続いての対応につきましては、職員による巡回、花火等による追い払い、教育・福祉機関等への連絡、区による注意放送などが挙げられます。 なお、熊・鹿・猪などが市街地に出没し危険度が高い場合におきましては、警察の指揮下で京都府・町・猟友会が連携して対応することとなります。
203	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	立町	8/1	会場	助成金に礼。下限をなくすわけにはいかないか。5万円でも10万円でもいだければありがたい。	まちづくり助成金の件で、下限があまり少なくなると区の負担でお願いしたいという主旨です。助成金は615万円しかありません。対象にするしない、上限、下限の撤廃などいろいろと懇談会でできています。意見をまとめて12月区長会に反映したいと思っています。制限をもうけないと厳しい状況で、予算に限りがあるので何か制限をする必要があることはご理解いただきたいと思っています。議論はさせていただきます。
204	建設課	40	快適でやさらしい生活環境づくり	立町	8/1	会場	区長をとおして山岸薬局と谷口自転車の間の道路修理をしてもらった。セメント部分がガタガタだと説明をし、セメント部分の修理をお願いしたが、アスファルトの部分を修理された。直しが要望とは違う。この点はどうか。修理の翌日に担当さんがこられた。そう判断されたのか。何年も前に要望した。優先順位はわかるがいつやってもらうか開示もなかった。何年も待ってこのような施工ならしてほしくない。	申し訳ございません。また、現地の確認をしたいと思っています。
205	企画財政課	60	その他	立町	8/1	会場	町政懇談会は、ありがたいが毎年全区区されるのは大変ではないか。いいのかなと心配をしている。今後も続けるのか。	今年度は、住民の皆さんと行動をおこしたと思うから24ヵ所まわりました。3年目にして始めてまわっています。今後においては、対外的なものに支障をきたすことがなかったので、年次計画に従い、考えていきたいと思っています。

No	担当課	分類	分類1	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
206	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	立町	8/1	会場	最近の資料は横文字が多い。わかりづらいものではないか。特にブランド戦略・ベリエリアマスタープランなど、みえる町がコンセプトなのにみえにくいのではないかと。有識者が使っているからだろうか。	他地区からも聞いています。例えば海の京都のDMOは、私もわかりませんでした。国全体の傾向のように思います。よりわかりやすい説明をしたいと思っています。わかりやすいことばで適したことを使いたいところです。
207	農林課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	立町	8/1	会場	肥料について、いい肥料だがコストがかかりすぎて実用的にはいかれないときいたが、今後はどうか。	京の豆っこ肥料の平成27年度の生産量は314トンで、ほぼ全量を町内の農業者が使用されています。主な作物は水稲「京の豆っこ米」で、平成27年度の作付面積は119ヘクタール(105人)となっており、本町の水稲作付面積の約20パーセントを占めています。豆っこ肥料の平成27年度の製造経費は約2600万円、実質肥料販売収入が約1200万円で、差引約1400万円がいわゆる赤字となっており、町としては農地の保全、農業振興に資する経費と位置付けています。しかしながら、収支面で自立した運営を目指す必要があると認識しており、老朽化に伴う設備更新にあたり製造能力や品質の向上を図り自立運営に繋げたいと考えています。
208	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	立町	8/1	会場	織物振興対策事業について、本当にしているのか。後継者不足に対応しているのか。織機調整等支援事業補助金ははたしてそうになっているのか。もう少し違う対策をねる必要があるのではないかと。	これまでから商工会への支援事業としてやってきました。H27年度からは商工会以外の利用も可能としています。240件の申請提出がありました。効果はあると考えていますが日々、商工会や織物事業所等の声を聞きながら検討をしていきたいと思っています。
209	福祉課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	立町	8/1	会場	福祉関係だが、よさのうみ福祉会から人手不足をよくきく。町としての対応があればきたい。	業界自体の人材不足は認識しています。各法人で努力されています。宮津市で施設ができており、町内からの就職もきています。介護福祉士資格講習補助を考えています。他、具体的な取り組みはできていません。要望があれば考えていきます。
210	子育て応援課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	立町	8/1	会場	生活困窮家庭自立支援事業について、学校へこれない方への対応か。もう少し詳細にきたい。	生活保護世帯は福祉課、養育困難家庭は子育て応援課で支援していきます。先生のOB・OGでNPO法人が立ち上がり、H28年度から委託し家庭での支援をしています。学校にいけない児童や家庭への支援をしていきます。
211	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	立町	8/1	会場	財政が非常に厳しい。交付税のこともきく。町民も認識している。今後のごみ処理問題もある。展望をきかせてほしい。	非常に厳しい。(資料P16～19説明)人口減少。町税収入減少。平成28年度は18億円。平成28年度以降はだんだん減少していく見込み。町債増加。コントロールできる範囲ではある。今後、大型事業はできない。基金は予定通り。平成29年度以降歳出が増加。今後マイナスが続いていき、基金で補填していくと平成35年度には、基金はなくなる。なかなか暗いのを何とかしていきたいと思っている。
212	建設課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	立町	8/1	会場	川のどろあげ。あすかの前の川にだいが砂がたまっている。掃除がしにくい。とにかくききたい。	H29年度各区の要望としてあげていただきたいと思います。緊急度の高いものからしていきます。
213	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	浜町	8/2	会場	地方創生交付金の内定がもらえているという話だが、創生担当大臣が辞任されるという中で、すでに決裁がおりたと考えて良いのか。	本日の昼前にインターネットで大臣の記者会見があり、その中で推進交付金28年度の内示一覧の中に与謝野町の名前があったため、決裁後に本日の発表に当たったものだと考えています。
214	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	浜町	8/2	会場	与謝野ブランド戦略事業の阿蘇ベリエリアプロジェクトについてもう少し説明がほしい。	阿蘇ベリエリアプロジェクトは、与謝野ブランド戦略を体感、発信できる拠点エリアとして整備していくものです。このプロジェクトについては住民の皆様と昨年より議論を重ねてマスタープランを策定したところです。このプランの中身については今後地域の中に入っていき説明をしたいところですが、この場では概要のみを説明させていただきます。阿蘇ベリエリアを海の玄関、みえるまちとして整備をしていくものです。昨年度一年をかけた調査の結果、この理念を達成するには現在10個のバリエーションがある、と出ました。その10個のバリエーションに対し10個の事業を示しています。例えば、阿蘇海で遊ぶ人がいないという課題に対し、シーカヤックやサップ等のマリンスポーツを展開していく取り組みがあります。このように、阿蘇ベリエリアを違った観点から盛り上げていくという取り組みです。改めてこの阿蘇ベリエリアプロジェクトにおける計画の概要の詳細をお届けします。
215	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	浜町	8/2	会場	阿蘇ベリエリアプロジェクトの取り組みについて地元で意見を言うことは出来ないのか。	本日、事業者が決定しましたが、この企画内容については当然地域の皆様方又は地権者の方との接触が必要不可欠なので、地域住民の方が声を届けていただくことが非常に重要なことだと考えています。
216	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	浜町	8/2	会場	横断歩道等の白線の消えかけている箇所について町の方から引いてもらえるように働きかけは出来ないのか。	町で設けている交通安全対策委員会の委員で地区からの要望で危険な箇所については点検パトロールで把握し、道路管理者にはお願いをしています。カーブミラー等の町の施設については予算内で対応しているため、気付いた事があつたら町へ申し出ていただきたいと思います。区画線については、警察署、京都府丹後土木事務所等と確認して必要に応じて引いています。町の管理する場所については一度にすべてとはいきませんが、順次引いていきます。まだ、十分引けていないことについては把握しており、予算がつか次第回っていくのでお待ちいただきたいと思います。
217	防災安全課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	浜町	8/2	会場	糸茂食料品店前の交差点にあるカーブミラーが高い位置に設置してあるのには何か理由があるのか。  低い位置に出来ない理由があれば納得できるが、現在の高い位置だと確認するのに目線を上げる必要があるため、位置の調整が出来るか一度確認してほしい。	高さについては、車高の高い車を考えてのことだと思えますが、カーブミラー自体は角度調整が出来るので、運転手からも歩行者からも確認し易いように調整は出来ていると思います。  基準等があるのか一度確認します。
218	建設課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	浜町	8/2	会場	右折専用信号について、男山区のコメリ・ファミリーマート前の交差点に右折専用信号が設置出来るのか。ヤクルトの前には右折専用信号が付いているが、コメリ・ファミリーマート前の交差点の方が混雑するのに調査して右折専用信号を設置したのか。	公安委員会の考えで設置するものなので、ヤクルトの前についても理由があつて設置したものだと思いますし、コメリの前も右折の度合い等を考えての判断だと思います。  京都府が府民公募型事業を募集しているのその時に要望をあげていただくか、毎年町が問い合わせしている要望事項としてあげていただく必要があります。ただ、要望事項としてあげていただいても、公安委員が交通量等必要性を判断するということとなります。
219	建設課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	浜町	8/2	会場	天神山川の河口で暗渠のところがあるが、川が蛇行して大雨が降ると水が溢れるので、暗渠の継ぎ目を補修し河口に溜まる土砂を引き上げるといったことを繰り返しやっているが今後も続けるつもりか。河口を直線になるよう改修して土砂が少しでも海に流れ出て引き上げなくてもよいような工事を考えられたことはないのか。  上で止めたいのも、止まらないのも分かるが河口をまっすぐにすることは考えられないか。	天神山川は小学校の横の溜池で一度撤去していますが、台風16号の時に溜池に溜まらず下流まで流れたことがあったようで、それがまだトンネルの中に溜まっているかと思われます。トンネルの中はなかなか引き上げが出来ないので海に流れ出てから引き上げたり、トンネルの中に土砂が入らないように溜池で引き上げることしか解決策がありません。上で止まるように京都府にはえん堤の増設等の要望はありますが、一度施工した場所なのでなかなか順番が回ってこない状況にあります。  検討します。
220	建設課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	浜町	8/2	会場	町の要望事項はなぜ毎年同じことをあげなければならないのか。一度出したらそれが解決するまで同じことではないのか。また、要望の優先順位はどこが決められているのか。各地区の要望事項も分からないので解決されている事項も分からない。  要望書の回答が区長にだけ届くので、継続及び新規の要望かどうかというのが区民には分からないので閲覧板で回せるくらいの部数を用意してほしい。また、防犯灯やカーブミラーについても軽微な工事と同じような感覚で出来ない旨の返答だが、小さな接触事故があるのにカーブミラー無しで通行しろということか。大きな工事をすることも大切だが何年かに1回、小さい工事を集中的にする年度を設けることはできないのか。  要望書の優先順位は町か地区かどちらがつけているのか。	要望であがつてくるものの中には軽微なものもあり、区の努力で解決したりして減る分や、引き続き要望したい事項等があると思うので毎年要望をあげていただいています。  みなさんの意見を聞き、要望をあげていただくにしても資料の提供が出来ていないように思います。方法については意見を聞かせていただいた上で一度協議します。膨大な数の要望があるので1つ1つ細かく回答していくのは出来ません。何年かに1度小修繕を行うというのは、国の補助が当たっている事業から行いたいという事情もあります。できるだけ前向きに予算を付けるよう努力します。  基本的には地区につけていただいています。
221	総務課	40	快適でやさらぎのある生活環境づくり	浜町	8/2	会場	空き家や農地について、所有者が近くにおらず放置されている場所については、所有者に指導がしてもらえないか。また、分収造林については伐木の時期がきているが販売価格と切り出しの価格が釣り合わず遅れており契約の期間を伸ばしたり、契約を解除したりしています。岩滝地域の分収造林については、今後の方針については地区の方に報告します。	空き家については特定の空き家に指定することによって指導や助言ができるようになってきました。実際、地区から問い合わせがあり所有者に投げかけをしたところ反応があつた場合もあります。一度、相談にきていただきたいと思います。放置された農地については農業委員会で対応します。具体的に場所を教えてください。分収造林については、全国的に伐木の時期が来ているが販売価格と切り出しの価格が釣り合わず遅れており契約の期間を伸ばしたり、契約を解除したりしています。岩滝地域の分収造林については、今後の方針については地区の方に報告します。
222	農林課	60	協働で進めるまちづくり	浜町	8/2	会場	分収造林の契約が解除されたときの投資費用はどうなるのか。また、育林をする山も現在は放置されているのか、それとも育林が開始されているのか。  なしくずして終わらないようお願いしたい。	岩滝連合会の分収造林地につきましては、京都府森と緑の公社が解散したことにより、事業が京都府へ移管され、府有林として京都府が手入れることとなっています。岩滝連合会の分収造林契約につきましては、契約最終期が締結日の昭和60年10月30日から80年(S140年、H77年、2065年)となっておりますので、期間内における間伐等の管理につきましては、町としても岩滝連合区とともに京都府に要望等働きかけて参りたいと考えています。  なお、一般的な分収造林につきましては、契約期間内に伐採し収益を得る内容となっておりますが、伐採後、土地所有者に植栽義務があることや、木材価格の低迷に加え、シカによる食害により新規植栽が困難であるなどの点が懸念事項となっております。

わかりにくい？

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
223	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	8/3	会場	商工観光課で話をし副町長も聞いていただいたが、これだけの行事、スタッフで色々な形の中でされるのは大変だと思いますが、町民はわかりやすい街づくりを求めていると思います。 東京からお客が京都ブランドということで丹後にも来ていただいているが、与謝野町でお金を落としたいと思うが何か無いのか。 外貨獲得と産業振興、街づくりは点となってやらなければいけないと思う。 一生懸命されているのはわかるが、横文字が多くわかりにくく、もう少し小学生からおじいさんまで浸し見やすい言葉で進めて言ってほしいと思います。	与謝野町の取り組みも今、特産、与謝野町ならではのものを作り出そうということで阿蘇ペイエリア一体を活性化させることでうまれてくるのではと期待しながら進めています。 横文字についてはどこでも言われているので、行政としては皆様によりわかりやすいように伝えるのが一番大事だと思いますので配慮していきたいです。 街づくりについてはブランド戦略を着々と進めていますので今しばらく待っていただきたいです。
224	CATVセンター	40	快適でやさらしい生活環境づくり	8/3	会場	KYTについてももう少し字幕が多く、もっと地元のPRをしたり、字幕を減らして、与謝野ブランド認定業者会の家庭を回ったり、与謝野町にはこんな物が出ていますといったことなどもう少しKYTを利用することはできないか。	番組内の字幕(テロップ)については、総務省からの指導もあり、NHK、民放などでも多く使われており、KYTでもそれにならう形で以前よりは多く使用しております。見づらいついこともありますが、ご理解をお願いします。 また、与謝野ブランド戦略の関連等につきましては各課から情報をいただき、ホップ栽培やまちぐる等断片的に番組は作成していますが、地元向けのPR的なものはできていないのが現状です。ものづくりに着眼した番組づくりを一步一步させていきたいと思います。今後、担当課と連携を密にとり、これらの番組作りを進めていきたいと思います。 商工観光課サイドからもKYTへ情報提供していきたいです。
225	CATVセンター	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	8/3	会場	町長が言っているようにものづくりの町で与謝野町の食品工業繊維、なぜ、TVでしないのか。一年も前からいっているのに、課同士の連携をしているのか。期待しているのでもっと町民が見たいと言われるようなTVにしてほしい。 取材をして地元の特産など町内の方にPRして、商工観光課は町外へPRしてほしい。	ご指摘の連携についてはまだまだ十分にできていないのが現状です。ツールを活かしていきたくないという事は確かです。番組を作る方は一杯やっているのですが、時間的な制約もあり要望に対応できていません。担当課と連携し、見たい番組づくりを進めていきたいと思います。一年も前から言っていたのになかなか申し訳ありません。
226	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	8/3	会場	学校の統廃合について、今年、岩屋小学校が休校になって統合したが、そのことを踏まえてこれからの統廃合の計画は従来どおりに行われるのか、岩屋小学校が休校になった経緯というは行政側が指導したのではなく、住民側から居ても立っても居られなくなり行われたかと思っているが、これらを踏まえてこれからはどうして行くのか。	統廃合の適正規模、適正配置の基本計画についてですが、平成23年に教育委員会として基本方針をまとめさせていただいたところです。 そのときには小学校の統合時期については平成34年度を目処に一斉にするという基本方針でしたが、平成23年9月に町長に提言をさせていただき、町の方では子ども子育て会議に諮問させていただき建議を求めさせていただきました。 そのなかでは、再編については可能な限り速やかに進めるといった答申をいただきましたが、岩屋小学校については、平成26年12月に岩屋区から町長へ平成28年の4月より岩屋小学校の児童が市場小学校へ通学できるようにしてほしいという要望があり、併せて、平成23年に基本方針をまとめさせていただいたときと児童数の推移も変わってきているので、今年度、教育委員会でも基本方針の見直しをさせていただいているところです。 内容は、加悦地域については平成33年度を目処に当初の計画通り加悦小学校で進めます。野田川地域については平成40年度において市場小学校で進めています。児童数が思っていたより減少していない状況で、平成40年度でも収容教室の可能数が満たないということなので、再度、児童数の推移を見ながら野田川地域については統合時期を考えるとということいい直しをしています。 見直しについては、現在、教育委員会でもまとめたものを町へ提言しており、今後、町で検討、協議をしていくということになっています。
227	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	8/3	会場	もう少し早期に小学校統廃合の計画が進むのかと思っていた。 もう一つ、統廃合により町の経費はどれくらい削減されたか	資料がないのですが、岩屋小学校の予算は1千万超ほどあったと思います。 平成28年度については、備品等が残っているのでセキュリティなどの経費もあり140~150万ほど予算を組んでいるので支出で言えば900万ぐらいになると思います。 ただし、岩屋小学校でいた支援員については、市場小学校に移っているのそのあたりを加えると若干変わってくると思うのですが、岩屋小学校だけ見たら900万ぐらいになると思います。 学校の関係で言えば施設もたくさんあり、建設された時代も同じような時代ですので徐々に年数がたってきており、町のほうでも色々な公共施設の今後のあり方を検討しており、そのなかでも学校の今後の関係も少しは議論していくのだと思います。
228	防災安全課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	8/3	会場	岩滝の中心部に位置をとっている藪後で色々な施設があり、小規模多機能の老人ホームがあり重度身障者の菜の花ホームがあり母と子のセンターがある地区で住みやすい藪後だと思っているが、人口が少ない地区であり、家数では200戸あり、そのうち100戸は団地ということで60戸が府営団地、40戸が町営団地で、区を運営していくなかで区費をいいたたり、防災関係で訓練するなかで安否を気遣う場合に団地の方が多すぎて把握できない。 毎年、年が明けに新しい組長さんになられたときに各家の名簿を出していただいても団地においては返ってくるのは3割程度で把握できない、個人情報の関係で町へお願いしてもダメなのはわかっているが、もし有事のあったときにどうやって対応していただきたいのか、現実、区を預かっていて頭が痛いところ。 区費については入っていったお金をいいただいでいるところだが、一番困るのは災害があつて困るのは、町主催の訓練があつたが参加をお願いしても団地の方は出席が大変少ない。 もしなにかあつた場合、どうするのだろうか、責任をといわれてももてない。 町としてはどう対応をしたらいいのか、何かいいアイデアがないか毎回思っているのを教えてほしい。  隣組長への防災会議も大変すばらしいことではあると思いますが、女性の高齢者の方が組長を受けておられたり、組によって色々な状況があり、そのような話を持っていったら隣組長をたたくないと言われるので、難しいとは思いますが組長への負担のかからないようにしてほしい。	区が言われた個人情報の提供については、防災の関係で言いますと、実際、訓練のときは訓練で済みますが、もしもの有事の際の安否確認など、区を預かっておられる区長が心配されているのはそのとおりだと思います。 提供できる資料は、民生委員などにお世話になりながら作成している、要配慮者の台帳登録していただいている方々の名簿があります。 これについては、災害対策基本法の適用を受ける場合は開示してもいいとなっているので登録のある方については情報提供可能です。 区長が一番危惧されている団地にお住まいの方につきましては、協力してくれる方もありますがそうでない方が多いようですが、どこの区でも大きな住宅を抱えているところは大小様々な事情があるようです。 住んでおられる方の言い分では、長くは住まないという理由で区にも区費も協力いただけない方もおられると聞いています。 区の方の協力無しで安否確認できるのか、町としても危惧しているところであり、本人の災害に対する危機意識を持っていただくかになってきますので、隣組防災会議をお世話になったが無理が生じてきていると思っているのですが根気欲言っていくしかないのかと思っています。 区が心配されているのと同じように町も心配しているところです。  区長が心配されるように区長なり役員さんに責任がかかることは無いようにしないと、どこまで行っても個人の責任ということになりますので、災害の時には… 個人情報という法律が災害のときには壁になっているのは確かであり、もう一方で個人情報を非常に大事にしていなくてはならないものです。明快な返事ができなくて申し訳ありません。  岩滝地域では区長会議はなかったのですが、加悦地区、野田川地区では同じような意見が出ており、隣組長はお世話になっていても臨機応変にこういったことは若い方へお願いしていただいたり、数の少ない隣組では隣の隣組と一緒になってされてはどうですかと言わせていただきましたが、課題があるのは承知しております。 今、岩滝地域については都市計画区域ということで野田川地域と加悦地域については都市計画区域外となっています。 平成20年頃に都市計画の再編検討委員会を開いたことがありますが、その後、都市計画法の見直しがあるかと聞いていたのですが、そのままの状態になっておりどの方向になっていくのか結論が出ていません。 景観については岩滝地域については天橋立周辺街づくり景観計画があり、一定の建物の階数などか面積がある場合は届出が必要となっており、その他に町で景観に対しての規制を設ける予定はありません。 都市計画ではなかなか野田川地域、加悦地域では理解していただくのは時間がかかり進んでいないのが実情です。 景観に関係しては国定公園ですので、そちらの方で景観には配慮していると認識していますが、具体的に家を建てる場合こうするといったPRをしたり、案を持っているわけではありません。 要請をした経過もありますが法律の関係で進んでいない関係でできていません。
229	建設課			8/3	会場	以前、太田町長のとき確か108のローカルmanifestoがあつて、その中で与謝野町の中で岩滝町、野田川町、加悦町の都市計画の見直しをしようと思つたと思うのですが、今現在も岩滝町は都市計画区域内ですが、あとの二町については都市計画区域外となっているのですが今後どのように考えておられるのか。 宮津市については景観についての指導があるのですが、建物を建てたり改修をしたりするのに携帯規制や色彩規制があるのですが、橋立を挟んだ与謝野町(岩滝町)は景観や規制などについて今後されるような計画はありますか。	岩滝地域については都市計画区域ということで野田川地域と加悦地域については都市計画区域外となっています。 平成20年頃に都市計画の再編検討委員会を開いたことがありますが、その後、都市計画法の見直しがあるかと聞いていたのですが、そのままの状態になっておりどの方向になっていくのか結論が出ていません。 景観については岩滝地域については天橋立周辺街づくり景観計画があり、一定の建物の階数などか面積がある場合は届出が必要となっており、その他に町で景観に対しての規制を設ける予定はありません。 都市計画ではなかなか野田川地域、加悦地域では理解していただくのは時間がかかり進んでいないのが実情です。 景観に関係しては国定公園ですので、そちらの方で景観には配慮していると認識していますが、具体的に家を建てる場合こうするといったPRをしたり、案を持っているわけではありません。 要請をした経過もありますが法律の関係で進んでいない関係でできていません。
230	子育て応援課	60	協働で進めるまちづくり	8/5	会場	かえでこども園(旧岩滝幼稚園)に隣接している土手(西側用水路付近・町の土地)の草刈り(シルバー人材センターに依頼する等)をお願いしたい。現在は住民がボランティアで行っている	かえでこども園の建設にあたり、敷地の境界確認を行いました。その際、水路までが敷地であることを確認しています。斜面については利用者(住民)の方で管理をお願いしたいと思います。 里道水路の底地の管理については町ですが、日常の維持管理については住民の方にお願いしています。
231	商工観光課	60	協働で進めるまちづくり	8/5	会場	丹後地域に生糸は何kgくらい入ってきているのか。生糸を1kg作るのに桑畑の面積はどのくらい必要か?	現在の丹後ちりめんの生産規模は33万反となっています。全盛期(S48,S49年頃)は1,000万反でした。33万反を生産するのに必要な桑畑の面積は京都府程度の広さが必要であるとされています。
232	総務課	60	協働で進めるまちづくり	8/5	会場	危険家屋(空き家)への相談に役場に行くが、対応がその場限りとなっている。「今後対応していきます」その物件は弁護士が管理して町では何もすることができないと言われるだけ。昨年空き家対策の法律も制定された。その法律を以て町としてどういう風に対策をしていくか、所有者と役場で話し合いの場を持つ等するべきではないか。	昨年区にも協力していただき、空き家調査を実施しました。その結果、585戸の空き家を確認し、そのうちの約1割が廃屋化しています。今後は写真、大きさ、間取りなどを把握してデータベースを作成し、対応の優先順位を付けることとしています。 まずは所有者に管理責任があるため、役場が所有権を差し置いて対応を取ることはできません。また税金を使うことについては慎重にならなければならぬし、いろいろな意見があると思います。これらを整理しながら対応していきたいと思っています。 今、おっしゃっている危険家屋については関係者が町内にいることは把握しており、接触もしています。今後どのような結果になるかはわからないが、今後でも対応していきたいと思っています。
233	防災安全課	60	協働で進めるまちづくり	8/5	会場	7/3の防災訓練時にリフレかやの里でイベントが実施されていたようである。全町挙げての訓練であるのにかがなものか。	当日のリフレのイベントというのは、ひまわりの苗の植え付けのことかと思つています。 これまでの訓練は3月に地震を想定して実施していましたが、昨年から風水害を想定したものとしました。実施時期については昨年区長会において秋のイベントがたくさんある秋ではなく、また台風等のシーズンを前に実施してほしいということで7/3を設定したという経緯があります。なるべく他のイベントと被らないように実施したいと思つていますが、防災訓練よりも早く計画されているイベントもあるので、そのあたりのことは理解していただきたいと思います。今後最大限の調整をしていきたいと思っています。
234	商工観光課	60	協働で進めるまちづくり	8/5	会場	阿蘇ペイエリアマスタープラン事業には東町も入っている。山と醤油さんを会場に使われているが、同じ隣組内でも何をしているのか知らない人がたくさんいる。もっとアピールするべきなのではないか。	HPやSNSでは伝わりにくかつたかと思つています。他の地区からも同様のご指摘をいただけており、反省しています。東町区にはお伝えしており、区民の方にも参加していただくようお願いしました。また、一部の沿線の方には手紙の配布や声掛けも行いました。



No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
235	学校教育課	60	協働で進めるまちづくり	東町	8/5	会場	与謝野町の教育大綱に国際的な人材育成とあるが、加悦高の普通科について今後どのように提案していくのか。	府教育委員会で会議が持たれ、その中でも生徒の減少が著しいのが丹後地域でした。教育の質を高める教師の数について理想の定員数は8クラスとされています。それにあてはめて考えていくと、丹後地域では高校が2校ということになります。町長をトップにPTAや区長会、商工会などあらゆる分野の方に参加していただき会議を行い、加悦高について話し合い、府教育委員会にも加悦高をなくさないようにとの申し入れを行いました。 7/24公聴会があり、与謝野町から101名の参加がありました。そのときに提案されたのがキャンパス制(宮津+加悦谷)です。その中で加悦谷高校については普通科をとということで、国際的な人材育成ということも踏まえて、今後の在り方を考えていかなければなりません。 また教育長と副町長で在り方懇話会というものに出席しています。その席でも与謝野町としての考えを申し上げていきたいと思っています。 加悦谷高校は地域、街づくりにとっても非常に重要な学校です。よりよい学校となるために検討を行ってきました。府教育委員会からは、丹後圏域において最適と思われる案が提示されました。その中で宮津と謝において宮津高と加悦谷高がひとつの高校になった上で、宮津については建築家と普通科、加悦谷高については新たな普通科の形を模索していくということになっていたかと思えます。新たな普通科の形に付いて福祉や国際的といったような話があったように思います。今後どのような学校にしていこうかは議論を重ねなければと思っています。そこで重要視していきたいのは、与謝野町の教育大綱に沿ったものにしていき
236	農林課	60	協働で進めるまちづくり	東町	8/5	会場	年に数回男山コミュニティセンターを借りるが、その際加悦まで行かなければならない。地域振興課が無くなったからと言って各庁舎で手続きができなくなるというのはいかがなものか。インターネットなどが普及している時代に逆行していないか。 兵庫県香美町では、週に2日程度福祉や保健の窓口業務を他庁舎で行っているが与謝野町でもできないか。	岩滝の男山地区にあります岩滝コミュニティセンターの使用手続きにわざわざ加悦庁舎(農林課)まで行かなければならないとの声は多く聞いており、改善の必要を認識しております。 現在、使用手続き業務の改善を含めた施設全体に渡る利用形態の変更を検討しています。
237	子育て応援課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	東町	8/5	会場	現在のこども園(旧岩滝保育所)の閉鎖後はどうなるか。	現在、知遊館で行っている子育て支援センターを戻したいと考えています。児童館については、今年度で閉鎖し、学童保育を設置し、場所については現在のこども園を予定しています。
238	子育て応援課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	東町	8/5	会場	児童館は今後どうなるのか。管理(主に草刈)はどうなるのか。管理は町でお願いしたい。	現在の児童館については老朽化や耐震の問題もあり今後は使用しません。解体については現段階では検討できていません。 管理については、今後相談させていただくことになります。管理については町でしていきたいとは思いますが地域での協力もお願いしたいと思います。
239	町長	60	協働で進めるまちづくり	男山	8/8	会場	今年の町政懇談会は男山が最後だということだが、これまでの他地区の町政懇談会で、特にこれは素晴らしいと思った意見は。	すべての会場で非常に有意義な意見をいただいています。その中で、より考えていきたいと思ったのは、住民の皆さんの生活に密着した小さな事業についてより進めていく必要があるのではないか、住民の皆さんにやさしい態度で行政運営を進めていかなければいけないのではないか、ということであり、改めてこのことについて思い直したところです。
240	町長	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	男山	8/8	会場	府立高校の再編問題について、町長はどのような方針で臨んでいるか。	現在丹後地域全体の高校の再編の協議が進められています。京都府教育委員会としては、宮津・与謝で一つの高校とし、キャンパス制の検討もされている模様。加悦谷高校というのは与謝野町にとって非常に重要なものなので、できる限り存続していただきたいということを強く京都府に訴えていきたいと思っています。その中で、住民の皆さんとの意見交換を重ねていき、これからの加悦谷高校の方向性を見出したいと思っています。その上で、京都府や京都府教育委員会に意見を言っていきたいと思っています。
241	建設課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	男山	8/8	会場	昨年、男山川・三田川の浚渫については府の府民公募型事業で実施してもらったが、今年度は事業実施されないとの回答であった。大雨による洪水警報発令の想定区域であるが、その点はどうか考えているか。	府民公募型事業は近年多くの要望があります。京都府としては、平成28年度は、過年度に事業採択しているながら実施できていなかった事業について重点的に実施する方針なので、新規の事業は難しい状況です。男山川・三田川は浚渫が必要な河川であることは京都府も承知していますが、府全体のバランスを見ながら実施している状況です。
242	保健課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	男山	8/8	会場	国保運営協議会はどのようなメンバーで年何回くらい実施されているか。また、その内容は。	構成は、医師会2名、歯科医師会1名、女性が旧町単位で1名ずつ、区長を旧町単位で1名ずつとなっており、計9名で構成されています。だいたい年間2回実施しています。内容は、予算の報告、決算の報告、あと今年度は国保税率の改正があった関係でその件について協議していただきました。
243	保健課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	男山	8/8	会場	近年、近隣の自治体でも国保税の資産割の見直しが進んでいるように聞いている。資産割は低所得者には厳しいということで段階的に減らしていくとのことだが、当町でも運営協議会の中で検討していただきたい。	資産割については主に府南部地域で廃止しているところが多く、北部でも市では廃止しているところが多くなっています。今後なくせるかどうか理事者と協議していきます。この件は国からも提案を受けており、町としても今後検討していきます。
244	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	男山	8/8	会場	昨年度のプレミアム商品券の件について検証結果を公表するということだったが、もう公表はしたのか。	検証結果は今年の3月から町のホームページに掲載しています。内容としては、「事業の概要」、「事業の利用額・利用者数」、「検証の概要」、「消費喚起効果」、「今後に向けて」の5つです。これらには、商工会や町担当職員で検証された事項を掲載しています。
245	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	8/8	会場	雑がみで、シュレッダーごみを捨てる際、他の紙の間に挟んで捨ててほしいということだったが、現実的ではないので「雑がみ」専用の袋を導入してもらえないか。	シュレッダーごみについては、古封筒に入れて出していくという方法を推奨しています。雑がみ専用袋については、現在のゴミ袋の種類をこれ以上増やしたくないという思いから導入していませんが、今後、雑がみの排出量が増え続けていけば、その時点で導入の検討をしていきます。
246	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	8/8	会場	宮津市と与謝野町でゴミ処理場は同じなのに分別方法が違うのはなぜか。高齢者も多い中で分別できない人もいます。分別の種類が多すぎるので高齢化に向けて易しい分別方法にならないか。	現在の分別方法を変更すると、それはそれで混乱が生じるのではないかと考え、とりえず現状を維持しています。ただ、マヨネーズ容器等の汚れたプラスチックはそれを洗うために多くの水を使う必要があり、はたしてそれが環境にいいのかどうか悩ましいところではあります。汚れプラについては、燃やすごみにできるかどうか、現在日々研究しているところであり、新施設ができるまでには方向性を見出したいと思っています。
247	総務課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	8/8	会場	使用できない空き家があるが、町では今後どのような取り組みをされるのか。	昨年、空き家に関する特措法が施行され、町でも一定の対策をとることが可能になりましたが、取り壊しの代執行に係る経費の回収等、課題も多く、現状では体制ができていません。また、昨年の空き家調査の結果、男山地区では廃屋の把握をしていないので、どの物件か後ほど教えてほしいと思います。
248	建設課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	8/8	会場	旧岩滝町の花であるアジサイが山手線の脇に多く植えてあるが、その管理はどうなっているのか。	旧町時は町が管理していたようですが、現在は手が回っていません。周辺の畑等に影響するようになれば、対応について協議する必要があります。手が回っていないのが実情です。類似の例として、野田川の堤防のアジサイの管理は岩滝の長寿会にしているところがあります。汚れプラについては、燃やすごみにできるかどうか、現在日々研究しているところであり、新施設ができるまでには方向性を見出したいと思っています。
249	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	8/8	会場	男山最終処分場の焼却炉が休止されているが、今後の見通しは。再稼働はいつごろになる見通しか。	3月にダイオキシン類の基準を超え、地元の皆様にはご心配・ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。現時点では保健所と協議をしている最中ですが、方向性としては再稼働ということで協議をしています。そう遠くない時期に再稼働したいと考えています。
250	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	8/8	会場	男山最終処分場の領収書の印字が薄いので何とかならないか。	早急に対応します。
251	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	男山	8/8	会場	今日までの町政懇談会で、各会場の来場者数はどれくらいか。	はっきりとした数字ではありませんが、各会場平均して20名程度となっています。正確な数字は今後発行する広報でご確認いただきたいと思います。
252	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	三河内	6/21	アンケート	町内に住みながら町政は人ごとのように感じておりました。町長の説明は具体的でわかりやすく、町政を身近に感じることができました。町の産業がもう少し力強くなれば、若人がにぎわう町になると思いますが、空き家の活用を呼びかけるだけでは人が集まりにくいかもしれませんね。	協働で進めるまちづくりの第一歩として、町政懇談会にご参加いただきありがとうございます。総合計画にある「水・緑・空 笑顔をかがやく ふれあいのまち」を目指して「まちづくり」に取り組んでいきます。
253	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	三河内	6/21	アンケート	町長の説明がものたりない・・・町政に対する情熱が考えられない。町長目線と住民目線が合っていない。すれ違いが多いように思う。「みんなの知恵と技術・・・」と言う割にはコンサルタントやNPOなどに「丸投げ」の政策が多く、住民や職員の知恵や技術を出した政策が一つもないように思える。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
254	子育て応援課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	三河内	6/21	アンケート	子ども用に「インクルーニング(インクルーシブの間違い?)保育(最新の保育方式)」を取り入れて欲しい。	教育・保育現場では、各園内研修や町全体の研修の開催、さらには園外の府内研修などに現場職員を派遣しておりますが、検討したいと思います。貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
255	子育て応援課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	三河内	6/21	アンケート	老人より子供の為の政策を	どちらも重要な政策であり、日々政策に取り組んでおりますが、今後につきましても、各種の政策に取り組んでいきたいと考えております。貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
256	総務課	60	協働で進めるまちづくり	三河内	6/21	アンケート	18歳より公職の選挙権、本人の確認と政治的関心を持つ指導がしてほしい。	重要なことだと考えています。今後、選挙管理委員会や高校等とも連携しながら対応していきたいと考えています。
257	与謝野町	90	その他	岩屋	6/22	アンケート	まじめな行政をお願いします。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
258	その他	90	その他	岩屋	6/22	アンケート	地元の人の出席者が少ない。区のPRが他区に比べて弱い。同じく意見を出す人も少ない。岩屋地区の特性であるかな?	協働で進めるまちづくりの第一歩として、町政懇談会に多くのご参加いただき町政に反映することができればと思います。
259	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	岩屋	6/22	アンケート	学校統合がっかりです。34年にしないんですか?	教育委員会での基本方針の見直しでは、平成34年度までに一斉再編するのではなく、再編が可能なエリアから速やかに再編を進めるとし、加悦地域においては平成33年度を目途に3小学校を加悦小学校に統合、野田川地域においては平成40年度でも現時点での児童見込数では市場小学校に統合することは厳しいことから、今後の児童数の状況変化等を踏まえて検討、という内容としています。現在その見直しの内容について町で検討しているところです。

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
260	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	岩屋	6/22	アンケート	市場との編入でクラスや児童数だけでなく駐車場のスペースがたりなくなっているかも運動会の時や授業参観日の時保護者の数がある。	児童数が増えれば、PTA数も増えることとなりますので、ご意見のとおり駐車場の確保等調整等も検討していくことになるかと思えます。
261	福祉課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	幾地	6/24	アンケート	戦没者慰霊式のお礼申し上げます。今後共よろしく願います。	後世に引き継げる追悼式のあり方を模索したいと思えます。
262	建設課	90	その他	幾地	6/24	アンケート	建築課 藤垣殿 あなたは、いつも言い訳する、地盤が緩いそして反対者がいる私はそんなこと承知の上で話をしています。回りくどい言い方はしません。反対者がいれば、そこへ行ってお願いする地盤がだめならどうすれば、できるか考えるそんな知恵もないのですか、署名をいただいたから、斉藤君に事情説明に行き話をしている間に逆上して扉を閉めるため私を、押し倒して2か月間寝たきりになりました。4キロやせ歩くことも食事を作ることも食べることでもできなかった。藤垣さんも、斉藤さんのところに行き、話をしたらどうなのですか。人任せで何もできないとは、言わせない。	地域共生の町づくりを今後も目指してまいります。
263	総務課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	幾地	6/24	アンケート	危険な空き家については、難しい件だとは思いますが撤去していただくと私も嬉しいです。こども園が始まり、最初の年なので大変なことも多いと思えます。町づくりの1つとして、こども園の取り組みが安定して進むよう、保育士として今後がんばっていかうと思えます。お疲れ様でした。ありがとうございます。	ありがとうございます。ご意見として承りました。
264	与謝野町	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	幾地	6/24	アンケート	意見にもありましたが、実際に困っている地域の事を解決するために現場に足を運んでもらった。改善してもらったと思える支援や声掛けが、より高い町民の満足度につながると思えます。確かに目標や方向性は大切ですが、だからと言って目の前のことを見なかったことに流すのは違うのではないかなと思えます。安心・安全が一番ですね。現場を見て、把握しようとしているかどうかは町民さんは見ていると思えます。ありがとうございます。	ありがとうございました。
265	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	幾地	6/24	アンケート	織物振興対策事業(生産基盤支援)継続をお願いします。当初予算の増額・補正等をお願いします。	織物業生産基盤支援事業については、京都府との協調補助を行っており、また京丹後市とも制度の足並みを合わせていますので、今後については分かりかねますが、平成28年度は増額補正を行い対応して参りたいと思えます。
266	企画財政課	90	その他	幾地	6/24	アンケート	町長の説明を短く簡潔にすればよいのでは。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
267	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	上山田	6/28	アンケート	まちづくりは、「人づくり」。難しいことはわかりませんが、ありがたいと感謝できる町づくりは、きっと人は減っていく。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
268	農林課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	上山田	6/28	アンケート	「鎮守の森」を作りましょう CO2削減にもなり小学校舎の周りに木を植える地震の時木に支えられ倒壊しない。	木を植えることは、森林への関心を高めることに加え、防災面や環境面での意識を高める意義ある取組と認識します。「鎮守の森作り」につきましては、今年度の新規事業である府民税を財源とする「豊かな森育成事業」による補助金の活用が可能と考えます。9月中旬には事業の詳細を各区分長にお知らせする予定です。「学校周辺の植栽」につきましては、苗木の提供事業等の活用が考えられますので、地域等で検討していただきますようお願いいたします。何れの事業とも条件等がありますので農林課に相談してください。
269	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	上山田	6/28	アンケート	加悦谷高校のキャンパス制は賛成。よろしく願います。	貴重なご意見としていただいております。
270	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	上山田	6/28	アンケート	庁舎統合の話は難しいことなのだと思う、さまざまな問題がまだまだ起きそうなおもいがあります。	庁舎統合の取り組みについては、拙速に行くと一体感の醸成を損なう恐れがあると再認識しているところです。慎重な議論を続けていくことから始めます。
271	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	上山田	6/28	アンケート	各地域での幼少の頃からの絆が大事なため、各年齢でいかに仲良くやっていくか。各幼少期からのボランティア活動をしていく。人間作りをする。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
272	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	上山田	6/28	アンケート	行政はキレイ事ではない。人口増の対策こそ最重要課題と思えます。	人口増対策は全ての施策に通じるものがあると思えます。しかし、将来人口統計は大きく外れることがないと考えており、人口減少はある程度止むを得ないとした前提に立ち、まちづくりに取り組んでいきます。まずは人口減少をストップさせたいと考えています。
273	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	上山田	6/28	アンケート	ご苦勞様でした。ブランド戦略事業の内容をわかりやすく願います。	与謝野ブランド戦略について、様々な方から横文字が多く分かりづらいとの指摘があります。できるだけ注釈なども含め分かりやすく広報などでお伝えできるように努めていきたいと思えます。
274	与謝野町	90	その他	上山田	6/28	アンケート	町政という役所仕事の考え方	
275	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	上山田	6/28	アンケート	主要政策について具体性にほしい(分かりにくい)。目に見える形にしたいだければ我々も参画できる事もあるのではないかなと思う。まずは仕事の充実、仕事の創造なのではないか。	与謝野町ブランド戦略をはじめとする産業振興について、できるだけ早く具体的に目に見える形・体感いただけるような形にしていきたいと思えますが、阿蘇ペイエリアなどでは、既に民間主体でのイベントなども開催され、今まで無かった動きが始まっています。町としても広報やホームページなどのメディアを通じて情報発信をしていきますので、是非参加して体感いただけると幸いです。
276	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	下山田	6/30	アンケート	江陽中の朝の通学路はサイクリングロードを通るとなっている。踏切停止中の車をあいまめて通学している。非常に危険だと思えます。山田小学校からできている歩道が完成するまでにせめても横断歩道を設置願いたい。	江陽中学校へ報告し、安全の確保について検討してもらうとともに、生徒への指導につきましても、交通安全の徹底を図っていきます。
277	農林課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	下山田	6/30	アンケート	放置竹林対策をもっと真剣に取り組んでほしい。	放置竹林は森林の保全、獣害対策にとって深刻な課題であると認識しています。竹林の整備につきましては、今年度の新規事業である府民税を財源とする「豊かな森育成事業」による補助金の活用が可能と考えます。9月中旬には事業の詳細を各区分長にお知らせする予定です。地域等で検討していただきますようお願いいたします。
278	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	下山田	6/30	アンケート	今回は多くの意見が出て多くの回答が得られて良かったと思う。町政の発展を折念しています。	ありがとうございます。
279	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	下山田	6/30	アンケート	町長を始め町の各課の課長様他たくさん来られ、町のいきごみが見られました。	ありがとうございます。
280	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	アンケート	参加者少数。 ※町職員が動いていない(職員の自覚がない。公僕を忘れている。町職員は烏合の衆か?一事が万事) 町政懇談会(三役・全課長・24区)は必要か?	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。 町政懇談会の持ち方について、他の区からもご意見をいただいております。今回は、24区を限らず多くの方からご意見をお伺いしたいという思いから懇談会を開催しました。開催の持ち方について町民の方からも賛否両論がありますが、日程上、対外的なものに支障をきたすことも分かったので今後検討していきたいと思えます。
281	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	石川	7/1	アンケート	行政の自己満足と時間の無駄? 「町長(理事者)＝議員(議会)＝町民」のルールを尊重すべきではないか。行政の推進に理解を求めるとは別の方法を。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
282	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	算所	7/4	アンケート	町 課長、その他の方の28年度重点戦略に対する問題意識急務意識当事者意識がうかがえない。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
283	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	算所	7/4	アンケート	町民からの意見に対して具体的答えがないのは28年度戦略の本気度がわからない。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
284	与謝野町	90	その他	算所	7/4	アンケート	6つの戦略に対する具体的スケジュールがわからない。	
285	与謝野町	90	その他	算所	7/4	アンケート	6つの戦略に何をもちて戦略の達成を把握するのか?	
286	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	算所	7/4	アンケート	町民の増える事を考えてほしい。	No.272参照 人口増対策は全ての施策に通じるものがあると思えます。しかし、将来人口統計は大きく外れることがないと考えており、人口減少はある程度止むを得ないとした前提に立ち、まちづくりに取り組んでいきます。まずは人口減少をストップさせたいと考えています。
287	与謝野町	90	その他	算所	7/4	アンケート	ありがとうございます。	ありがとうございました。
288	住民環境課	40	快適でやすらぎのある生活環境づくり	算所	7/4	アンケート	ゴミの減量化の途中経過の結果が知りたいです。	毎月、広報よさで前月までの減量化の状況をお知らせしながら、協力をお願いしているのは是非ご覧ください。
289	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	算所	7/4	アンケート	学生2人持つ者です。子育て支援の事業の拡大を望みます。加悦谷高校の存続を強く望みます	貴重なご意見としていただいております。
290	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	算所	7/4	アンケート	一日一善(一日に一つ善の行いを実行する。)非常に良い言葉です。私も心がけようと思えます。本日はよい懇談会でした。ありがとうございます。	ありがとうございました。

No	担当課	分類1	算所	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
291	CATVセンター	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	算所	7/4	アンケート	宅内有線放送のアナウンサーをもう少しスムーズ(上手)に話してほしい。(へたすぎる)(CATV)	「宅内有線放送のアナウンサー」の対象が、①テレビ画面の文字放送を読む音声のことでしたら、次のおり回答します。この読上げ音声は、文字を自動で読上げる機械(パソコン)を通しての音声のため、多少違和感があります。しかし、現在使用中のものは当初より改善されておりますが、アクセント等のチェックをしっかりと確認しながら、今後も更新等を含め、改善に努めてまいります。 また、②毎晩出演している女性アナウンサーのことでしたら、研修にも参加し、わかりやすい話し方を心がけていますが、日頃から発音や聞きやすい話し方について注意し、今後も研鑽を深めるよう努力したいと思います。 FM告知放送につきましては、午後7時30分の定時放送は4月から企画財政課が録音しております。聞き取りやすいよう心掛けてはいますが、スムーズにいったいない点があるかもしれません。住民の皆さんからご意見もいただきながら、より聞き取りやすい放送を心掛けていきたいと思っております。
292	社会教育課	50	明日の人材を 育てる教育文 化のまちづくり	算所	7/4	アンケート	少子化で小中のスポーツが、特にチームスポーツがむずかしくなっています。何か町からもバックアップができればいいと思います。	子どもたちのスポーツについては、個人種目も団体種目も含めてジュニアスポーツ連絡協議会を通じて支援をさせて頂いています。 今後もジュニアスポーツ連絡協議会を通じて支援を行う予定としています。
293	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	加悦奥	7/5	アンケート	今回の参考資料の「平成28年度予算の概要」ですが、これを作られた方は全体の予算の中身についてよく分かった方が作られたのだと思いますが、歳出において各部所がいくら使われるのかまったくわかりません。もう少し丁寧に書いて頂ければ良いと思います。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
294	農林課	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	加悦奥	7/5	アンケート	鳥獣防衛フェンスの補助金を上げて下さい。労力がかかって大変です。田畑を作っているのですが毎回被害にあうので作るのをためらいます。	今年度新たに「防獣フェンス維持管理補助金」を設けましたので、その活用をご検討下さい。 その他に多面的機能支払交付金事業および中山間地域等直接支払交付金事業でも対応が可能ですので、何れにいたしましても、農事組合等の役員に相談がけをしていただきますようお願いいたします。
295	建設課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	加悦奥	7/5	アンケート	与謝野町防災訓練を終えて、隣組内には土砂災害レッドゾーン、イエローゾーン等、避難対象地区があり、それに対する対策は、町として考えているのか。	
296	学校教育課	50	明日の人材を 育てる教育文 化のまちづくり	加悦奥	7/5	アンケート	一番組地区にある教員住宅に住居者は何人か？ごみの分別は周知されているのか？	教員住宅は6棟あり、現在4棟に4名が入居しています。その内、3名が外国語の補助教員であり、生活習慣の違いもありますが、与謝野町のごみの出し方について、随時、指導を行っています。分別等でご迷惑をお掛けしているようですので、再度、注意いたします。
297	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	加悦	7/6	アンケート	いろいろな意見をきくことができ勉強になりました。	ありがとうございました。
298	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	加悦	7/6	アンケート	予算案がアバウトで判りにくい。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
299	商工観光課	20	伝統を活かし 未来にチャレ ンジするまち づくり	加悦	7/6	アンケート	加悦地域が取り残されているように思う。観光協会の業務は、町の観光の活性化ではないのですか？体験販売で収入に力を入れるのは、方向が違うのでは！観光協会の職員も、もっと若くて、感じの良い人を選んで欲しい。	観光協会は、町の観光推進のけん引役であると認識します。現在の観光は、単なる物見遊山の観光ではなく、訪れる地域の良さを体感することが求められると考えられており、体験は、その手法の一つであると考えています。観光協会とも引き続き連携を図り、町の観光推進に力を入れて参りたいと考えています。
300	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	加悦	7/6	アンケート	基金がなくなると、町も無くなるのか？心配だ。	No.78参照 町が無くならないよう、公共料金等の見直し、公共施設の見直し、事業の見直しによって財政を立て直す必要があると考えています。
301	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	加悦	7/6	アンケート	非常に有意義な集まりであったと思います。	ありがとうございました。
302	福祉課	10	安心と生きが いのある福祉 のまちづくり	加悦	7/6	アンケート	障害者など、弱者に優しい、与謝野町であってほしいと思います。	地域共生の町づくりを今後も目指してまいります。
303	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	加悦	7/6	アンケート	いろいろな地域の方の意見を聞かせて頂いて勉強になりました。	ありがとうございました。
304	与謝野町	60	協働で進める まちづくり	加悦	7/6	アンケート	町の人たちの思いを大切に、これからもしっかりと動めていただきたいと思ひます。	ありがとうございました。
305	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	加悦	7/6	アンケート	いつも声の大きい人が発言する。普段話さない人からはもっと発言が出なくなるという悪循環を感じました。こうすべき、という物が示せませんが、声を上げにくい人々が声を上げ易くなる方法があればと思います。	会場で発言しにくいというご意見をお伺いしております。受付でアンケート用紙もお配りしておりますので、ご記入いただいた内容については、町の広報紙、HP等ですべての意見を掲載し、回答させていただきます。
306	農林課	20	伝統を活かし 未来にチャレ ンジするまち づくり	後野	7/8	アンケート	農業モデル確立事業のSOFIXによる京の豆っこ肥料を活用した農業推進について、現在、後野地域では水橋のモデル確立事業を行っていますが、本田及び資材等は準備万端でスタート致しましたが、一番大事な「水」については、あまり議論もなく現状維持でした。水稲栽培では水質が非常に大事であり、水、堆肥、豆っこ肥料、土壌のバランスを考えます。先日、「丹後産コンヒカリ良食味米共励会」で最優秀賞を取られた京丹後市大宮町の井上喜久治氏の圃場視察に行きましたが、やはり環境の整った地域であり「水質」も良い場であり有機栽培を行われていました。京丹後市は、一般的に水質が良いと言われていますが、当町と何が違うのでしょうか？SOFIXによる京の豆っこ肥料を活用した農業推進により、新たな農法を確立していくため、出来るだけ、町民にもっと環境づくりに理解を求め、常に川や山に関心を持って頂けるよう啓発活動をお願いしたい。又、各課で川の水、山の木々の環境について、知恵を出していただき農林課と連携しながらモデル事業を行ってほしい。野田川の水質がもっとよくなれば、良質の豆っこ米「ダイヤモンド」が栽培出来ると思ひますし、阿蘇海環境づくりにも協力できると思ひますのでよろしく願ひ致します。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
307	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	後野	7/8	アンケート	良い懇談会であった	ありがとうございました。
308	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	後野	7/8	アンケート	町長との話が出来る事は良い事だと思います。町長の考えがわかるので町政を理解する事が出来た。対話しながら課長の話が聞けたので満足できたのでよかった。	ありがとうございました。
309	与謝野町	90	その他	後野	7/8	アンケート	頑張ってください。	ありがとうございました。
310	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	与謝	7/11	アンケート	本日の議事録及び回答不十分の件に付いては、町報等で必ずお返しください。	広報よさの(一部抜粋)、町ホームページ(会場質疑・アンケート回答)で報告させていただきます。
311	与謝野町	90	その他	与謝	7/11	アンケート	町長さん、もう少しゆくり話して下さいね。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
312	商工観光課	60	協働で進める まちづくり	与謝	7/11	アンケート	8/11(祝)山の日に際し大江山という観光資源がある中何かイベントを予定されていますでしょうか？	大江山連峰は、鬼退治伝説、自然、登山など幅広い魅力を有する観光資源であり、この資源を活用したイベントは「大江山一斉登山」「大江山登山マラソン」などが実施されております。イベントの更なる活用はもとより、この資源の魅力を活用して、来訪者に更に魅力を体感できるよう、また、地域が資源を良さを再認識できるように取り組んでいきたいと思ひます。
313	税務課	60	協働で進める まちづくり	与謝	7/11	アンケート	納税について町税不納者(滞納者)はどのくらいあるのか？その納付状況は？	平成28年5月31日(平成27年度決算)現在で滞納者数689名、滞納額は約1億9千8百万円となっております。(町税及び国保税) 京都府及び京都府内の市町村では、税業務の共同化を目的に京都府税務機構を設立し、集中的に滞納整理業務を実施しており、滞納額は平成21年度決算時では約4億8百万円あったものが、6年間で概ね半額まで減少している状況になっており、滞納額は年々右肩下がりで減少してきています。
314	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	滝	7/13	アンケート	書類については事前に配布して当日の話に考えをまとめて持って来る様にしたい方が良くと思う。せっかくやるのならもう少し時間がほしい。	配布資料は「広報よさの」と一緒に5月10日に各戸配布をしています。限られた時間の中で開催をさせていただいています。アンケートもご利用いただきながら、皆さんの声を聴かせていただいています。
315	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	滝	7/13	アンケート	時間がないこともあるでしょうが、もう少し細かい話が出来ればもっと有意義な時間になると思ひます。年に1度ではなく複数回も必要ではないでしょうか。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
316	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	滝	7/13	アンケート	終了が9時とされていますが様子を見て延長されてもいいのでは！	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
317	企画財政課	40	快適でやさ らぎのある生活 環境づくり	滝	7/13	アンケート	空家対策を平等にするには、ヘキ地(山間部)を上水、下水、リフォーム等の補助割引き。	No.144参照。 町単独での助成制度については今のところ考えていませんが、移住定住促進条例(京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例)にある制度を活用して取り組んでいきたいと考えています。
318	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	滝	7/13	アンケート	参加者が少ないのが残念ですが、女性の方が多くよかったと思ひます。開催の規模を大きくすると町民の声を聞く機会が少なくなると思ひます。ぜひ、この規模で継続して、年1~2回やっていただくのがよいと思ひます。地方創生の計画で説明されてもよかったかと思ひます。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
319	企画財政課	60	協働で進める まちづくり	滝	7/13	アンケート	与謝野IUプロジェクトは何の意味ですか、くわしく又は分かりやすくしていただければ幸いです。	都会出身者が地方(与謝野町)に移り定住することを「Uターン」、地方出身者(与謝野町)が一旦都会に出たあと地方(与謝野町の近隣市町)に移住することを「Jターン」、出身地(与謝野町)に戻ることを「Uターン」と呼んでいます。その頭文字をとって「IU」としています。移住・定住を促進する事業を総称して「IUプロジェクト」と呼んでいます。
320	総務課	30	自然と安全を 守るまちの基 盤づくり	滝	7/13	アンケート	移住定住もよいが、なかなか数は望めない。実際には放置されたままの廃屋が困った問題。町だけでは解決できないので、府、国と連携して今の住民の責任できれいな町が残るよう条例等で、つけを若い世代に残さないようにするべきと思ひます。	廃屋の問題は大変難しい課題だと考えています。町内には61戸の廃屋があると把握しており、これらについてやはり所有者責任が基本であること、解体撤去にはかなりの経費がかかることなどを踏まえ、町として今後どのように対応するべきか、検討したいと考えています。

No	担当課	分類1	分類2	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
321	農林課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	滝	7/13	アンケート	豊かな森林育成事業として即効性のある観光にも役立つ紅葉樹林(近畿で一番面積が多い)を造成すればどうか。そしてSLを走らせれば必ず名所になると思う。	紅葉樹林の造成につきましては、今年度の新規事業である府民税を財源とする「豊かな森林育成事業」による補助金の活用が可能と考えます。9月中には事業の詳細を各区分にお知らせする予定ですので、地域等で検討していただきますようお願いいたします。
322	企画財政課	90	その他	明石	7/19	アンケート	町の説明が長い。意見が言えない。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
323	与謝野町	90	その他	明石	7/19	アンケート	各種の懇切丁寧な答弁の礼と、改善の方向に(少し乍(ながら)でも)期待しています。	ありがとうございました。
324	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	明石	7/19	アンケート	学校の統廃合について、統廃合にあわせて小中一貫の実施にも踏み込めるとしています。加悦中+加悦小はグラウンドも共有するぐらいの立地条件なので施設一体型に近い形で取り組めるのではないのでしょうか。	小中一貫教育につきましては、現時点においては小中連携を強化することで対応していきたく考えていますが、国・京都府の動向も注視し今後も情報等を入手する中で検討していきたく思います。
325	社会教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	明石	7/19	アンケート	子ども育成の事業に関して、子どもたちの事を考えた運営事業が展開されるということは、将来の子どもたちの育成・発展に大いに役立っていくものと考えます。このような運営事業が新規拡充されていく事を強く望みます。挫折しないようよろしくお願いしたいと思います。	青少年を対象として、各地域公民館や与謝野町青少年育成会で様々な事業を実施しております。今後におきましても、子ども達の役に立つ内容となるよう継続して努力をいたします。
326	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	明石	7/19	アンケート	子どもを増やす政治をして欲しい。「人口が増える町」と聞くだけでとても良いイメージ。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
327	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	明石	7/19	アンケート	DMOを成功させてほしい。観光大国ニッポンに乗り遅れず、利益を取り込める町に。	海の京都DMOでは、この府北部地域を観光という面から地域活性化を図っていくことで観光推進事業に取り組んでいます。府北部7市町が連携を強固に、地域との協働により、地域独特の魅力を発信していくよう町も一緒になって取り組みます。
328	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	明石	7/19	アンケート	利益を生む政治をしてほしい。どんな取り組みも良い面、悪い面はあります。悪い面ばかり見積もって動かない行政にはあきました。チャンス、機会を見積もって、熱く、動きある行政であってほしい。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
329	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	明石	7/19	アンケート	インフラツーリズムに取り組んでほしい。	インフラツーリズムとは、ダム、橋梁、道路など公共インフラの現場見学やインフラとマッチした景観を楽しむツアーと考えます。このような視点も魅力につながるものとして、関係機関等とも検討していきたく考えます。
330	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	明石	7/19	アンケート	舞鶴は新幹線の誘致で鼻息が荒い。もし、実現した時、与謝野町にも多くの税金が落ちるようにビジネスチャンスをのがさず、与謝野町の業者が舞鶴で仕事が出来るようなパイプ作り。そういう政策はある？	北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会を組織(首長、議長、府会議員、商工会議所、商工会、観光協会)して、官民一体となって誘致にむけた取り組みを行っています。また、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)を設置し、7市町が連携して取り組む施策等についてビジョン策定に取り組んでいる。
331	与謝野町	90	その他	温江	7/21	アンケート	特にごさいません。	ありがとうございました。
332	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	7/5	アンケート	今回シルクプロジェクト事業に関し質問しましたが、町長の事業に対する熱意は感じました。養蚕に関し織物以外でも考えているとの事で地場産業以外(勿論織物も大切ですが)で地域に根づく産業の開発を期待します。養蚕研究事業の中で先進地視察等も予算化されていますのですでに御承知かと思いますが、その一つに佐賀県太良町(長寿の里太良町)をぜひ視察されてはと思います。(参考まで)2011～毎年2,000本の桑の植樹を九州産業大学・九州大学とタイアップされ事業に成功されているようです。町づくりにもっと住民の参加を！！	今回、ご紹介をいただきました内容なども含め、桑栽培や養蚕、織物なども合わせ、可能性を多数模索していきたく考えます。また、今年度内には与謝野シルクプロジェクト事業での方向性や可能性などを広くお伝えするため、シンポジウムを実施する予定であります。その際には是非ご参加いただき、様々な部分で参加をしていただきますようお願いいたします。
333	総務課	30	自然と安全を守るまちの基盤づくり	温江	7/21	アンケート	空家対策⇒適切な管理が行われていない空家等は防災、衛生、景観等地域の方々の生活環境に深刻な影響を及ぼすため早急な対策を。	廃屋は周辺にも悪い環境をもたらしますので大きな課題だと考えています。しかしながら、これらについてはやはり所有者責任が基本ですので、すべての管理を行政が担うことは大変難しいと考えています。地域の方とも協議させていただきながら改善策を検討していきたく考えています。
334	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	加悦	7/6	アンケート	町政懇談会は、町長と住民との対話、信頼関係を築きたいという姿勢はよく理解できるが、町政説明会のように町長の挨拶が長すぎる。(35分)重点施策など絞って説明してもらいたい。(意見等の時間を確保の為)今回主幹、課長補佐の出席が目立ったが人勢育成の面で大賛成である。また、多忙のため体調を崩した職員もいたと聞いているが、町、課の方針・施策等共有化できておれば3分の1程度の出席でよい。ただ重要課題や意見の集中が予想される課は誰かの出席は望ましいが、たとえその場で即答できなくても後日丁寧に返答してもらえればそれで充分です。加悦区の例でいえばコの字型に町の理事職員が取り囲み、住民はまるで被告席に座っている感。そんな中で意見を出すのは大変勇気がいる。住民の視線で気軽に話し合いができる雰囲気をつくっていただきたい。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。町政懇談会の持ち方について、他の区からもご意見をいただいております。今回は、24区を限なく多岐の方からご意見をお伺いしたいという思いから懇談会を開催しました。開催の持ち方について町民の方からも賛否両論がありますが、日程上、対外的なものに支障をきたすことも分かったので今後検討していきたく思います。
335	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	アンケート	様々な意見があり、大変参考になりました。与謝野町を全国的に考えると知名度は橋立はイメージされますが、与謝野町は説明しないと地理的にイメージしてもらえません。知名度を上げるPR活動を今後共願いたします。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
336	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	アンケート	町民の方から意見も出、大変有意義な懇談会であったと思う。理事者、返事(回答)も理解出来たが町民の意見を前向きに取り入れて今後の町づくりに頑張してほしい。	ありがとうございました。
337	与謝野町	90	その他	弓木	7/27	アンケート	町政に関していろいろと勉強になりました。住民としてひとつでも協力出来ればと思います。	ありがとうございました。
338	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	アンケート	良い懇談会だったと思います。計8名の方の意見も良かったです。	ありがとうございました。
339	商工観光課	20	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	弓木	7/27	アンケート	高速道路が与謝天橋立ICが最終であるが、与謝野町の産品が購入できる場所、食べられる場所がない為、天橋立や伊根町へ車を走るといった、なかなか地元にお金を落とさない状態だと思います。何か、これからのまちづくりをするために話題性、また何回も来たくなるようなことを考えてもらえればと思っております。	与謝野町が目的となることで、地域の特産品を味わったり、購入したりすることも増えると考えます。与謝野ブランド戦略や海の京都においても、他地域にない地域個性を可視化し発信することに取り組んでいます。いろんな取組を進めるにあたり、その本質を見つめ直し地域みんなが良さを認識し、ターゲットを見つめ情報発信していけるよう努力します。
340	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	アンケート	意見をしっかりと町政に反映してほしい。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
341	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	アンケート	皆さんいろいろと意見を持っている。年1回でなく、事業等の中間報告等を兼ねて懇談会を実施されては(特に重点施策の中間報告を)	年2回24会場を回るのには時間的にも、対外的にも厳しい面が出てきます。夜間の会議等他の公務を入れられなくなり、ご迷惑をおかけすることになりますので、年に1回とさせていただきます。
342	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	弓木	7/27	アンケート	勉強になりました。	ありがとうございました。
343	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	金屋	7/20	アンケート	町長さんをはじめ、職員さんの物腰がやわらかく垣根の低い懇談会に好感が持てました。また、参加をさせてください。	ありがとうございました。
344	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	金屋	7/20	アンケート	町の活性化の明確なビジョンを作って取り組んでいただきたい(無駄は省いて)	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
345	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	香河	7/22	アンケート	子そだては人材があつての事だと思います。(保、幼、小学、中学、高校の先生の質は？トラブル等多々見聞してますが?)	教職員の資質向上については、重要な課題であり、計画的に研修等に努めています。今後とも工夫していきたく考えております。貴重なご意見ありがとうございました。
346	与謝野町	90	その他	石田	7/25	アンケート	与謝野 がんばれ	ありがとうございました。
347	与謝野町	90	その他	浜町	8/2	アンケート	出来るだけカタカナ言葉は使用しないで!	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
348	与謝野町	60	協働で進めるまちづくり	浜町	8/2	アンケート	住み良い町づくりの為に町政にかかわっていきたく思いました。	ありがとうございました。
349	学校教育課	50	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	温江	8/3	アンケート	町長の思いを聞かせていただきました。新しいものに挑戦する姿勢も含め、共感をおぼえました。当日聞くことができませんでした。が、小学校の統合の問題、又加悦高のキャンパス化等々、聞きたい事ができませんでした。副町長のいわれた9時までの発言には少し不満があります。時間でくぎるのはわかりますが、進行には大いに不満です。小学校ですが、できれば残したい気持がいついばい。小学校6年間は育つ中において大きな影響を与えます。画一的に統合というのではなく、一考をしながら進めていただきたいと思ひます。外、町政懇談会はいい発案です。今後共に町民との対話の機会を作っていただきたいと思ひます。	貴重なご意見として受け止め、学校の再編・統合についての方向性を打ち出していきたく思います。
350	企画財政課	60	協働で進めるまちづくり	東町	8/5	アンケート	伝統芸能祭はもっと多くの団体に参加して欲しい。大行列ありきで決めるのはおかしい。文化財にこだわる必要は無いと思ひます。	与謝野郷土芸能祭実行委員会(区長会代表、商工会、文化協会、観光協会、町等で組織)で検討していきます。
351	福祉課	10	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	東町	8/5	アンケート	慰霊塔の管理(草刈り等を含めて)はどうなっているのですか?	各地区の遺族会等で管理していただいております。

No	担当課	分類1	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容	
352	総務課	30 自然と安全を守るまちの基盤づくり	東町	8/5	アンケート	空き家はもう少しきちんとして下さい。子供が遊んだりしています。注意をしたりしていますが、あぶないのでは？	できるだけ対応をしていきたいと考えていますが、いろんなケースがありますので町ができる対応にもやはり限界があります。地域の皆さまともご相談しながら少しでも改善するように検討したいと思います。
353	与謝野町	90 その他	東町	8/5	アンケート	町内、じっくり歩いて見て下さい。いろいろと、びっくりする事が見えて来ます。	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
354	住民環境課	40 快適でやさらぎのある生活環境づくり	東町	8/5	アンケート	男山ごみ最終処分場がいっぱいと思われる。今後いつ頃まで受け入れ可能か。又、新たな施設の計画は。	平成24年に実施した残容量調査によれば平成38年まで使用可能です。岩滝処分場が満杯になっても、野田川処分場が使用できる間は、新施設は作らない予定となっております。
355	企画財政課	60 協働で進めるまちづくり	東町	8/5	アンケート	色々話を聞かせて頂き参考になりました。	ありがとうございました。
356	企画財政課	20 伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	東町	8/5	アンケート	高校生との対話授業—海洋高校もユニークな取組を多くしています。当町の業者さんともコラボして食品づくりをしているなど地域との連携はいいと思うのですが。	一例として、食品づくりや商品製作など、高校生の視点による当町特徴の活かし方として、大変有意義でもあり、新しい発見も生まれると考えられます。地域と密着した取組から更なる地域の愛着心の向上にも発展させることで、地域で活躍する人材へと繋げていければと思います。
357	企画財政課	60 協働で進めるまちづくり	男山	8/8	アンケート	今後は19時開会でもよいのでは…(時間が短い)	貴重なご意見として受け止め、参考にさせていただきます。
358	企画財政課	60 協働で進めるまちづくり	男山	8/8	アンケート	ありがとうございました。来てみて良かったです。	ありがとうございました。
359	学校教育課	50 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり		後日 受付	アンケート	岩滝小学校通学路について 西光寺～校門までの通学路ですが、近道としてスピードを出す車が多く冬場は日当たりが悪く、側溝は雪で埋まり脱輪してる車も多いです。立町の子供が多く通う道です。危ないので歩行者専用もしくは通学路を変えた方が良いのでは。	貴重なご意見ありがとうございます。岩滝小学校へ報告し、安全の確保について検討してもらいます。
360	企画財政課	60 協働で進めるまちづくり		7/28	アンケート	町からの職員の数が多く、プレッシャーがあります。意見が出せな	H28町政懇談会はテーマを絞らず、町政全般としており、様々なご意見・質問に即答できるよう全課の課長または主幹・課長補佐が出席しました。